

令和7年

予算特別委員会

3月14日

豊明市議会

予 算 特 別 委 員 会 会 議 録

令和 7 年 3 月 14 日

午前 10 時 00 分 開会

午後 6 時 55 分 閉議

1. 出席委員

委 員 長	鵜 飼 貞 雄	副委員長	近 藤 ひろひで
委 員	岡 島 ゆみこ	委 員	青 木 けんじ
委 員	鈴 木 智 和	委 員	中 堀 りゅういち
委 員	浅 井 たかお	委 員	こんどう のぶお
委 員	いとう ひろし	委 員	服 部 龍 一
委 員	武 谷 としお	委 員	郷右近 修
委 員	林 ゆきひろ	委 員	月 岡 修 一
委 員	三 浦 桂 司	委 員	一 色 美智子
委 員	堀 内 ち ほ	委 員	清 水 義 昭
委 員	ふじえ 真理子		
議 長	毛 受 明 宏		

2. 欠席委員

なし

3. 職務のため出席した議会事務局職員の職、氏名

議 会 事 務 局 長	加 藤 健 治	議 事 課 長	深 草 広 治
議 事 課 長 補 佐	寺 島 慎 二	庶 務 担 当 係 長	福 田 悦 子
議 事 担 当 係 長	矢 野 佑 輔	議 事 課 主 査	久 永 英 明

4. 説明のため出席した者の職、氏名

市 長	小 浮 正 典	副 市 長	土 屋 正 典
教 育 長	藤 井 和 久	行 政 経 営 部 長	小 串 真 美
市 民 生 活 部 長	伊 藤 正 弘	健 康 福 祉 部 長	中 村 泰 正
経 済 建 設 部 長	星 子 恭 士	教 育 部 長	浅 井 俊 一
秘 書 広 報 課 長	伊 藤 克 代	企 画 政 策 課 長	萩 野 昭 久
公 共 施 設 管 理 課 長	中 野 忠 之	情 報 シ ス テ ム 課 長	長 野 直 之
財 政 課 長	浦 倫 彰	総 務 課 長	山 田 隆 貴

防災防犯対策課長	川 島 康 孝	税 務 課 長	堅 田 直 寛
債権管理課長	高 垣 茂 晴	共生社会課長	松 本 小 牧
市 民 課 長	杉 浦 由 季	地域福祉課長	小野寺 良 夫
長 寿 課 長	塚 本 由 佳	健康推進課長	川 原 静 恵
こども保育課長	小 川 正 寿	指 導 保 育 士	柴 田 美由紀
保険医療課長	近 藤 有紀子	子育て支援課長	松 村 清 子
産業支援課長	塚 谷 友 昭	農業政策課長	加 藤 直 美
土 木 課 長	外 山 紀 元	都市計画課長	中 田 勝 次
下水道課長	青 山 康 徳	環 境 課 長	松 本 裕 介
学校教育課長	秋 永 亘 正	会 計 管 理 者 兼 出 納 室 長	近 藤 恒 明
監査委員事務局長	平 下 義 之	重層支援センター主幹	岩 佐 智 幸
指 導 保 育 士	鈴 木 祐 見		

5. 傍聴議員

なし

6. 傍聴者

1 名

午前10時開議

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） おはようございます。

定刻に御出席をいただきましてありがとうございます。定足数に達しておりますので、ただいまから予算特別委員会を開会いたします。

会議に先立ちまして、市長より挨拶を願います。

小浮市長。

○市長（小浮正典君） 皆様、おはようございます。

本日の予算特別委員会に付託されました案件は、令和7年度豊明市一般会計予算をはじめ、8議案でございます。慎重なる審査をいただきますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

以上、終わります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 御苦労さまでした。

続いて、議長より挨拶願います。

毛受議長。

○議長（毛受明宏議員） 皆さん、おはようございます。

本日から3日間の予定になりますが、議案12号から19号までの8議案、慎重審査よろしくをお願いします。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 御苦労さまでした。

ここでお諮りいたします。市長は自席待機といたしたいが御異議ありませんか。

（異議なしの声あり）

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 御異議なしと認めます。よって、市長は退席願います。

なお、市長におかれましては、答弁を求める機会がある場合には出席をいただきますので、御承知おき願います。

（市長退席をなす）

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 本日の傍聴については、申合せに従い15名以内とし、委員長において一般傍聴者の入室を許可いたします。

本日の予算特別委員会の進め方につきましては、3月10日の委員会で協議されておりますので、その結果に従い進めさせていただきます。

日程につきましては、一般会計については、原則として、1款より款別に所管の課長より歳出及び関係する歳入について説明を受けた後に質疑を行います。なお、2款について、

所管の課長より歳入全般の説明をしていただきます。

また、総括質疑は、一般会計の各款別の質疑終了後に行います。

次に、特別会計及び企業会計については、議案番号順に進めます。

討論については、企業会計の質疑終了後に一括して行い、採決は会計ごとに議案番号順に行う予定であります。

次に、職員の方にお願いをいたしておきますが、各委員の質疑の時間をできる限り確保したいと思いますので、特に重要な部分や新規事業などを簡潔に説明していただき、重要なのでもう一回言います、簡潔に説明していただき、直ちに答弁ができないときは、後から答弁をしていただくということで次の質疑に移りますので、協力をお願いします。

また、反問権を行使される場合は、意思表示を明確にされ、論点を整理して反問されるようお願いいたします。また、反問を終了したときも明確に意思表示されるようお願いいたします。

さらに、議事の進行により、説明者の入替えのために休憩を取りますが、速やかに行っていただきますようお願いします。

それでは、会議に入ります。

議案第12号から議案第19号までを一括議題といたします。

最初に、議案第12号について、説明及び質疑を行います。

1 款 議会費について説明を願います。

深草議事課長。

○議事課長（深草広治君） それでは、議案第12号 令和7年度豊明市一般会計予算のうち、1 款 議会費の説明をいたします。

当初予算の概要、28ページをお開きください。

（聞こえにくいねの声あり）

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ちょっと音、聞こえますか。少々お待ちください。お願いします。

○議事課長（深草広治君） 当初予算の概要、28ページをお開きください。

一番上段でございます。歳出につきましては総額2億3,653万9,000円、前年度と比較し28万8,000円の減額です。

では、事業別に主なものを説明いたします。

議員活動事業1億7,658万7,000円は、前年度と比較し25万5,000円の減額となっております。主な要因といたしましては、議員共済給付費負担金の減額によるものです。

次に、事務局事業979万1,000円は、前年度と比較し60万1,000円の減額となっております。

す。主な要因といたしましては、主に会計年度任用職員1名分に係る費用の減額によるものです。

以上で1款 議会費の説明を終わります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 説明は終わりました。

1款 議会費の質疑に入ります。

質疑については、必ずページ数と項目を明示してから行ってください。

質疑のある方は挙手を願います。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 103ページ。

（どの冊子ですかの声あり）

○こんどうのぶお委員 すいません、予算書の103ページで。議会費か。その上の市議会議長会等負担金、これはどこでやるんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

深草課長。

○議事課長（深草広治君） こちらにつきましては、全国市議会議長会等、各開催地が例年変わってきますので、それぞれのところに対する負担金の負担となります。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林 ゆきひろ委員。

○林 ゆきひろ委員 予算書の101ページだと思うんですけども、今、議会でタブレットの導入等を考えているかと思うんですけど、その予算ってこれとか上がって、どこに上がっているんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

深草課長。

○議事課長（深草広治君） こちらのほうにつきましては、議会活動事業費の中の文書管理システム等使用料、こちらのほうに予算としては計上させていただいております。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 その費用ってどれぐらいなんですかね、この109万のうち。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

深草課長。

○議事課長（深草広治君） システムの内容につきましては、基本的には使用料の関係です。毎月のいわゆる月額の使用料、そういった部分について、こちらのほうがお支払いするものが経常経費、あと、それ以外におきましては初期設定の費用、そういったものが約10万円ほどかかっている形になります。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 予算書の101ページの真ん中です。議員共済給付費負担金、これ、退職年金と遺族年金があるのでしょうか。で、各何名でしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

深草課長。

○議事課長（深草広治君） 退職年金のほうが9名、遺族年金のほうで20名でございます。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） これにて、1款 議会費の質疑を終わります。

続いて、2款 総務費について、順次説明を願います。

山田総務課長。

○総務課長（山田隆貴君） それでは、2款 総務費のうち、総務課所管の主な事項について御説明をいたします。

歳出より御説明いたしますので、予算書の102ページ、103ページ、御覧ください。

下の囲み、2款1項1目 一般管理費の2段目、庁舎管理事業2,867万9,000円で、前年と比較しまして515万円の増額となります。主なものとしましては、今年度電話交換機を更新を予定しております。その借上料、あと、備品購入費の増がございますので、増額となっております。

1ページおめくりいただきまして、104、105ページの2段目を御覧ください。

一般管理事務事業282万8,000円は、前年と比較しまして17万円の増額となります。こちらの主な事業につきましては、弁護士の委託料となっております。

続きまして、2ページおめくりいただきまして、108、109ページ、御覧ください。2段目の欄となります。

文書費2,970万5,000円は、前年と比較しまして589万円の増額となります。主なものとしまして、この段の下から3番目、アナログ規制点検・見直し支援業務委託料としまして396

万円を計上しております。こちらはデジタル化の推進のために、従来アナログ、人が行ったりとか、そういう手で行っていたものの手続の見直しを行うために、要綱、条例等の洗い出しを行うものとなっております。

続きまして、112ページ、113ページをお願いいたします。

庁舎維持管理事業8,856万1,000円は1,195万4,000円の減額となります。主なものとしましては、右の説明欄、この事業の上から2番目の項目、光熱水費3,453万3,000円は、昨年度と比較しまして、実績を勘案しまして346万7,000円の減額の予算計上となっております。

その下の欄、公用車管理事業となります。公用車管理事業3,117万9,000円は163万7,000円の減額となります。主なものとしまして、右の説明欄、この事業の真ん中辺りになります、公用車運転業務委託料1,721万9,000円につきましては、市長車、議長車、マイクロバスの運行管理を委託するものとなっております。令和7年度前半に長期継続契約の更新があるため、その初年度となるため、予算が昨年より上昇しております。

その3つ下の項目、自動車購入費170万1,000円につきましては、市民貸出し用の青色回転灯を乗せている公用車1台の更新を予定をしております。

その下、財産管理事務事業1,463万6,000円は、昨年と比較しまして1,823万2,000円の減額となります。大幅な減額の原因としましては、今回の補正予算の議案で繰越明許をお願いしております第2駐車場の土地購入費が令和6年度に計上されておりましたので、その分が今回は切られておりますので減額となっております。

続きまして、少し飛びまして、134ページ、135ページをお願いいたします。

選挙啓発費となります。選挙啓発費は9万7,000円で、1万5,000円の増額となっております。主なものとしましては、啓発ポスターの報償費6,000円、消耗品5,000円、啓発ポスター、こちらは啓発ポスターへの応募いただいた方の参加賞の品を購入するためのものとなっております。また、印刷製本費としまして、通信運搬費6,000円につきましては、こちらは新しく、新たに18歳を迎えられます、ごめんなさい、すいません、通信運搬費6万円につきましては、18歳を迎えられます新有権者の方、およそ700人を想定しておりますが、そちらの方に個別の啓発はがきを送るための費用となっております。郵便料金の増加等もございましたので、昨年よりも金額のほうは上がっております。

続きまして、その下の段、参議院議員選挙執行事業5,232万5,000円は、こちらは皆増というふうになっております。令和7年7月に予定されております参議院議員選挙の執行の経費となります。

続きまして、138ページ、139ページを御覧ください。

下の段、諸統計調査事業につきましては4,063万4,000円で、3,754万7,000円の増額とな

っております。令和7年度は5年に1回行われます国勢調査の調査年となっておりますので、そのための経費のほうが大幅に増加しております。

あと、歳入につきまして、大きなところがございますので、そちらだけちょっとかいつまんで御説明をさせていただければと思います。

予算書は72ページ、73ページ、御覧ください。

下の囲み、15款 県支出金、3項1目3節の選挙費委託金につきましては、先ほど歳出でも説明をさせていただきました参議院議員選挙が予定されておりますので、歳出と同額を計上しております。

続いて74、75ページの一番上の欄、御覧ください。

こちらと同様になりますが、統計調査費委託金としまして4,119万5,000円につきましては国勢調査、及び経営経済センサスが行われますので、そちらの委託金のほうが計上されております。

以上で総務課所管分の説明を終わります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 続いて、浦財政課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 2款 総務費のうち、財政課所管部分について説明いたします。

歳出は大きな変更がございませんので、主な歳入を説明させていただきます。

33ページをお願いいたします。

33ページ、下段の9款 地方特例交付金は、令和6年度の定額減税による個人住民税所得割の減収補填が令和7年度はなくなったことに伴い、前年度比マイナス79.2%の8,500万円を見込んでおります。それは減収補填も合わせて、合計で8,500万円を見込ませていただいております。

次に、35ページをお願いいたします。

35ページ下段の10款 地方交付税は、前年度比プラス8.2%の19億8,000万円を見込んでおります。内訳は、普通交付税がプラス1億円の17億8,000万円、特別交付税はプラス5,000万円の2億円としているところでございます。

続きまして、81ページをお願いいたします。

81ページの下段になります。18款 繰入金、1項1目の財政調整基金繰入金は7億円を繰り入れているものでございます。

続きまして、87ページをお願いいたします。

87ページの中段でございます。20款 諸収入、4項1目 競馬事業収益配分金は、愛知県競馬組合からの競馬事業の収益配分金として、前年度よりプラス1億1,400万円の2

億1,400万円を計上しているものでございます。

続きまして、98ページをお願いいたします。

98ページの最下段の21款 市債、1項4目の臨時財政対策債は、前年度より皆減となっております。

以上で説明を終わります。

○予算特別委員長（鶴飼貞雄議員） 続きまして、あれ、手が挙がってない。

伊藤秘書広報課長。

○秘書広報課長（伊藤克代君） 申し訳ありません。続きまして、秘書広報課所管分について説明いたします。

令和6年度と比較し、金額に大きな増減のあったものの説明とさせていただきます。

それでは、歳出より説明いたしますので、予算書104、105ページを御覧ください。

2款1項2目 秘書人事管理費、右側、105ページ下段の1、秘書人事人件費では、前年比で約9,900万円の増額です。説明欄の上から2つ目、職員共済組合負担金と、その2つ下、社会保険掛金負担金が増額の主な要因ですが、これらは職員給料等の改定による給与額の増額などによるものです。

1枚おめくりいただきまして、107ページを御覧ください。

ページ中ほどの4、秘書人事管理事務事業は前年比で約1,340万円の増額です。増額の主な要因は、さらに1枚おめくりいただきまして、右ページ説明欄、上から3つ目、電算関係借上料で、人事給与システムについて、令和7年度より新システムへ更新することによるものです。

同じページの最下段、広報活動事業は前年比で約70万円の減額です。説明欄の下から2つ目、印刷製本費において、広報紙の印刷契約を令和6年度から3年間の契約を締結しており、契約単価が確定した状態での予算計上となっております。

続いて、歳入の説明をいたしますので、88、89ページを御覧ください。

20款5項3目 右ページの中ほど、5節 雑入です。上から3つ目、雇用保険掛金負担金を約100万円の増額としています。会計年度任用職員の報酬額の増額によるものです。

以上が、秘書広報課所管分の説明となります。

続きまして、各事業の人件費につきまして、まとめて説明させていただきます。

議会人件費をはじめとする各事業の人件費につきましては、昨年秋の当初予算作成時の人員配置を参考に次年度の人員配置を仮定して、人事異動や機構改革などは不明の状態での積算となっております。全体的には、給料表の改定により、一般職級が増額となっており、それに伴って、地域手当、期末手当、勤勉手当もそれぞれ増額となっております。そ

の他の手当等は仮の配置による属人的な増減です。前年度と比較しての人数の増減や金額の増減は、あくまで仮の人員配置と、それに伴う属人的理由によるものであります。

以上で説明を終わります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 続きまして、近藤会計管理者。

○会計管理者兼出納室長（近藤恒明君） それでは、出納室所管の主な歳出を御説明させていただきます。

当初予算書110ページ、111ページをお開きください。

2款1項6目 会計管理費の本年度予算額は3,861万2,000円で、前年度と比較いたしますと914万円の増額となっております。増額の要因につきましては、指定金融機関での口座振込手数料を令和6年10月より負担することになったものが1年間分の計上となったことによるものでございます。

以上で出納室所管の説明を終わります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 続きまして、中野公共施設管理課長。

○公共施設管理課長（中野忠之君） 続きまして、公共施設管理課所管分について御説明させていただきます。

まず、歳出より説明いたしますので、予算書114、115ページをお開きください。

2款1項7目 財産管理費、4、公共施設管理事業2億1,624万8,000円は、前年度比3億5,354万4,000円の減額となります。

増減の主なものを御説明いたします。

右側説明欄、上から5行目、公共施設包括管理事業委託料は、7年度から児童館と館小学校の増築棟を管理に含めるため、増額となっております。

3つ下、公共施設照明設備LED化賃借料は、6年度は施設の大半が年度途中からの契約となっていました、7年度は1年を通しての契約となるため、増額となっております。

その下、教育費営繕工事費は、大宮小学校、二村台小学校のトイレ改修工事で、車椅子用トイレを含む改修を行います。6年度は館小学校の建設工事費などが計上されていたので、7年度は減額となっております。

次に、歳入について御説明いたします。

96、97ページをお開きください。

下段、21款1項1目 総務債、右側説明欄、学校施設改修事業9,230万円は、大宮小学校、二村台小学校のトイレ改修工事に充当されるものです。

次に、債務負担行為について御説明いたします。

13ページをお開きください。

第3表、1行目、公共施設包括管理事業委託事業（追加分）721万5,000円は、児童館及び館小学校増築棟の管理を包括管理業務に含めるためのものになります。

以上で公共施設管理課所管分の説明を終わります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 続きまして、萩野企画政策課長。

○企画政策課長（萩野昭久君） それでは、2款 総務費のうち、企画政策課所管分について、歳出から御説明いたしますので、当初予算書の114、115ページをお開きください。

下段の1項8目の企画費は1億5,877万1,000円を計上し、前年比2,688万4,000円の増額となります。循環バス運行負担金や豊明市地域公共交通活性化協議会負担金の増額が主な要因になります。

ページを1枚おめくりいただき、116、117ページをお願いいたします。

企画事務事業の右側説明欄、上から8項目め、第6次豊明市総合計画策定支援業務委託料812万9,000円は、次期総合計画策定に向けた支援業務に係る委託料になります。

また、事業の一番下、平和推進事業補助金50万円は、市民向けの平和推進事業に対する団体への補助金でございます。

その下の地域創生事務事業ですが、ページを1枚おめくりいただき、118、119ページをお願いいたします。

右側説明欄、上から2項目め、バス車両購入費2,464万円は、ひまわりバス更新のための1台分の車両購入費になります。

次に、主な歳入を御説明いたしますので、56、57ページにお戻りください。

上段の14款 国庫支出金、4項1目 総務費国庫交付金の右側説明欄、新しい地方経済・生活環境創生交付金7,073万1,000円は、デジタル実装などのための交付金でございます。

続きまして、80、81ページをお願いいたします。

中段の17款 寄附金、1項1目の右側説明欄、上から3項目めの企業版ふるさと納税寄附金300万円は、三崎水辺公園改修事業に賛同する事業者からの寄附金でございます。

以上で企画政策課所管分の説明を終わります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 続いて、松本共生社会課長。

○共生社会課長（松本小牧君） それでは、共生社会課所管分について、歳出より御説明いたしますので、予算書の120、121ページを御覧ください。

2款1項11目 市民活動推進費は、前年比665万7,000円の増額です。

それでは、主な増額要因について御説明いたします。

121ページ上段、1、市民活動推進事業、説明欄上から2つ目、地域共生推進委員会委員報酬、中ほど、通信運搬費、筆耕翻訳料及び市民意識調査等業務委託料は、このたび策定

いたします地域共生社会推進指針に係る実態把握調査のための費用です。

続いて、下から2つ目、コミュニティ助成金は、令和7年度は2団体が申請することに伴う増額です。

続いて、122、123ページを御覧ください。

123ページ中段、3、区長会事業、説明欄下から2つ目、区一括交付金は、特定財源として交付しております防犯灯電気料金が、算定基準となっている今年度の実績が上昇したことに伴い、増額するものです。

続きまして、歳入の説明をいたしますので、56、57ページを御覧ください。

最上段、14款 国庫支出金、4項1目 総務費国庫交付金、1節 市民活動推進費交付金、説明欄、外国人受入環境整備交付金は、外国人の居住環境を整備するための経費に係る国庫負担金です。

以上で説明を終わります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 続きまして、長野情報システム課長。

○情報システム課長（長野直之君） 続きまして、情報システム課所管分について説明いたします。

歳出から説明いたしますので、予算書は122、123ページをお願いします。

12目 電算管理費の当初予算額は6億9,478万2,000円を計上しており、前年度比で5億1,028万6,000円の増額となっています。

増額の主なものについて御説明いたします。

右側説明欄5つ目、消耗品費はプリンタートナー等の消耗品のほか、各種ライセンスの購入費用を計上しております。保育園へパソコンを増配するために必要なライセンス購入のため、増額となっております。

124、125ページをお願いします。

説明欄一番上、手数料はキャッシュレス決済の手数料を計上しております。

その下、電算関係委託料は、令和6年度の当初予算及び本年度の補正予算にてお認めいただいた債務負担行為の約4億7,000万円を含め、自治体情報システムの標準化に向けた移行業務の費用を計上しているため、大きく増加しております。現状のところ、おおむね1年遅れを想定して、予算書13ページ、第2表で繰越明許費を計上しております。

続いて2つ下、電算関係借上料は、当初予算の概要7ページに記載してございます長期継続契約予定のプリンターの更新が主な増額の要因です。

その下、ASP等使用料は、デジタル実装に係るサービスの利用料やガバメントクラウドの利用料を計上したことが増額の要因です。

続きまして、歳入を説明いたしますので、48、49ページをお願いします。

14款2項1目2節 電算管理費補助金の社会保障・税番号制度システム整備費補助金は、情報システム課分と市民課分の計上となります。情報システム課分として、マイナンバーを使つての情報連携に必要な中間サーバープラットフォームの整備費用に対する国の補助金で、歳出の社会保障・税番号制度負担金の一部へ充当するものです。

その下、デジタル基盤改革支援補助金は、自治体情報システムの標準化移行業務に対する国の補助金で、情報システム課分、市民課分、地域福祉課分の合計となります。両補助金とも10分の10交付されるものです。

それから、この場をお借りしまして、第10次実施計画書の訂正をお願いいたします。

実施計画書のほう、14ページになります。

14ページの下から2段目、自治体情報システム標準化・共通化事業につきまして、2025年の欄に1億790万1,000円、2026年と2027年の欄に1,549万2,000円の記載がございますが、こちらを2025年の欄は空欄、2026年の欄に1億790万1,000円に修正をお願いいたします。2027年は変更ございません。1年後ろへ遅らせるような形になります。併せて当初予算の概要、19ページの主要事業の概要、16番、情報標準化・共通化事業の1億790万1,000円も削除となります。

こちらの費用は標準システムの利用に際し必要な費用で、各部署が構築する外づけシステムを収容するための庁内サーバーの構築費用でございます。予算審議をいただくに当たり、議員の皆様には大変御迷惑をおかけしております。謹んでおわび申し上げます。申し訳ございませんでした。よろしくお取り計らい願います。

以上で情報システム課所管分の説明を終わります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 続きまして、川島防災防犯対策課長。

○防災防犯対策課長（川島康孝君） 続きまして、防災防犯対策課所管分を御説明いたします。

予算書の125ページをお開きください。

中段、防犯対策事業の説明欄下から4行目、防犯設備設置工事250万円は、3中学校区におきまして、中学校の意見を聞きまして防犯灯を設置するものです。

続きまして、説明欄の一番下、防犯設備設置費補助金450万円は、今まで環境課のほうでリース契約していた防犯灯2,000灯が各区の所管に変わるということで、修繕費を見込んで増額となっております。

続きまして、予算書の143ページのほうをお願いいたします。

143ページの一番上段説明欄、自転車乗車用ヘルメット着用促進事業費等補助金は、昨年

度と引き続き、自転車乗車用ヘルメット着用促進のために補助金を出します。ここに、今まで自動車の後づけ装置の補助金もありましたが、こちらのほうに統合させていただいております。

防災防犯対策課の所管分については説明を終わります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 続いて、堅田税務課長。

○税務課長（堅田直寛君） それでは、税務課所管分につきまして、歳出から主なものを御説明いたしますので、予算書の126、127ページをお願いします。

2款2項1目 税務総務費の右側事業欄の2つ目の地番家屋現況図修正事業ですが、前年比677万2,000円の増額です。主な要因は、令和9年度の評価替えに向けて、航空写真撮影業務を実施いたします。

その下、課税計算事業は355万5,000円の減額です。主な要因は、昨年度は定額減税のシステム改修を実施したためでございます。

その下、税務総務事務事業は1億4,028万4,000円の増額です。主な理由として1枚、ごめんなさい、ページをめくっていただきまして、129ページ、右側説明欄を御覧ください。一番下の定額減税補足給付金1億2,537万円を含む補足給付金事務に係る費用でございます。令和6年度の定額減税調整給付金につきましては、1号補正の対応でございましたため、大幅な増額となっております。

次に、歳入を御説明いたしますので、22、23ページをお願いいたします。

1款1項1目 個人市民税です。右ページの1、現年課税分は4億1,294万円の増額としました。主な要因としまして、令和6年度は定額減税に伴う減収分を見込んでいたためでございます。

その下の2目 法人市民税の現年課税分は5,233万3,000円の増額としました。主な要因は、令和6年度の見込みが好調であり、令和7年度も引き続き上回ることを見込みました。

下段の2項1目 固定資産税の現年課税分は8,362万8,000円の増額としました。主な要因として、土地の地目変更によるもの、家屋の新築によるもの、償却資産の増を見込んで増額といたしました。

以上で説明を終わります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 続きまして、高垣債権管理課長。

○債権管理課長（高垣茂晴君） それでは、債権管理課が所管する歳出予算から説明をいたしますので、予算書128、129ページを御覧ください。

下段、2款2項2目 徴収費です。129ページ、1、徴収計算事業は4,446万円を計上し、令和6年度に比べ136万円を増額しております。増額の主な要因は、令和6年10月から開設

している収納コールセンター業務委託料について、令和7年度は1年間分を計上したことによるものです。

続いて、その下、2、徴収事務事業は2,648万9,000円を計上し、令和6年度に比べ253万2,000円を増額しております。増額の主な要因は、会計年度任用職員の報酬単価の改定や、郵便料金の値上げ等を考慮の上、計上したためです。

続きまして、歳入を説明いたしますので、予算書22、23ページを御覧ください。

市税の滞納繰越分のうち、主なものについて説明申し上げます。

右側説明欄2段目を御覧ください。個人市民税の滞納繰越分ですが、4,400万円を、失礼しました、440万円を計上し、令和6年度と比較して、失礼しました、4,400万円を計上し、令和6年度と比較して100万円の減額といたしました。これは滞納額が減る傾向にあるためです。

24、25ページを御覧ください。

右側最上段、固定資産税の滞納繰越分ですが、1,700万円を計上しました。令和6年度と比較して100万円減額ですが、こちらも先ほどと同様に、滞納額が減っているためです。

続いて、84、85ページを御覧ください。

中段、諸税延滞金は800万円を計上しました。令和6年度と比べ400万円の減額ですが、こちらも減少傾向にあるためです。

以上で債権管理課所管分の説明を終わります。

○予算特別委員長（鶴飼貞雄議員） 続きまして、杉浦市民課長。

○市民課長（杉浦由季君） それでは、市民課から、当初予算の概要に記載漏れがありますので、訂正をさせていただきます。

7ページ、長期継続契約締結予定一覧表について、番号4に住民記録電算処理事業、住基ネットワークシステム機器等借り上げを加えます。記載漏れがありましたことを改めておわび申し上げます。申し訳ございませんでした。

それでは、改めまして、市民課所管分の歳出から説明をいたします。

予算書の130ページ、131ページを御覧ください。

下段、2款3項1目 戸籍住民基本台帳費、前年度比約1,470万円の増額です。

1枚おめくりいただきまして、133ページ、主な要因は、2、住民記録電算処理事業、電算関係委託料、前年度比約938万円の増額で、標準化に伴う戸籍情報システム等移行事業で、今年度の債務負担行為によりお認めいただいている予算です。

下段3、戸籍住民基本台帳事務事業、通信運搬費のうち約313万円、電算関係委託料約294万円は、振り仮名の法改正に伴う通知書作成等の業務委託をお願いするものです。

次に、歳入を説明いたしますので、48ページ、49ページを御覧ください。

14款2項1目1節 戸籍住民基本台帳費補助金の個人番号カード交付事務費補助金185万円の増額です。主な理由は、会計年度任用職員の報酬単価等の改正によるものです。

下段、2、電算管理費補助金の社会保障・税番号制度システム整備費補助金のうち、市民課分は、歳出で御説明した振り仮名の法改正に伴う業務委託等です。

その下、デジタル基盤改革支援補助金のうち、市民課分として、こちらも歳出で御説明した標準化に伴う戸籍情報システム等移行による補助金です。全て10分の10交付されるものです。

以上で説明を終わります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 続きまして、平下監査委員事務局長。

○監査委員事務局長（平下義之君） それでは、監査委員事務局所管分につきまして、予算書の140、141ページをお開きください。

6項1目 監査委員費は2,419万1,000円で、前年度と比較し79万4,000円の減であります。予算の内訳は、監査委員2名の報酬と事務局職員3名の人件費及び経常経費であります。

以上で監査委員事務局の説明を終わります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 説明は終わりました。

2款 総務費の質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

浅井委員。

○浅井たかお委員 予算書の141ページの下段の放置自転車等撤去処分業務委託料なんですけど、これはどこの自転車置場の分でしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

川島防災防犯対策課長。

○防災防犯対策課長（川島康孝君） こちらのほうは名鉄の3駅ございまして、そちらの放置自転車禁止区域の撤去の費用になっております。シルバー人材センターに委託して撤去していただく費用となっております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今の放置自転車の撤去ですけども、実績はどれぐらい撤去されていきますか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

川島課長。

○防災防犯対策課長（川島康孝君） 今年度の2月までの実績でいきますと、中京競馬場前駅で2台、それから前後駅で36台、それから豊明駅で20台という形になっております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

岡島委員。

○岡島ゆみこ委員 予算書のページ、105ページの弁護士料なんですけれども。

（大きい声でしゃべってよの声あり）

○岡島ゆみこ委員 はい。弁護士料の費用が計上されていますが、一般的に弁護士の方は、この金額はそんなに高い報酬ではないと思いますが、この予算の根拠を教えてくださいませんか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

山田課長。

○総務課長（山田隆貴君） 金額の積算なんですけれども、どちらかというと、他市とも比較しまして、それほど高くはないというふうには、調べではなっております。1年間を通しての顧問弁護士契約となりますので、たしか2年ぐらい前にちょっと値上げをさせていただいたというのがありますけれども、金額としましては1年分の金額で、こちらの積算を見積りを取ってやらせていただいているという状態です。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 今のところなんですけど、何回の相談があったんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

山田課長。

○総務課長（山田隆貴君） すいません、お待たせしました。

相談件数ですけれども、令和6年度、昨日現在ですけれども、27件ございます。27案件という形ですね、その後相談をかけている場合もありますので、27案件をお願いをしている状態です。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今の弁護士の委託料なんですけど、それとは違って、任期付の弁護士のほうの採用もあったと思うんですけども、それはどこのところに入っているんですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

伊藤課長。

○秘書広報課長（伊藤克代君） 任期付職員ですので、通常の人件費のところに入っております。2 款の、予算書でいきますと、102、103ページの総務費のところ、事業、一般管理人件費で、一般職給88人で載っておりますけども、この中に任期付の弁護士のお給料の分については入っております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 103ページの、その一般管理人件費の下から3番目で管理職員特別勤務手当ってあるんですけど、この特別勤務ってどういった勤務のことを言うんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

伊藤課長。

○秘書広報課長（伊藤克代君） 管理職員は、深夜ですね、深夜の勤務があったときに、この特別勤務手当がつきます。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

岡島委員。

○岡島ゆみこ委員 先ほどの任期付の弁護士なんですけど、こちらのほうの報酬根拠も教えていただけますか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

伊藤課長。

○秘書広報課長（伊藤克代君） 弁護士の給料の根拠といいますか、1月にお認めいただいた任期付職員の条例の中での4号級ということで想定しており、積算しております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

武谷委員。

○武谷としお委員 予算書の123ページ、中ほど、区長会事業のところ、

先ほどの説明の確認なんですけども、区一括交付金の増は電気代の増だけでしょうか。

お願いします。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

松本課長。

○共生社会課長（松本小牧君） 増額要因の主なものについては、前年度の8月の電気料金の実績を基準に、防犯灯の電気料金については算定をしておりますが、こちらが値上がりしていることに伴って約110万円増額するもの、そのほか20万円は世帯数が増加したことに伴う増額になっております。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

三浦委員。

○三浦桂司委員 予算書の113ページで、概要のほう分かりやすい、概要の37ページ、公用車管理事業の自動車購入費170万1,000円。1台と言いました。防犯パトロールの買換え、防犯パトロールカーの買換えで、これ、この金額では普通車じゃないと思いますけども、従来あった白黒の防犯パトロールカーはどうするのか。どうしますか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

山田課長。

○総務課長（山田隆貴君） 通常、公用車を買換える場合、その車がまだ使えるものであれば、下取りに出して少しでも購入費を下げようとしておりますので、今回の公用車につきましても下取り扱いという形でやらせていただければと思っております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

三浦委員。

○三浦桂司委員 関連で。

屋外スピーカーとかなど、交通課で、愛知署の、青色防犯灯の申請は生活安全課の申請で、これ、車検証には防犯パトロールだと法務局行かないといけないんですが、これ、公用車なので、豊明市がやっていただけるのか。これ、170万の、機器とかスピーカーとか新たに購入すると、この金額では収まらないと思いますけども、そこら辺はどうですかね。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

山田課長。

○総務課長（山田隆貴君） まず、手続の面ですが、こちらはもちろん豊明市の公用車となりますので、市のほうで行わせていただきます。

車、170万ぐらいの予算ですけれども、車の予算、車は軽自動車を予定しておりますので、

一般的に普及している軽の乗用車を予定しております。それプラス、回転灯、アンプ、乗せて、塗装をかけて何とかぎりぎり、もしくは今ある青色回転灯が使える、そのまま流用も考えられると思いますので、予算見積り取っておりますので、この予算で収まるというふうに想定をしております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 三浦委員。

○三浦桂司委員 関連で。

今回、貸出し用の軽トラの事故がありましたよね。この車両も貸出し用の車両ですよ。だから、車両の保険はどうなっているのかと、パトロールしている人が事故を起こした場合、費用面、運転手さんの責任はどうやって及ぶのか、一般的に公用車を買換える場合、どれぐらいの走行距離とか年数が経過すれば買換えるのか、ちょっと教えてください。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

山田課長。

○総務課長（山田隆貴君） まず、買換えのところから御説明をさせていただきたいと思います。

買換えにつきましては、今、なかなか車の納車とかも難しくなっておりまして、買換えの頻度についても、今、総務課のほうで検討を進めておる状態です。基本的には13年以上、一般の車でいうと税金がちょっと高くなるのが13年以降だと思いますので、まず年数は大体13年ベース。キロ数につきましては、10万キロとは言っておるものの、実際はもっと超えて走っておりますので、年数・キロ数についても少し長めに今検討をしております。

修繕等につきましては、きちんと車検整備のほうでかけておりますので、安全性の面については、問題ない範囲まで使っていこうというふうに検討をしております。

保険につきましてはですけども、公用車となりますので、職員の事故につきましては職員の保険のほうで掛けております。市民の貸出しのほうの車につきましては、そちら、また保険が掛けられております。交通事故ですので、一義的な事故の責任につきましては当人さんにももちろんかかってくる場所がありますので、しっかり安全に気をつけて乗っていただければというふうに考えております。もちろん職員についても同様です。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

いとう委員。

○いとうひろし委員 今のところで。

（発言する者あり）

○いとうひろし委員 いいですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） どうぞ。

○いとうひろし委員 これ、カラーリングは、今回は前回と一緒になのでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

山田課長。

○総務課長（山田隆貴君） 前回と同様に、白黒のパトロールカーに似たような形に持っていきたいと思っております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 同じところですか。

新車であれば、安全装置、もちろんついてるかと思うんですが、御高齢の方でも安全に運転できる仕様かということと、あと、納入の時期というのは大体いつぐらいを予定していますか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

山田課長。

○総務課長（山田隆貴君） もちろん安全装備につきましては、今ほかの公用車についても同様ですけれども、少しでも事故が減るようにということで最新のものを、今つけなければいけないものについてはきちんとつけて、ドライブレコーダー等もつけていきたいと思っております。

もう一つが、すいません。

（納入時期の声あり）

○総務課長（山田隆貴君） 納入時期ですね。納期のほう、延びておりますけれども、軽の乗用車ですので、なるべく早めに入札をかけさせていただきまして、少しでも早く納入できれば。というものの、数か月はかかるというふうに認識はしております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今のところ、保険のことなんですけども、公用車の場合の保険はここにある保険料の132万5,000円で、今回貸出しということなので、121ページのほうの保険が適用されるというふう、計上ってそういうふうになっているのか、一緒にされているのか、どういうふうになっていますか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

山田課長。

○総務課長（山田隆貴君） こちらの保険料の132万5,000円につきましては、今保険のほう、市の全体で72台の公用車に掛けております。これ、全て、例えば消防団の車とかそういったものを含めて掛けておりますので、ここに計上されております金額につきましては、うち総務課が所管しているもの、あと、車検とかに係る重量税とか自賠責とかで、重量税は、すいません、自賠責ですね、自賠責保険とかのお金もここに入っておりますので、厳密にこのお金が全て保険料かと言われると、任意保険のお金では、ちょっとそこは食いつかない部分があると思います。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

松本課長。

○共生社会課長（松本小牧君） 市民貸出し用の保険につきましては、予算書121ページの中段のところにあります保険料のほうで、軽トラ1台、防犯パト2台分を計上してございます。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

岡島委員。

○岡島ゆみこ委員 予算書119ページのバス車両購入費についてなんですけれども、こちらのバスの購入費には下取りが差し引いてある残なんでしょうか。また、下取りを出す予定があるとしたならば、下取りをどういう状態で出すのか。少しでも下取りを高くするような工夫などがあったら教えてください。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

萩野課長。

○企画政策課長（萩野昭久君） 予算書のほうには、下取りを含めた金額にはなっておりません。下取りのほうなんですけれども、古い車なので、状態を見て考えていくんですけど、下取りを中心に、入札なんかもちょっと考えている状況です。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 バス車両の購入についてなんですけれども、ひまわりバス、たしか市内3台あって、1台交代して、2台目だと思うんですけれども、最初の1台はどこに配置されて

て、今回のものはどこに、どこを動くバスになるのでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

萩野課長。

○企画政策課長（萩野昭久君） 今回購入するバスのほうは、中央循環の青ルートを中心に走っている車両を更新する予定です。で、今年度の購入の車両は、赤ルートを中心に走っている車両を更新する予定です。で、今年度買う車両というのが青を基調としたデザインになりますので、4月からはその車両が青ルートを中心に走るような形で考えております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 すいません、ちょっと赤ルートと青ルートがどの辺りを通るか、ちょっと分からなくて、そこだけちょっと教えてください。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

萩野課長。

○企画政策課長（萩野昭久君） ですので、今年度買う車両が赤ルートですね、赤ルートの車両を交換するんですけど、交換した後は青ルートを走る形になります。

（発言する者あり）

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 静粛に。

萩野課長。

○企画政策課長（萩野昭久君） 前後駅より、北のほうを中心に走っておりまして、衛生大だとか文化会館だとか市役所のほうを、赤も青も同じルートで走っておりまして、何というんですかね……。

（回り方の声あり）

○企画政策課長（萩野昭久君） そう、右回りか左回りかという、その違いになります。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 委員の方に申し上げます。

予算の審議中でございますので、予算に関連した質疑に努めてください。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 さっきのその青と赤ルートを配置するということなんですけども、そうすると、南側の車両が古いままなんですけども、その辺のバランスって考えていますか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

萩野課長。

○企画政策課長（萩野昭久君） 今の南循環の車両というのは、今の走っている車両より2年新しい車両になりますので、今の予定ですと令和9年ですね、令和9年に更新の予定をしております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

堀内委員。

○堀内ちほ委員 予算書121ページ、市民活動推進事業の下のほうのコミュニティ助成金はどこの区ですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

松本課長。

○共生社会課長（松本小牧君） 今回は2区、桶狭間区とゆたか台区が申請予定でございます。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

武谷委員。

○武谷としお委員 今のところ、関連です。

コミュニティ助成金で1区だと思うんですけども、今回2区が選ばれたって、何か理由があるんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

松本課長。

○共生社会課長（松本小牧君） コミュニティ助成につきましては、自治総合センターが県を通じて募集をかけております。毎年2団体を申請しておりますが、昨年度につきましては、当該順番が来た区が辞退をしたため1区のみ申請、来年度につきましては、例年どおり2区が申請ということでございます。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ここで、委員会の質疑の途中ではございますが、休憩のため10分間休憩いたします。

午 前 1 1 時 休 憩

午前11時10分再開

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） では、休憩を解き、休憩前に引き続き質疑を始めます。

ほかございませんか。

萩野課長。

○企画政策課長（萩野昭久君） すいません、先ほど林委員の質問で、ひまわりバスの赤ルート、青ルートのところで、私、衛生大と言ってしまったんですけども、今は藤田医科大ですので、すいません、訂正のほうをお願いします。申し訳ありませんでした。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） では、質疑始めます。

鈴木委員。

○鈴木智和委員 当初予算の概要の２ページですけども、説明でもお聞きしたんですけども、確認も含めて聞きたいと思います。

18款の繰入金ですけども、このたび介護保険特会からの繰入れということをお聞きしました。本来は介護保険特会内での使用されるべきだと考えますけども、そこから一般会計の繰入れをする必要があるという、その必要性和妥当性をお聞きします。

もう一点いいですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） はい。

○鈴木智和委員 同じく21款の市債ですけども。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） じゃ、分けましょうか。

○鈴木智和委員 分かりました。お願いします。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁できますか。

浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 介護は、ちょっと事業としては3款になりますが、重層的支援体制整備関係の事業を進めていく際に、もともと介護特会にあった事業を一般会計に持ってきております。その際に、財源も介護特会に入るものを一般会計に流し込むために、このような介護特会からの繰り出し、一般会計にとってみれば繰入れが生じているというところでございます。

終わります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

鈴木委員。

○鈴木智和委員 じゃ、同じく2ページの市債のところですけども、臨財債がゼロとなって、全ての市債が事業債となっています。なっている状況ですが、これは市の財政戦略として意図されたものか、その理由と、その他の財源とのバランスについて伺います。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 2点御質問いただいておりますが、まず1点目の臨時財政対策債については、本市の財政戦略というよりは、今回は国が、臨時財政対策で発行するほどの不足が地方交付税において生じておりませんので、その結果というところでございます。

全体のバランスというところで申し上げれば、市債、前年から増えていますが、当初予算の説明などでもお伝えしているような、もともと計画していた事業費の増加に伴う事業債の増額ですので、そういった意味では、健全かつ計画的な運営ができているというふうに認識しております。

終わります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 ちょっとここで聞いていいのかどうか分からない、ちょっと関連なんですけども、資料ありがとうございます。資料6の④、資料6の④で、地方債の充当先の一覧、頂きましてありがとうございます。この中で、交付税措置がされないやつを、もし分かればお願いしたいんですが。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 今年度については、全て交付税措置があるもので構成されております。

終わります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 予算書のページは109ページ、2款1項3目 文書事業の説明にもあったアナログ規制点検・見直し支援業務委託料で、具体的にはこういった業務が対象と見込んでいるのか、お答えいただきたいと思います。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

山田課長。

○総務課長（山田隆貴君） それでは、こちらの御説明をさせていただきます。

先ほど説明でも少ししたんですけれども、例えばの例という形で提示をさせていただきます。アナログ規制というものが国のほうから7つ示されておりまして、例えば現場を確

認をしないと完了の認めが下ろせれないとか、あと、補助金とかを受けてやった工事とかで現場に行かなければいけないとか、そういった人が動くということがアナログというような感じのニュアンスになっておりまして、そういった行為をしなくても、例えば写真だとか、あと、今でいうとスマホの、例えば動画でやり取りしたりとか、そういうような形でデジタルを使ってそういった行動が取れるようなことがあれば、そういうふうに規制とか、あと条例とかを直していきましょうということになっております。それを、洗い出しをするための委託料が、今回の委託料というふうになっております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 予算書の105ページの一番上、契約検査事業の中です。

昨年度まで毎年、金額は少ないんですが、建築設計支援員謝礼というのがあって、それがなくなり、で、会計年度任用職員さんですかね、契約検査業務ということで新しく提示されているんですが、こういうふうにした理由と、どういった効果を生むということでされたんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 予算種別、2つ御質問いただいておりますが、1つ目のほうが7年度ないのは、これまでの実績を踏まえて、市全体でも実績を踏まえた予算要求としていますので、不要という判断をしたというのが1点目でございます。会計年度任用職員は、その前段のものを担うというよりは、契約検査業務を来年度、会計年度任用職員の方に担っていただく予定で、そのような予算としておりますので、引き続き契約検査業務が担える、6年度と同じような体制になれるような形の予算としたところでございます。

終わります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 今回の関連で確認ですけれども、実績に応じてということで不要というふうにおっしゃいましたけども、今回の会計年度任用職員さんにされることによる、何か変わることはあるんですか、具体的に。何か狙いがあるんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 失礼しました。分かりにくくて申し訳ありませんでした。

あくまでも市は実績がなかったので、必要な状況にここ数年なくて、今後もないだろうというところでございます。なので、不要な予算については減額措置をさせていただいております。その上で、6年度まで行っている契約検査体制について、正職員で行っていたところを、来年度は正職員と会計年度任用職員という組合せでやっていくという予定でございますので、内容的に大きく変わるものでございません。

終わります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 資料ナンバー4の1の人件費、課別の人数と会計年度の人数についてですけども、まずお聞きしたいのが、これは正規職員が令和7年度462で、会計年度さん862なんですけども、実際、正規職員、たしか350人前後ぐらいだったかなと思うんですけど、それと会計年度さんも六百何十人ぐらいだったかなと思うんですけど、かなり乖離が、まずこの資料の人数とあるんですけど、まずその理由を聞かせてください。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

伊藤課長。

○秘書広報課長（伊藤克代君） 正規職員についてはこの人数でございます。で、計画人数と実際の人数で乖離があったのは会計年度さんの人数なんですけども、それは、計画のほうは1年間で、1年間通じて任用する会計年度もいれば、部分的に任用される職員もいる、それぞれが1名として数えるので人数としては乗せていくんですけど、以前、一般質問のときにお答えしている、今現在のというのは、そのある時点での人数になるので、そういう意味で乖離が、人数に乖離が生じるというふうになっております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 ということは、会計年度さんのほうですけども、部分的に一時期みたいな人も含めれば、この870人はいるというふうに理解していいのかということと、あと、正規も会計年度さんも両方とも増加、かなりしているんですけども、この理由も分かればお願いします。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

伊藤課長。

○秘書広報課長（伊藤克代君） まず、会計年度の人数につきましては、あくまで各課で管理して任用していただいているので、計画人数のとおり任用できていれば、その人数

なんですけど、そのところについてはちょっと秘書のほうでは分からないので、実際話を聞いて、本当は何人欲しいんだけどちょっと人が来てくれないんだという話も聞きますので、計画どおりに必ずしも任用できているというふうではないように認識しております。

それから、職員数の増についてですけれども、計画、今年度予算の計画としては、去年の秋の実員人数を基本に数えているんですけれども、正職員のほうにつきましては、少し増えている感じにはなっておりますけれども、主には保健師、ごめんなさい、失礼しました、保育士ですね、保育士さんが、どうしても育休の方だったり、あるいは支援が必要なお子様が増えてきたりしていて、なかなか現場が回していけないということで、可能な範囲で採用したいということで、保健師の、失礼しました、保育士ですね、保育士さんのほうをちょっと増をしているというところで、5人ほど増というふうにはなっているんですけれども、定員適正化計画上から見たら取り過ぎという数ではありませんので、どちらかというところとまだ少し足りない状況にはなっております。

それから、会計年度につきましては、今年度、7年度、6年度と比べて、かなり増えているような数字になっておりますけれども、例えば総務課で令和7年度は参院選が予定されていたり、国勢調査が予定されていたり、あと、税務課のほうでも、定額減税の対応で人が要するというようなことで、人数が去年、6年度よりは増やした状態になっております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 簡潔な答弁ありがとうございました。

関連ですか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 では、107ページの秘書人事管理事務事業のほうで、新たに、これ、会計年度さんで庁内事務補助業務というので増えているんですけれども、これはこういった業務が増えるのか。それから、こういったのは正規職員では担えない、正規職員にはしなかったんですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

伊藤課長。

○秘書広報課長（伊藤克代君） こちらの庁内事務補助業務の会計年度につきましては、障がい者の方の雇用のために確保した予算になります。ですので、今現在、障がい者の方で会計年度さんが決まっているわけではなくて、やはり障がい者雇用を促進していく上で、正職員もそうですけれども、会計年度としてもやれる業務があれば、ただ、各課では、やはりある業務で予算がつけづらいので、秘書広報課のところで予算を確保したということに

なります。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにありませんか。

三浦委員。

○三浦桂司委員 これは概要の、37ページのほうが分かりやすい、公共施設管理事業の下のほうの教育費営繕工事、公共施設管理事業の下のほうの教育費営繕工事費9,242万2,000円、これ、公共施設か、ちょっと学校教育か分かりませんが、今回大宮小学校と二村台小学校のトイレ改修工事と聞きましたけれども、これ、障がいを持つ児童が進級するために、トイレ改修する予算をしていくのかどうか。ちょっとどっちが答えるか分かりませんが。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

中野課長。

○公共施設管理課長（中野忠之君） こちらは大宮小学校と二村台小学校のトイレを改修する工事です。生徒さんで歩行の困難な生徒さんが今いらっしゃいます。歩行の困難な児童がいらっしゃいますので、その方が、今1階で使われているんですけど、2階に上がっていくということで、2階・3階のトイレを車椅子用トイレに直すものです。

あと、大宮小学校につきましては1階も同時に直すということで、1階・2階・3階のトイレを改修する予定をしております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今の教育費の営繕工事、トイレ改修ですけども、資料のナンバー2の①、ありがとうございます。先ほど車椅子用にトイレ改修するということですが、今の説明ですと、二村台小学校が1階、2階、3階で、大宮小が2階と3階で、これ、全部1か所ずつですかね、トイレ。ということと、あと、その説明ですと、なぜこの大宮小学校の2階、3階のほうが高くなっているんですけども、その理由も聞かせてください。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

中野課長。

○公共施設管理課長（中野忠之君） トイレにつきましては、1階につき男女で1か所の改修をする予定をしております。

大宮小学校と二村台小学校の金額が同じという話なんです。大宮小学校の場合は面積が小さいということで、約18平米ぐらいで、二村台小学校のほう約30平米ぐらいという

ことで、面積がちょっと違いますので、大宮小学校のほうが1階分多いんですけど、金額的には同じような金額になるということになっております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） よろしいですか。

では、林委員。

○林 ゆきひろ委員 ちょっと確認です。大宮小学校のほうが1階、2階、3階で、二村台小のほうが2階、3階というふうに理解すればいいですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

中野課長。

○公共施設管理課長（中野忠之君） 委員のおっしゃるとおりです。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 実施計画書です。12ページです。一番上のところでは。

地域公共交通計画策定事業、2025年のところと、これは違うのかもしれないけど、26年のところ、負担金が一応書いてあるんでちょっと着目しました。この辺で25年、要するに令和7年度は、何か新しい宅地に関わったルート変更のための検討なんかがあって、こういう金額設定でいろいろ検討するような、そういう意味合いなんでしたっけ。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

萩野課長。

○企画政策課長（萩野昭久君） こちらの予算は、次の豊明市地域公共交通計画をつくるための予算になります。で、令和7年度はニーズ調査、利用実態だったりニーズ調査をやって、令和8年度に策定業務をやる予定をしております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今のは予算書119ページの上の豊明市地域公共交通活性化協議会負担金のことかと思うんですけども、かなり、1,000万という金額が増えているんですけど、これはどこに負担するんですかね。協議会に対して。で、協議会のメンバーはどういうメンバーかというのと、あと、市には地域公共交通会議があると思うんですけども、それとはメンバーは全然違うんですかね。どういうふうになっていますか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

萩野課長。

○企画政策課長（萩野昭久君） メンバーは同じになりまして、メンバーですけど、交通事業者だったり、あと市民の代表、あと他市町村の職員などがいます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 メンバーが全く同じなのに2つある理由は何なんですか。

それと、ルート変更ということなんですけど、だったと思うんですけど、令和9年度からルートが変わるといふふうに認識してていいですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

萩野課長。

○企画政策課長（萩野昭久君） ルート変更ということは言っておりませんので、計画を新しいものをつくるというんですか、次の計画をつくるというものになります。

で、活性化協議会というほうでつくる作業をすると、国庫のほうが取れる可能性がありますので、今回負担金としてお願いするものになります。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 予算書の143ページ、2款7項1目で、先ほど聞き取りづらかったので再確認もしたいんですが、どこの予算項目に対して自動車安全装置の費用を統合した形というの、ちょっとそこをもう一度聞きたいです。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

川島課長。

○防災防犯対策課長（川島康孝君） 自転車乗車用ヘルメット着用促進事業費等補助金の129万の中に、今年度、等という言葉を含めまして、後づけのほうも入れた予算となっております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかに。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 要するに、統合したというのは、簡単に言うと、あんまり利用実績等、その辺考えてという、そういうことでしたっけ。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

川島課長。

○防災防犯対策課長（川島康孝君） 委員のおっしゃるとおりです。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 今のヘルメットと後づけのブレーキのシステムと、6年度の実績と、来年度どれぐらいの件数で見込んでこの金額になっているか、お願いします。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 川島課長。

○防災防犯対策課長（川島康孝君） 今年度の実績、見込みなんですが、ヘルメットのほうが480件申請があると。それから、後づけの装置のほうは1件という見込みであります。で、7年度の予算につきましては、ヘルメットのほうは470件と後づけのほうも1件という形で、金額のほうは積算しております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

中堀委員。

○中堀りゅういち委員 115ページ、2款1項7目、4番、公共施設管理……。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） マイクお願いします。

○中堀りゅういち委員 公共施設包括管理業務委託料9,730万なんですけど、先ほど館小と児童館と保育所って聞いたんですが、もともと館小って入っていたような気がするんで、ちょっとここ、御説明お願いできますか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

中野課長。

○公共施設管理課長（中野忠之君） 館小学校のほうは、今年度、増築棟を建設しておりますので、そちらのほうが今まで入っていなかった管理の分になります。ですので、来年度、そちらのほうを管理のほうに入れて、包括管理業務委託のほうが料金が高くなるということになっております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 中堀委員。

○中堀りゅういち委員 管理会社は以前の、ほかの小学校・中学校で管理している管理会社、ございますよね、今現状で。そこがそのままやれる技術を持っているということによってよかったですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

中野課長。

○公共施設管理課長（中野忠之君） 今、館小学校のほうを管理しております、ほかの施設も一緒に管理しております事業者が、今回増える分も管理ができるということで増額する予定をしております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今の公共施設の包括管理で、13ページに債務負担行為で追加分が上がっています。これ、3年間ということなので、3で割ると240万ぐらいなんですけど、昨年と比べて240万以上に上がっているんですけども、その理由は何でしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

中野課長。

○公共施設管理課長（中野忠之君） 今回、債務負担行為のほうを増額させていただいております。そちらのほうは、先ほど言った児童館の管理と、あと、館小学校の増築棟の管理になります。で、そちらの管理のほうの内容としまして保守点検業務と、あと修繕業務のほうが入っておりますので、今年度増額分としまして約518万円ほど増額となっております。そちらのほうは3年分、債務負担行為のほうに上げさせていただいております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 債務負担行為のほうで721万5,000円で、8年度から10年度ということなので、3で割ると240万ぐらいなんです。で、115ページの公共施設の包括管理見ると、昨年と比べて350万近くぐらい上がってて100万ぐらい違うんですけども、この追加分以外に何か上がる要因があったのかどうかということを質問しています。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

中野課長。

○公共施設管理課長（中野忠之君） 後ほどお答えします。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 郷右近委員。

○郷右近 修委員 また実績、実施計画書です、失礼しました。11ページです。25のところのICT推進事業です。

オンラインで、これまで行っていなかったいろいろな申請業務のオンライン化ということで、具体的にはどういった分野の申請業務を見越していますか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

長野課長。

○情報システム課長（長野直之君） この申請業務のほうオンライン化するに当たり、各課に業務の洗い出しの調査をさせていただきました。その中で、内部のやり取りの業務を含みますけれども、全部で740業務ほど上がってきまして、その740業務の中から、取扱い

件数が多いものとか効果が高そうなものを、令和7年度に優先的に取り組んでいこうということで、現状でもやっているものもあるんですけども、その740業務の中から160業務ほどを選定しまして、市民課ですとか税務課、債権管理課のほうの証明書の関係ですとか、保険のほうの給付関係、それから検診の受付の関係、それから土木のほうの苦情・要望の関係、それから学校の児童クラブの申込みの関係、その辺の辺り、件数の多いものから優先的に取り組んでいきたいなと思っております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 郷右近委員。

○郷右近 修委員 イメージとしては、個人が持っているスマートフォンのような端末を使って、今お話しになったようなことを、数字を見ると2025年の欄に1,200万円で、あとは少額になっているから、来年、失礼しました、令和7年度から実際にそうなるという見通しなんですかね。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

長野課長。

○情報システム課長（長野直之君） 一般質問のほうでもお話をさせていただきましたけれども、今回3つのサービスを予定しておりまして、あいち電子申請届出システムのほうが、こちらは県のほうの共同調達になりますので、令和7年の4月から申込みのほうは新しいものになります。キャッシュレスのほうは、ちょっと初期設定といいますか、手続がありますので、ちょっと遅れての開始となっております。

それから、LINEを使ったサービスのほうは、こちらは4月に入りまして契約の手続を進めていきますので、令和7年度中の上半期中には始められたらいいかなというふうに思っております。

それから、窓口でのキャッシュレスのほうも予定をしておりまして、こちらも同様に、4月に入りましたら契約のほうの手続に入っていきますので、こちら令和7年度の上半期中、上期中には稼働できたらいいかなというふうに考えております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 同じとこです、情シスです。

概要の19ページの一番左上の15番、行政手続きデジタル実装推進事業ということで、こちらが窓口のキャッシュレスだとかそういうところに当たるかと思えますけども、まず、どこの窓口にキャッシュレス決済を導入するのか、お願いします。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

長野課長。

○情報システム課長（長野直之君） 証明書発行のときの手数料の関係で、現金の取扱いが多いところを想定しておりまして、証明書の発行窓口ですとか、税務課、債権管理課、市民課辺りを想定しております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 そのキャッシュレス決済ですけども、どんなようなキャッシュレス決済に対応させる予定でしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

長野課長。

○情報システム課長（長野直之君） キャッシュレス機能のほうは、あいち電子申請とLINEのほうと窓口のほうと3つ予定をしておりまして、あいち電子申請のほうは、こちらは業者が決まっておりますので、クレジットカードとPayPayとPay-easyの3種類といいますか、3つがキャッシュレス決済、対応しております。

LINEのほうと窓口キャッシュレスのほうは、今から4月以降に契約の事務を進めていきますので、想定とはなりますけれども、LINEのほうがクレジットカードとPayPayの2つになります。

それから、窓口キャッシュレスのほうは、マルチ端末と呼ばれる端末を置いて、クレジットカードを差したりだとか、スライドして読み込んだりだとか、あと、かざしたりというような端末を置く予定をしておりますので、こちらは大部分のものに対応するかと思います。具体的には、クレジットカードですとVISA・マスター等の7種類ぐらい、それから、電子マネーのほうですとSuica、manacaの交通系で9種類、それから、楽天Edy、WAON、nanacoの、いわゆる流通系といいますか、ショッピング系のもの、それからGooglePay、ApplePay……。

（概要で分かればいいですよの声あり）

○情報システム課長（長野直之君） 電子マネーはその辺の、QUICPay等含めて16種類、それから、コード決済のほうもPayPayとかauPAYとか楽天ペイで10種類ぐらいありますので、全部で30種類ぐらいは対応するかと思います。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

しばらくの間、すいません、公共施設管理課以外の質問でお願いします。

よろしいですか。

清水委員。

○清水義昭委員 今の行政手続の関係の、その手数料ですけども、これ、キャッシュレス決済を入れると決済手数料というのが発生してくると思うんですけども、これ、仕組みとしては、情報システム課から、先ほど何かちょっと説明があったかも分からないんですけど、どういうふうに決済手数料は、どこの課がどういうふうに払っていくようになるのでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

長野課長。

○情報システム課長（長野直之君） 令和7年度はちょっとどれぐらいの利用かどうかがちょっと不明なところもあって、情報システム課のほうで一括して手数料を払おうという形で、手数料のほうに100万ほどありますけれども、そちらのほうで計上しております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 予算書の103ページで、一番下なんですけど備品購入費、これ、大分、200万ほど増えているんですけど、これはどういったものを購入する予定ですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

山田課長。

○総務課長（山田隆貴君） 先ほど、当初に説明しました機器借上料で、電話交換機を今回借換えを行うんですけども、それに附随するものとしまして、電話の通話の録音装置、そういったものの導入を今検討しております。台数につきましては約50台ぐらいというふうに検討しております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

武谷委員。

○武谷としお委員 概要の39ページ中ほど、国際交流事業のところです。

通訳業務委託料が42%減で、その上の外国語通訳報酬、こちらはプラスなんですけど、これってどういう仕組みになっているんでしょうか。お願いします。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

松本課長。

○共生社会課長（松本小牧君） 外国語通訳報酬につきましては、ベトナム語通訳とポルトガル語通訳の会計年度任用職員の報酬になります。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

関連、先行きますね。

武谷委員。

○武谷としお委員 通訳業務委託料が、これ、42%減の理由というのをお願いします。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

松本課長。

○共生社会課長（松本小牧君） 先日の総務委員会のほうでも、こちらの委託料につきましては執行残ということで減額をさせていただきました。入札残でございます。こちらのほうは3年の長期継続契約になりますので、2年目も減額しているというところでございます。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 中野課長。包括の関係ですね。お願いします。

○公共施設管理課長（中野忠之君） 先ほどの御質問です。

当初の債務負担行為の限度額がありまして、そちらのほうは約4億7,243万円の限度額になっておりまして、そちらのほうを、今回契約をした契約金額の残りのほうが約1,100万円ほど残っております。そちらの1,100万円を変更増する分に充てるんですけど、それでもちょっと足りない部分がありますので、それを今回の債務負担行為で上乗せして3年分要求すると、今年度の分につきましては当初予算のほうで見させていただいておりますので、こちらの債務負担行為のほうには計上されてないというような形になっております。

以上になります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 分かりやすい答弁、ありがとうございました。

ほかにありませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 資料ナンバーの4の④で、公共施設の包括管理委託料の内訳を出していただきました。ありがとうございます。これの中の一番上の総括管理業務の費用ですね、これ、1,200万ほどあるんですけども、この業務がちょっと分かりにくいんですけども、これはどういった業務になるんですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

中野課長。

○公共施設管理課長（中野忠之君）　こちらは包括管理における総括的な管理事務ということで、こちらのほう……。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員）　概要でいいですよ。

○公共施設管理課長（中野忠之君）　事業者さんが事務をやったり、あと、施設巡回業務もこちらのほうに含まれるような形になっております。

　　以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員）　ほかにございませんか。

　　三浦委員。

○三浦桂司委員　概要の38ページ、市民活動事業、ちょっと金額少ないんですけども、筆耕翻訳料が63万6,000円、この内容を教えてください。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員）　答弁願います。

　　松本課長。

○共生社会課長（松本小牧君）　こちらにつきましては、今般策定いたします地域共生社会推進指針の策定に伴いまして、住民の実態調査をさせていただきます。その際に、外国籍市民に対しても実施する予定で、その翻訳料になります。

　　以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員）　三浦委員。

○三浦桂司委員　外国人へのアンケートだけの金額を、ここに計上しているということですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員）　松本課長。

○共生社会課長（松本小牧君）　この筆耕翻訳料はそのとおりでございます。

　　以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員）　ほかにございませんか。

　　中堀委員。

○中堀りゅういち委員　ページでいうと79ページ、16款1項2目、あと、ちょっと関連するんで、85ページの20款の2項1目、この2つなんですけど、前年度より収入が非常に増えているんですが、この理由をお願いします。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員）　答弁願います。

　　近藤課長、じゃない、ごめんなさい、近藤会計管理者。

○会計管理者兼出納室長（近藤恒明君）　85ページ、市預金利子と、79ページの各基金利子は、会計管理者が資金運用を担当していますので、私のほうから答弁をさせていただきます。

要因につきましては、令和6年3月に日本銀行のマイナス金利が解除されたことにより、各金融機関からの預金利率が上昇したことによります。予算はこの実績に基づいて計上させていただきました。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 中堀委員。

○中堀りゅういち委員 3倍とか、こっちの利率なんかもっと上がっているんで、利率上昇だけかなと思って聞いているんです。お願いします。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

近藤会計管理者。

○会計管理者兼出納室長（近藤恒明君） 要因につきましては、利率の件につきましては、個別の利率は、各金融機関の個別の利率については申し上げられませんが、一番高い利率を比較いたしますと、前年比で約3倍になっていることが要因となっております。さらにこの点につきましても、その後、日銀の追加利上げの動きがございますので、さらに預金利率の上昇が見込まれると考えております。

それ以外に、さらに工夫した点ということでございますが、基金につきましては、一般会計の特定目的基金につきまして、一元管理に変更いたしまして、預け入れ条件を有利な枠区分に整理をして運用をいたしました。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 中堀委員。マイク近づけて。

○中堀りゅういち委員 有利なその条件というのを、ちょっとお願いします。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

近藤会計管理者。

○会計管理者兼出納室長（近藤恒明君） 有利な条件といいますと、一般的な各金融機関も預け入れ区分というところで、10億円以上というのを一番大きなロットとしておりますので、この10億円以上を1年間預けられる数量・金額を増やすということで、有利な条件と考えております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

中堀委員。

○中堀りゅういち委員 それだけでいいんですよね。ほかに何か工夫したことってないですよ。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

近藤会計管理者。

○会計管理者兼出納室長（近藤恒明君） ほかに、令和4年度より開始しました債権、国債ですとか地方債、そういった債券での運用を拡大し、さらに10か年の投資計画というものを策定し、実施をしたことによるものでございます。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 中堀委員。

○中堀りゅういち委員 債権の運用状況をお願いします。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

近藤会計管理者。

○会計管理者兼出納室長（近藤恒明君） 債権につきましては、令和4年度に1億円を2口、令和5年度に1億円を1口、令和6年に1億円を1口追加をしまして、現在計4億円を債権で運用いたしております。

あと、なお、この説明内容につきましては、国保特会、それから土地取得特会についても同様の運用しておりますので、御理解のほうよろしく願いいたします。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 同じく出納のところにお伺いするんですけど、予算書のページは111ページです。歳出のほうです。

一番下、会計管理事業のところ、先ほど御説明で口座振込手数料を負担することになったため増額というような御説明ありましたが、これの経緯と、どれだけの件数を計上しているのか、をお願いします。

答弁願います。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

近藤会計管理者。

○会計管理者兼出納室長（近藤恒明君） 冒頭の説明で、今回の増額理由が手数料の増ということで、こちらにつきましては、昨年度10月から始まりました各業者等々への振込につきまして、手数料が有料化されたということで、昨年半年分で643万円ほど計上させていただきました。これが通年分になりますので、倍の計上ということでございます。

件数につきましては4万9,000件が9万8,000件、それ以外に増額の要因といたしまして、児童手当が支給の制度変更がございまして、これまで年3回だったものが年6回に増えた関係で、そちらの増えた見込み数が、児童手当の関係で2万1,300件ほどございます。それ

ら合算いたしまして約900万円ほどの増額となっております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 予算書107ページの上から3番目です。尾三消防派遣職員負担金1,000万って、これ何人分なんですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

伊藤課長。

○秘書広報課長（伊藤克代君） この尾三消防派遣職員負担金につきましては、尾三消防から……。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 入ってんの、あれ。

○秘書広報課長（伊藤克代君） 失礼しました。

尾三消防派遣職員負担金につきましては、現在、尾三消防から1名、係長級の職員を市のほうに派遣していただいております。その職員の多分給料分という形になると思います。

（多分じゃないの声あり）

○秘書広報課長（伊藤克代君） すいません、多分じゃないです。その方のお給料分で、尾三消防のほうにうちのほうから、市のほうから負担するものになります。お給料の中には、本人に払う分だけじゃなくって、共済費の負担金とかも入っております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 結構です。

ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 債権管理課、概要の19ページの真ん中ほどにある23番、預貯金照会電子化サービス利用事業というようなことで、こちらのほうが電子化されて預貯金の照会がされるということですけども、これを始めることになったその背景と、今までどれぐらいかかっていて、どれぐらい短縮できる予定なのか、お願いします。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

（どこだの声あり）

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 高垣課長、どうぞ。

○債権管理課長（高垣茂晴君） ありがとうございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 高垣課長。

（見えないんだよ。見えないんですよ。大きな委員が1人いるからの声あり）

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 中堀さんのせいで見えないんです。

○債権管理課長（高垣茂晴君） よろしいですか。お願いします。

過去は文書でもってやり取りしておりまして、金融機関が電子化、預貯金照会も電子化で進めるよということでお知らせをいただいております。預貯金照会に係る人員も削減していきますというような発言もありまして、電子による預貯金照会に移行しているということです。以前だと、早くとも、文書の場合は約2週間ぐらいかかっておったものが、数日で回答が返ってくるという状況で今進めております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今の預貯金照会電子サービスですけども、こういった方というか、こういったことに対してやるのかという要件と、これまでの実績ってどれぐらいあるんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

高垣課長。

○債権管理課長（高垣茂晴君） 滞納者の預貯金調査、差押えに進める前に財産調査ということで、預貯金に照会をかけるということになります。

件数ですが、すいません、後ほどお答えしますので、お待ちください。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 先ほどの尾三消防の派遣職員という方、向こうからこちらに来るということですけど、こちらから向こう行っている職員さんもいると思うんですが、その人の負担金ってあるんですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

伊藤課長。

○秘書広報課長（伊藤克代君） そちらにつきましては、歳入のほうで見ていただきたいと思いますけれども、予算書でいうと89ページになります。89ページ、雑入のところ6番目、企画政策課雑入の1つ上なんですけども、尾三消防組合派遣職員負担金ということで、豊明市から尾三消防に派遣している職員のお給料関係分を頂いております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 委員の方に、皆様にお伺いします。

2款の質疑ですけど、まだたくさんありそうですか。

（発言する者あり）

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） まだまだありますね。承知しました。

じゃ、進めます。

ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 先ほどの公共施設包括管理でもう一点、資料ナンバーの4の④で、総括管理業務で1,200万あるんですけども、先ほど巡回業務を含むというんですけど、ここに書いてありますけど、巡回でどれぐらいかという、割合とか分かるのかということと、事業者の全体的な事務で、ちょっと1,200万というのは結構多いような気がするんですけども、どれぐらいの業務量というのがあるのか、もう少し説明をお願いします。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

中野課長。

○公共施設管理課長（中野忠之君） こちらの包括管理業務に関する費用の内訳書のようなものはちょっとありません。こちらのほうはプロポーザルでの提案の金額になってきますので、ちょっとそちらのほうはございません。で、事務だけではなくて、こちらのほうがその事業者さんの経費というか、そういったものになってきますので、こちらの金額になるということになっております。

あと、巡回業務に関しましては、今、月に2回ほど施設のほうを巡回しているというような形になっております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 107ページの真ん中辺の職員研修事業ですか、これの職員研修委託料なんですけど、これ、対象は職員全員なのか、あとは研修内容を教えてください。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

伊藤課長。

○秘書広報課長（伊藤克代君） 職員研修の委託料につきましては、毎年研修計画というものを立てておりまして、それに基づいて全職員を対象に様々な研修を行っております。それについての委託料になります。

で、研修の内容、どのようなものがあるかということなんですが、階層別に、新規採用職員とか、入って5年目の職員の研修とか、あるいは課長研修とか、そういったものもありますし、派遣研修、いろんな研修所のほうへ派遣したり、外でやる研修に派遣したりするものなど、いろいろな研修のメニューがそろっております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） では、時間も、今12時になるところでございますので、ここで、委員会の質疑の途中ではございますが、1時まで昼食のため休憩といたします。

午前 11 時 59 分休憩

午 後 1 時 再 開

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） では、休憩を解き、休憩前に引き続き委員会質疑を始めます。

では、高垣課長。

○債権管理課長（高垣茂晴君） 先ほど、林委員から御質問のありました預貯金照会サービスの件数でございます。こちらの事業、豊明市では今年度、令和6年の4月から稼働したものでございまして、実績ですけれども、今日現在、3月14日現在で5,996件照会をかけております。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。よろしいですか。

清水委員。

○清水義昭委員 防災防犯です。予算書の125ページ、125ページの一番下のほうになると思います、防犯灯の関係ですけれども、まず確認したいのが、下から4つ目の防犯設備設置工事250万、これは多分中学校からの御要望を受けてということだと思いますけれども、つける基数、それからどの辺りにつけるのかというのが、もし分かっていたらお願いします。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

川島課長。

○防災防犯対策課長（川島康孝君） まず、250万のほうは3中学校区で考えておりまして、中学校区当たり10から10ちょっとぐらいの防犯灯の基数を考えております。10から十二、三。場所につきましては、今、中学生のアンケート調査を行いまして、大体暗いって思われるところの目安はつけておりますので、またそこからちょっと実際の現場を見ながら、どこに設置するとより効果があるのかというのは決めて、設置していきたいと考えております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 清水委員。

○清水義昭委員 同じところですけども、これ、本会議のほうで、市のほうでつけるという

ようなことで、恐らく100%市の負担でつけると思うんですけれども、その後地域に移管というふうなお話がありました。これはつけたタイミング、どのタイミングで移管を考えているのでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

川島課長。

○防災防犯対策課長（川島康孝君） 予算をお認めいただきましたら、来年度の、冬場になると暗くなりますので、それまでに設置して、設置後すぐに地域に移管する形を考えております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 清水委員。

○清水義昭委員 その今の250万円の3つ下のところに防犯設備設置費補助金450万円というのが上がっていますけども、これ、先ほど何か環境課から地域へ移管とかというふうなお話もありましたけど、この450万について詳しく教えてください。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

川島課長。

○防災防犯対策課長（川島康孝君） 昨年度の当初予算ですと、こちらの予算が270万になっております。今年度450万ということで180万アップしております。こちらにつきましては、環境課のほうで10年前に地域の防犯灯、蛍光灯だったと思うんですけど、それをLED化に2,000灯、替えております。それをリースがちょうど終了になったので、また地域のほうに戻して、地域のほうで管理していただくということになっております。そちらのほうは10年たちますので、場合によっては修繕の申請が出てくることがあるということを見込んで、180万円アップという形で予算を組んでおります。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 ということは、環境課から地域に移管する分をここに含まれてて、今までの、地域のほうで設置をしたときに9割補助だったと思うんですけども、それもここに入っているというふうなことでいいですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

川島課長。

○防災防犯対策課長（川島康孝君） こちらのほうは、LEDの修繕は9割補助で上限1万5,000円という形で組んでおりまして、こちらの450万の中に、地域のほうは今の令和6

年度の時点で2,700基ありまして、来年度はさらに2,000基増加するということで、4,700基の中の修繕が出た場合は、90%の上限1万5,000円に対応するという形になります。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 清水委員。

○清水義昭委員 修繕ではなくて、新しくつけるときの補助金もここにいるんですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

川島課長。

○防災防犯対策課長（川島康孝君） こちらのほうにも、新設の場合もこちらのほうに入っております、LEDの場合は9割補助の上限3万円という形で組んでおります。毎年新設のほうは大体30件弱ぐらいで、今年度の実績としてはまだ13件という、少ないんですが、大体それぐらいの数字を見込んで積算しております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 ということは、ちょっと制度設計についてお伺いしたいんですけども、中学校の生徒会のほうから話があって設置する場合は、市のほうが100%の負担でつけるというようなことで理解はしています。で、地域のほうから要望があってつけるというときは、地域のほうで最大9割ですね、多分上限額もあると思うんですけども、で、1割は地域が負担する、そんなような制度設計というふうに考えればいいですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

川島課長。

○防災防犯対策課長（川島康孝君） 委員のおっしゃるとおりですが、中学生の今回意見を聞いてつけるというのは今年度単年度で、中学校区で10から十二、三個ぐらいという形になりますので、これをずっと続けるわけではないので、今年度は特別に中学校、中学生の意見を聞いて、スポット的につけるという形で御理解いただきたいと思います。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 清水委員。

○清水義昭委員 ちょっと制度設計に問題があるんじゃないかなというふうにちょっと思っているんですけど、地域のほうから上がってくると地域は1割負担、で、中学校のほうから意見が上がると10割市だよというようなことだと思うので、そこに矛盾があるとかということは、当局さんとしては考えてないですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

川島課長。

○防災防犯対策課長（川島康孝君）　今回、中学生と市長との話そう会で、中学生が暗いと感じているという部分があったという事実がございます。一方で、地域のほうで4,700灯ほど、御努力いただきましてついていると。で、かなり明るい場所もあるということは事実としてあります。ただ一方で、まだ暗いと感じているところもありますので、その不公平感のバランスも考えながら、地域全体では4,700灯ありますので、あまり中学生の意見でたくさんつけるということは考えずに、バランス的には1%以下ぐらいのレンジで40灯弱ぐらい、それぐらいですと不公平感はないのかなというところと、中学生のまちづくりの一環というんですかね、地域に参画するということと、逆に言うと、地域の御努力によって明るい場所があるよということを気づいてもらうという政策的な意義もありますので、そこら辺のバランスを踏まえての数だということを御理解いただきたいと思います。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員）　三浦委員。

○三浦桂司委員　関連でお願いしますけども。

これ、設置された後は、いずれも地域が電気代を払うということによろしいですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員）　答弁願います。

川島課長。

○防災防犯対策課長（川島康孝君）　地域が払うという形なんですけど、一括交付金の中で補助は入ってきますので、そういう御理解でお願いいたします。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員）　ほか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員　今の関連なんですけれども、今アンケート調査中という御答弁ありました。これは小学生の通学路も含めた、そういう、中学生の御意見なんですけれども、そこまでせっかくつけるのであれば、小学校の通学路まで含めたイメージで持っていればいいですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員）　答弁願います。

川島課長。

○防災防犯対策課長（川島康孝君）　場所につきましては、小学生も活動するところも含められると思うんですけど、基本的には活動時間帯が、やはり中学生は夜間に行動することも多いということで、中学生の行動に合わせた場所に設置したいというふうに考えております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 清水委員。

○清水義昭委員 同じ防犯灯ですけども、本会議のほうでは、中学生と話し合いをして防犯灯を設置するというようなことは、区長連合会のほうで御了解いただいているというような答弁があったと記憶していますけども、そうじゃなくて、環境課から地域のほうへ移管される2,000基ほどというのは、これも区長連合会のほうでの合意はいただいているのでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

川島課長。

○防災防犯対策課長（川島康孝君） 環境課のほうが今年度説明して、御理解いただいております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今回の防犯灯の関係で、一番下の防犯設備、これは区のほうなんですけど、修繕もここの補助に入っているのか。それで、補助は9割というふうだったと思うんですけど、そうした上で、先ほどの中学生からの提案の防犯設備、これも地域に移管されるとなると、その補助も区でやって区が1割負担する、9割補助という、そういう形になるんですかね、修繕は。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 川島課長。

○防災防犯対策課長（川島康孝君） 区の所有物になると、修繕に関しては9割補助の上限1万5,000円で修繕、補助金を出すという形になります。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 当初予算の概要、ページは34ページで、一般管理人件費の部分、それから、もう一つは40ページで、税務人件費の部分のそれぞれ住宅手当が増額しているというのは、これ、何ででしたっけ。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

伊藤課長。

○秘書広報課長（伊藤克代君） 住宅手当につきましては、賃貸ですね、アパートに住んでいらっしゃる職員が、その人名義で借りて住んでいらっしゃる方に対して一定の基準で

支払っているものになりますので、増えたり減ったりは、その課に、基準としては去年の秋の人員配置を基に積算はしているんですけども、人によって変わりますし、同じ人でも引っ越したり、一軒家を持ってそちらに移り住んで手当がなくなったりとか、いろいろありますので、人につくものということで御理解いただきたいと思います。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 郷右近委員。

○郷右近 修委員 特に税務人件費のほうの割合なんかも、今のお話のとおり、言ってみれば偶然みたいなことですかね。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

伊藤課長。

○秘書広報課長（伊藤克代君） おっしゃるとおりです。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

鈴木委員。

○鈴木智和委員 予算書の23ページの最下段ですけども、現年課税分の48億9,285万の土地家屋償却資産のそれぞれの割合が分かるようでしたら教えてください。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

堅田税務課長。

○税務課長（堅田直寛君） それぞれの割合なんですけど、大体ですけども、土地・家屋が約43%ずつ、残りの14%が償却資産というふうな考えです。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今の固定資産税のところですけども、前年と比べてかなり上がっているんですけども、評価替えの影響はあるのかどうかということと、あと、先ほど、いろいろ建物が建つということなんですけども、そうすると、この増加分というのは土地なのか家屋なのか、どこが特に上がっているんですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

堅田課長。

○税務課長（堅田直寛君） まず、令和6年度の評価替えが関係あるのかという話ですと、まず関係はございます。令和6年度がベースになっていきますので、令和7年度も引き続き好調という形で、今回補正も上げさせていただいた次第でございます。

土地・家屋とか、どこが貢献しているかって話なんですけど、これは土地・家屋とも、

それぞれ上がってくるというふうに考えております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

堀内委員。

○堀内ちほ委員 概要の43ページの統計調査事業のところの統計調査員報酬、人数を教えてください。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

山田課長。

○総務課長（山田隆貴君） 調査員の人数、積算の予定でのお答えになりますけれども、360人を見込んでおります。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 107ページの下から7、市長、市の交際費なんですけど、これって何か基準ってあるんでしょうか。で、そういった中身のチェックは、適性は誰がどのようにチェックするんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

伊藤課長。

○秘書広報課長（伊藤克代君） 市長の交際費についてですけれども、もちろん基準はございます。毎月こういった案件で幾ら交際費として支出していますよというのも、ホームページ上で公表をしております。また、年2回は内部での監査も受けてチェックしていただいております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 予算書105ページの下の秘書人事人件費のところ、下から3つ目の雇用保険の掛金がかかなり増えているんですけども、これは会計年度さんとか、掛金の対象の人が拡大したことによるものなのかということと、あと、次のページの107の上から2つ目の職員福利厚生費も上がっているんですけども、これは互助会か何かですかね。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

伊藤課長。

○秘書広報課長（伊藤克代君） まず、105ページの雇用保険掛金負担金につきましては、

雇用保険、加入するのが、主に会計年度さんと、あといるんですけど、人数も、先ほど人数で御説明したとおり、去年と比べて計画の人数、増えていますのと、あと、やはり会計年度さんも給料がアップしておりますので、その件で負担金のほうは上がっております。

それから、次のページの職員福利厚生費につきましては、おっしゃるとおり、会計年度さん等について、職員の互助会に加入をすることを見込んで、厚生費のほうも金額を昨年より増額させていただいております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 先ほど、すいません、予算書の127ページですけど、先ほど御説明あったと思うんですけど、ちょっと聞き取れなかったので再度お願いします。地番家屋現況図修正事業の委託料のところ、お願いします。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

堅田課長。

○税務課長（堅田直寛君） ごめんなさい。

（何を聞きたいかの声あり）

○浅井たかお委員 この内訳、教えてください。

○税務課長（堅田直寛君） 内訳、こちらにつきましては、令和7年度につきまして、航空写真、3年に1回の航空写真を撮影する業務がございます。昨年度に比べて約670万ほど上がっております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 浅井委員。

○浅井たかお委員 その670万円が航空写真の分というふうで考えていいですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

堅田課長。

○税務課長（堅田直寛君） 昨年度と比較して、新しく増えた業務がこの航空写真という形になりますので、そういった御理解でお願いします。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 今の航空写真のお話ですが、この費用で使って、ヘリコプターじゃなくてドローンを使うのでしたっけか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

堅田課長。

○税務課長（堅田直寛君） こちらはあくまで航空写真で、ドローンではございません。
以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

こңどう委員。

○こңどうのぶお委員 111ページ、上から2つ目なんですけど、市政記録映画制作委託料ですか、これはどの目的でやっているんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

伊藤課長。

○秘書広報課長（伊藤克代君） 市政記録映画制作委託料ということで、周年の、市制何周年というようなときにつくる素材を撮っておくということで、毎年委託料として計上させていただいておるものになります。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

こңどう委員。

○こңどうのぶお委員 素材と言われましたけど、具体的にどういったことなんですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

伊藤課長。

○秘書広報課長（伊藤克代君） いろんな、例えば市のイベントですね、去年でいうとマラソンとか、そういったイベント事だったり、あるいは新しい建物ができたとか、そういったときの行事とかを撮影させていただいております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 予算書143ページの一番上の交通安全施設整備工事費なんですけども、これの中身は何かということと、あと、資料ナンバーの5の③でも、これ、8款なんですけど、交通安全施設整備工事費って同じ名称であるんですけど、これの違いってなんですかね。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

川島課長。

○防災防犯対策課長（川島康孝君） ちょっと8款のほうは、また8款のほうでというこ

となんですけど、143ページの一番上の交通安全施設整備工事費というのは、交通安全灯というのが市内に56基ありまして、こちらのほうのLED化を進める費用となっております。
以上です。

で、実際LED化されているのが既に34基ありまして、60%ほどLED化はされているんですけど、残り40%がまだされてないので、こちらのほうで順次進めていきたいというふうに考えております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 111ページの真ん中から下のところ、財政管理事務事業ですか、この公会計制度の支援、公会計制度支援って書いてあるんですけど、こういった支援というか、内容ってどういうことになるんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） これは全国の市町村が公開している貸借対照表などの資料の作成委託でございます。

終わります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 予算書の127ページの防犯対策費の説明欄の犯罪被害者等一時避難施設利用料とあるんですけど、ここは、もし教えていただけるならどこか、教えてください。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

川島課長。

○防災防犯対策課長（川島康孝君） こちらのほうは場所は決まっておりませんで、犯罪が起きたときに、犯罪捜査の関係で被害者の御自宅を捜査するような場合がございまして、警察のほうで、例えばホテルとか、アパートとか、そういったところを一時退避場所として確保します。その後、捜査が終わると、我々のほうで必要に応じてそこを借り上げて、この費用を用いて、引き続きそこで避難していただくというようなものになりますので、場所はちょっと決まっておりません。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 予算書129ページの税務総務費のところですけども、下から4つ目、地方税共同機構負担金というのと、あと、131ページの一番下の、徴収費の一番下にも同じ、下から2番目か、地方税共同機構負担金ってあるんですけども、それぞれ少し増えているんですけども、その理由と、今までの実績、あと、これ、なぜ、同じものの負担金ですけど分かれているのか、お願いします。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

堅田課長。

○税務課長（堅田直寛君） まず、私どもの地方税共同基金のほうから御説明させていただきます。

まず、こちらは地方税共同機構というところに支払う負担金で、これ、全国全ての自治体が加入しております。増加している理由なんですけども、令和7年度が電子申告等の関係費負担金というのが増えておりまして、その分が負担金として増額という形になっております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 堅田課長、じゃない、失礼しました、高垣課長。

○債権管理課長（高垣茂晴君） 債権管理課分でいいますと、こちらはQRコード、納付書に印刷されたQRコードを使って納税ができるというシステムで、こちらの地方税共同機構というのを使っておりまして、そちらに対する負担金となっております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 予算書の127ページ、同じく、と、あと防犯対策費の一番上の説明欄のところ、特殊詐欺対策電話機等購入費補助金とあるんですけど、15万円、これは件数としては何件を予定しているのか、どんなところにこれを補助する予定でしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

川島課長。

○防災防犯対策課長（川島康孝君） こちらのほうは高齢者の特殊詐欺防止のために、高齢者の自宅に新しく電話をつけたときに、補助金上限5,000円として補助するものでして、令和7年度は30件で予算計上しております。5,000円掛ける30件という形です。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 129ページの定額減税の補足給付金について、もうちょっと説明してほしいんですけど、対象者がどのくらいで、どのぐらいの世帯に幾ら支給するのか、条件等も含めてお願いします。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

堅田課長。

○税務課長（堅田直寛君） 今回の補足給付金につきましては、対象は6,000人ほどで見込んでおります。対象者といいますか、条件としましては、今年に行われました調整給付金、こちらのほうにつきましては、令和5年中の所得を基に推測して出したと。対象者に出したと。実際、この令和6年中は、ちょうど今確定申告の時期ですけれども、令和6年の所得がこれで確定してまいります。実際に推測でお支払いした人と、不足があった場合、例えば子どもが新しく生まれたりとか、そういったいろんな事情、あと所得が想定より、令和5年より少なかったりとかして給付金の額に差があったりとか、そういった方に対して不足分を給付すると、そういった制度になっております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 113ページの庁舎維持管理事業で、一番下で庁舎等営繕工事費って、どういったことを予定しているのでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

山田課長。

○総務課長（山田隆貴君） 基本的にこちらの予算は、庁舎で修繕が発生した場合の緊急工事費があります。あと、それ以外に来年度予定している工事としましては、本館の地下室、空調機械とかが入っているところがあるんですけども、そこのシャッターが劣化しておりますので、シャッターの機器の一部の更新を予定しております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 その部分の上5つぐらいですかね、樹木剪定・草刈委託料で、これは業者とか、随契なんですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

山田課長。

○総務課長（山田隆貴君） こちらにつきましては、こちらは庁舎維持管理事業になります。

すので、市の庁舎と分庁舎の部分の樹木の管理、あと草刈り等になっております。低木と高木に分けて、2者で発注しております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 予算書の117ページの第6次豊明市総合計画策定支援業務委託料ということで、令和7年度の中身、どういったことをされるかということと、あと、第5次総計がこれで終わるわけですがけれども、その総括というのか、そういうのと、この策定と関連というのか、どういったふうで第6次、令和7年度策定業務委託料になってきますか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

萩野課長。

○企画政策課長（萩野昭久君） 令和7年度ですけど、7月頃に素案が完成しまして、その後8月ぐらいにパブリックコメントをやって、10月頃にパブリックコメント等を受けて、修正がありましたら修正を行いまして完成する予定になっております。

あと、今の総合計画のことなんですけども、今まで毎年行ってきましたまちづくり指標の市民へのアンケートなどを基に各部長が評価検証しまして、総合計画審議会のほうで報告をしております。全体的には現状値より前進、または維持できたものが多く見られましたので、第5次の計画としては前進できたかなという評価を受けております。そういったことを踏まえて、第5次の総計でも市民と市が共通の目標としてやっていくというような計画にしていこうという形で現在進めております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 121ページの真ん中辺り、市民活動推進事業の市民意識調査等業務委託料についてですけども、この市民意識の調査というのは調査方法、やり方と対象者、あと、どういったことを聞くのかということと、あとアンケート等を取る場合は、上の通信運搬費が増えているので、市で発送するということで、これ、通信運搬費増えているのかということ、4点お願いします。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

松本課長。

○共生社会課長（松本小牧君） このアンケート調査でございますが、日本人3,000部、外

国人400部の合計3,400部配布しようというふうに考えております。内容につきましては、日本人に関しては孤立とか孤独に関する意識調査、そして、地域のつながりに関することや地域活動への参加意向だとか期待といったところを調査する予定です。外国人につきましては、就労状況ですとかお住まいの状況、それから情報取得手段であったり、今後の居住意向、そういったところを調査する予定でございます。

通信運搬費につきましてはおっしゃるとおりでございます、委託料のほうに含まれているのはアンケートの、いわゆるパンチ入力と集計にかかる費用でございます、発送につきましては、こちらの通信費のほうで市のほうが発送するということでございます。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 対象者というのは、年齢だったりとか、そういうのは結構ばらばらで無作為抽出なのか、何歳から何歳というのがあるのかどうか、お願いします。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

松本課長。

○共生社会課長（松本小牧君） 詳細はこれから決めていく予定ですが、おおむね20歳以上を予定しております。また、3,000票ですので、各年齢区分に均等に配分をしながら、有効な調査となるようにしたいと思っております。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 115ページ、これ、財産管理事務事業、ここの真ん中辺の樹木剪定・草刈りは、場所ってどこになるんですかね。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

山田課長。

○総務課長（山田隆貴君） こちらの財産管理事務事業につきましては、先ほどは庁舎管理でしたので庁舎ですけれども、今度は市で持っている普通財産の土地になります。代表的なところだと、どんぐり学園の跡地のところは今更地になっておりますので、そこが比較的面積が大きいかなと思います。あと、市に11か所ほどありますので、11か所の草刈り、今のどんぐり学園を入れて11か所の管理地を、普通財産の管理地を草刈りをしております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 115ページの真ん中の公共施設管理の包括管理委託の上の調査点検業務のところですけども、これはどの施設を調査点検するのかということと、これは包括管理では入れれないものなんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

中野課長。

○公共施設管理課長（中野忠之君） こちらの調査点検につきましては、建築基準法の12条の定期報告のための調査になります。今回、来年度は庁舎と総合福祉会館、勤労会館、農村改善センター、図書館、こちらのほうを一級建築士などに調査していただくというものになります。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 予算書の111ページの広報費のところ、説明欄の上から3つ目、広報等記録、ごめんなさい、間違えました、広報板設置等工事費のところなんですけど、これは何か所で、何か所をどこに設置する予定でしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

伊藤課長。

○秘書広報課長（伊藤克代君） 広報板は来年度は3つの町内会から、今年度御要望が出ておりまして、来年度3か所に広報板を設置する予定であります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 今の3つの町内会は、具体的には言えるんですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

伊藤課長。

○秘書広報課長（伊藤克代君） ひかり台町内会と二村台2区東町内会と二村台2区西町内会でございます。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 予算書113ページ、庁舎維持管理の光熱水費なんですけども、これは、ここだけじゃなくてほかもなんですけど、比較的光熱水費が下がっているんですけど、

その理由。反対に、区の一括交付金だと先ほど光熱水費が上がっているということで、そっちのほうはその分上げているという話があったんですけども、何でそうやって違うんでしょうかね。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

山田課長。

○総務課長（山田隆貴君） 庁舎の場合、電気とガスが含まれておりますので、ちょっと一概に、ちょっとそこと比較ができるかどうかは分からないんですけども、一応令和6年度と令和5年度で比較しまして、大体同じ時期で見えておりますと、使用量自体は令和6年度のほう下がってきております。料金のほうも電気料金については下がっておるんですけども、ガスの上げ幅がちょっと大きいものですから、ガスの使用量に応じてちょっと引っ張られて、料金のほうが今大体昨年度と同じぐらいの使用料になっておるという状態になっております。ちなみに電気料自体は、来年度はもう少し、尾三の包括協定を結びますので、安くなる見込みも立っております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 115ページ、一番上の財産管理かな、その下から5の土地等借上料、どこの土地なのでしょう。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 山田課長。

○総務課長（山田隆貴君） こちらの土地借上料につきましては、市役所の神社の横にあります第2駐車場の借上料になっております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 117ページの一番下の公共建築物状況分析調査ということで、資料、ありがとうございます、ナンバー2の②で内容を書いていただきました。この公共施設の総合管理計画というのは、これは何年かで1回改定するようになっているのかということと、この中身を見ますと、こういった更新の将来コストの試算とか総量の縮減目標等のシミュレーションということなので、これは先日、先日というか今年度か、見直しました長寿命化計画だったりとか、適正配置計画とか、その辺りにも影響が及ぼされるのか、またその辺も改定するという考えなのかどうか、お願いします。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

萩野課長。

○企画政策課長（萩野昭久君） この計画なんですけども、2014年から53年までの40年間の計画になりまして、約10年経過しておりますので今回改定するものになります。状態監視保全とかも関係するといえは関係するのかなと思うんですけど、今回の計画は、今のこの総合管理計画のほうが約10年前につくった計画になりますので、建物の数だったり状況も変わってきておりますので、改めてシミュレーションなどをし直して、そのほかの計画に今後つなげていくというものになります。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 115ページの一番下の企画事務事業、その上から2つ目で豊明市行政改革推進委員会の委員報酬ですが、これ、半減していると思うんですけど、その理由はどうなんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

萩野課長。

○企画政策課長（萩野昭久君） 金額が、予算が下がっているのは、民間事業推進アドバイザーと民間事業審査委員会の回数を減らしておりますので、その分が減っております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 119ページの上の循環バスの運行負担金と乗合交通負担金についてなんですけども、循環バスのほうは1,000万ほど増えてます、昨年度と比較して。で、乗合交通のほうは300万ちょっと増えているんですけども、この内容、内訳、どうして増えているのか、お願いします。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

萩野課長。

○企画政策課長（萩野昭久君） どちらも今年度、債務負担をお認めいただきまして、7年度から新しい契約に変わるものになります。どちらも運転手の人件費であったり、燃料費のほうが上がっておりますので、その分で金額のほうが増えている形になっております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今の話ですけど、燃料費と運転手ということなんですけど、乗合交通のほうは地域が広がったということではなかったんでしたっけ。それは関係ないですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

萩野課長。

○企画政策課長（萩野昭久君） 地域は広がるんですけど、運行時間などは変わりませんので、その辺りは関係ありません。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

こңどう委員。

○こңどうのぶお委員 117ページの一番下で地域創生事務事業ですか、公共建物の現状分析調査というのは、これ、どこの公共物になるんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

萩野課長。

○企画政策課長（萩野昭久君） 市が持っている公共建築物全部になります。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 予算書の107ページの秘書人事管理事務事業の説明欄の一番上の表彰審査委員会委員報酬のところですけど、これはどういったことの表彰の審査をするんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

伊藤課長。

○秘書広報課長（伊藤克代君） 毎年11月の社会福祉大会の場で、市の功勞者に対して一般表彰をしております。その表彰者を審査する会でございます。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

こңどう委員。

○こңどうのぶお委員 119ページ、市民相談事業の4つ目ですか、上から、e モニターの謝礼というのがありまして、これはどのような人、どういった選考をして、謝礼はどういったものなんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

伊藤課長。

○秘書広報課長（伊藤克代君） e モニターといいまして、毎年 e モニター、協力していただける方を募集をして、登録していただいて、年に五、六回、7 回ぐらい、何か市のほうから市民の意見を聞きたいときに、この e モニターというのも使って意見の聴取をしたりしております。謝礼につきましては、一定の回数以上お答えいただいた方に対して、図書券のほうを今謝礼として送らせていただいております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかに。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 今の、市民意見を取り入れて、こういった形で反映というか、されるんですかね。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

伊藤課長。

○秘書広報課長（伊藤克代君） 反映のところについては各課の事業になりますので、うちの秘書広報課の内容だけで質問をつくるのではなくて、市の全体の、いろんな各課からアンケートを聞きたい、あるいはこういう事業をやったんだけど、それについてどう思いますかみたいな、そういったアンケートのときもございますけれども、そういったふうですので、市政への反映につきましては各課でという形になります。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 121 ページの共生交流プラザのところですけど、備品購入費 50 万あるんですけども、これは何を購入するのかということと、これは市がなぜ負担なのか、指定管理者じゃないのかという理由をお願いします。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

松本課長。

○共生社会課長（松本小牧君） こちらの備品購入費は毎年この額をつけさせていただいておりますので、カラットの備品の多くは学校施設で長年使用してきたものを再利用しておりますので、備品の予期せぬ故障によって対応が必要となった場合に執行する予算でございます。

市で購入する備品と指定管理者において購入する備品の線引きという話でございますが、指定管理者が代わったとしても、施設に標準的に備えているべき備品については市のほうが購入し、指定管理者としてプラスアルファとして、付加価値を創造するという意味

については指定管理者のほうの購入というふうな線引きをさせていただいております。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 今、同じページのその1個下の市民貸出し用備品購入費、これは何を買われる予定ですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

松本課長。

○共生社会課長（松本小牧君） こちらは市民団体等に貸し出しているものでございますが、机ですね、折り畳み机を購入する予定でございます。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） これにて、2款の質疑を終わります。

では、ここで、理事者側の説明の入替えのために、暫時休憩といたします。

午後1時41分休憩

午後1時47分再開

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 休憩を解き、休憩前に引き続き会議を進めます。

続いて、3款 民生費について順次説明を願います。

小野寺地域福祉課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） それでは、令和7年度豊明市一般会計予算について、地域福祉課所管分を御説明させていただきます。

初めに、歳出の主な事業について御説明いたしますので、予算書は144ページ、145ページをお開きください。

3款1項1目 社会福祉総務費のうち、右ページ記載の2、福祉推進事業は1億4,093万7,000円を計上し、対前年度比較で1,656万円2,000円の増額となっています。

この主な要因は、この段の下から3番目、全世代・基幹型地域包括支援センター運営事業費負担金の増額によるものであります。内容は、これまで生活困窮者自立支援事業の相談業務を担ってきた自立生活相談センターよりそいを委託事業から市の直接事業として切り替え、相談業務と機能を一元化して、今まで以上に分野ごとの支援では難しかったケースにも切れ目のない一体的な支援が提供できる体制を整備するためのもので、法人から派

遣いただくための人件費相当分を負担するものであります。

予算書152ページ、153ページをお開きください。

3目 心身障害者福祉費のうち、右ページの最下段、1、心身障害児者福祉推進事業は6,038万5,000円を計上し、対前年度比較で915万3,000円の増額となっています。

次のページをお開きください。

この主な要因は、一番下から3番目の電算関係委託料に就労選択支援の創設など、令和7年度に行われる制度改正に対応するためのシステム改修委託料を加えて予算を計上したことによるものであります。

予算書154ページ、155ページをお開きください。

同じく3目 心身障害者福祉費のうち、右ページの2段目、2、心身障害児者扶助事業は22億3,306万9,000円を計上し、対前年度比較で1億6,472万3,000円の増額となっています。

この主な要因は、説明欄の中ほど、上から9番目の訓練等給付費、次のページの上段、一番下の心身障がい児通所・居宅サービス事業費の増額によるものであります。

続きまして、歳入の主なものについて御説明いたします。

予算書44ページ、45ページをお開きください。

14款1項1目 民生費国庫負担金のうち、右ページの下段、1、心身障害者福祉費負担金は、上から3番目の障害者自立支援給付費等国庫負担金、次の障害児入所給付費等国庫負担金は、歳出で御説明いたしました訓練等給付費など、また、心身障がい児通所・居宅サービス事業費に要する経費の国庫負担金となります。歳出予算の増額計上によって歳入額も増加となっています。

48ページ、49ページをお開きください。

14款2項2目 民生費国庫補助金のうち、右ページの最下段、1、社会福祉費補助金は、歳出で御説明いたしました全世代型基幹型地域包括支援センターに要する経費など、重層的支援に係る国からの補助金として重層的支援体制整備事業交付金を歳入するものであります。

58ページ、59ページをお開きください。

15款1項1目 民生費県負担金のうち、右ページの2段目、2、心身障害者福祉費負担金は、上から2番目の障害者自立支援給付費等負担金、次の障害児入所給付費等県費負担金共に、先ほども御説明いたしました訓練等給付費など、また、心身障がい児通所・居宅サービス事業費に要する経費の県負担金となります。

62ページ、63ページをお開きください。

15款2項2目 民生費県補助金のうち、右ページの4段目、1、社会福祉費補助金は、先ほども御説明をいたしました全世代型基幹型地域包括支援センターに要する経費など、重層的支援に係る県からの補助金として重層的支援体制整備事業交付金を歳入するものがあります。

以上で説明を終わります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 続いて、近藤保険医療課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） それでは、保険医療課所管分の歳出から、主なものについて御説明いたします。

予算書の146、147ページを御覧ください。

右ページ下段、社会福祉総務費の国民健康保険特別会計繰出事業でございます。

説明欄を御覧ください。

保険基盤安定繰出金の保険税軽減分は前年度より減額、保険者支援分は前年度より増額としております。

職員給与費等繰出金は、国保特別会計での総務費の増額計上により前年度より増額、その他国民健康保険特別会計繰出金について、2億1,309万7,000円の増額となっておりますのは、前年度はその前年度の3月補正で財源確保をいたしまして、国保財政調整基金を通して国保特別会計に繰り入れる形としたことによるものでございます。そのため、繰出金全体では、前年度より2億2,738万8,000円の増額となっております。

続きまして、156、157ページをお願いいたします。

下段、4目 福祉医療費で前年度より1,724万6,000円の増額でございます。これは今年度の執行見込みを踏まえた増額でございます。

1ページおめくりください。

中段、5目 後期高齢者医療費は、前年度より7,506万1,000円の増額でございます。増額の主な要因につきましては、後期高齢者医療事業の説明欄の1行目、後期高齢者医療療養給付費負担金で、被保険者数の増や1人当たり医療費の増による医療費の増額を見込んでおります。

同じく、後期高齢者医療事業の説明欄の一番下、後期高齢者医療保険基盤安定繰出金の増額も、被保険者数の増などに伴うものでございます。

続いて、歳入を説明いたしますので、44、45ページを御覧ください。

1目 民生費国庫負担金、心身障害者福祉費負担金の説明欄、上から2つ目、障害者医療費国庫負担金は自立支援医療費等の国負担分でございます。

1ページおめくりいただきまして、47ページ中ほど、5節 国民健康保険基盤安定負担

金及び6節、7節につきましては、国保特別会計へ繰り出す子育て世帯や低所得者の影響分などに対する国の負担分でございます。

続きまして、58、59ページを御覧ください。

民生費県負担金、心身障害者福祉費負担金の説明欄、障害者医療費負担金は、自立支援医療費等の県負担分となります。

最下段、6節 国民健康保険基盤安定負担金、1ページおめくりいただきまして、7節、8節につきましても、先ほど御説明いたしました県の負担分でございます。

その下、9節 後期高齢者医療保険基盤安定負担金は、後期高齢者医療特別会計へ繰り出す低所得者軽減分の県負担分でございます。

続きまして、64、65ページを御覧ください。

下段、民生費県補助金、福祉医療費補助金は、障害者医療費など、福祉医療助成金の2分の1相当額が県から助成されるものでございます。

続きまして、92、93ページを御覧ください。

諸収入の説明欄、真ん中辺りでございます。後期高齢者医療広域連合受託事業収入につきましては、後期高齢者健診委託などに関する受託事業収入でございます。

以上で保険医療課所管分の説明を終わります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 続いて、塚本長寿課長。

○長寿課長（塚本由佳君） それでは、長寿課所管分について御説明いたします。

歳出より御説明いたしますので、予算書の146、147ページをお願いいたします。

3款1項2目 老人福祉費の歳出総額は12億5,104万8,000円で、前年度より1億6,821万7,000円の増額となっております。

それでは、主なものについて御説明させていただきます。

事業1、老人福祉事業は、前年より1億2,449万8,000円の増額です。主な要因は、ページをおめくりいただきまして、49ページ、説明欄の上段の一番下の行でございますが、介護施設等整備事業費補助金1億2,491万2,000円でございます。こちらは9月議会にて債務負担行為をお認めいただきました地域密着型サービス事業所の整備に伴う補助金でございます。

次に、2段下、3、老人扶助事業は前年より1,294万円の増額です。主な要因は説明欄の下の辺りですが、高齢者タクシー料金助成事業費を1,200万円増額したことによるものです。こちらは、80歳以上の高齢者タクシー券の利用の増加と、65歳以上で要介護・要支援の認定のある非課税世帯の方へ的高齢者外出支援事業を統合したことによるものでございます。

次に、151ページをお願いいたします。

下から2段目、6、地域包括支援体制事業は前年より653万9,000円の増額です。主な要因は、4項目め、地域包括支援センター業務委託料を608万3,000円増額したことによるものです。こちらは地域包括支援センターの体制強化を行うことによるものでございます。

次に、153ページをお願いいたします。

中段、8、介護保険特別会計繰出事業は前年より2,307万3,000円の増額です。主な要因は、介護給付費や職員給与、事務費の増額によるものでございます。

続きまして、歳入の主なものについて御説明いたしますので、予算書の46、47ページをお願いいたします。

最下段、14款1項1目8節 老人福祉費負担金は、介護保険料の所得段階が1から3までに当たる方の介護保険料の軽減分として国庫で負担をしていただくものでございます。

関連しまして、61ページ中段、15款1項1目10節 老人福祉費負担金は、その県負担分に当たります。

次に、62、63ページをお願いいたします。

下段、15款2項2目2節 老人福祉費補助金の説明欄3行目、介護施設等整備事業費補助金は、歳出でも御説明いたしました地域密着型サービス事業所の整備に伴う介護施設等整備事業費補助金の県費補助金で、補助率は10分の10です。

次に、82、83ページをお願いいたします。

下段、18款2項1目 介護保険特別会計繰入金は、重層的支援体制整備に当たり、介護保険特別会計から一般会計に移行した事業の財源として、65歳以上の保険料及び40歳以上65歳未満の保険料である支払基金交付金について、それぞれの事業相当分を介護保険特別会計から繰り入れるものでございます。

以上で説明を終わります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 続いて、松村子育て支援課長。

○子育て支援課長（松村清子君） それでは、子育て支援課所管分につきまして、歳出より御説明いたします。

予算書の160ページ、161ページを御覧ください。

3款2項1目 児童福祉総務費、中段の2、児童館等管理運営事業は前年度比1,793万7,000円の増額となっております。

主な要因について御説明いたします。説明欄を御覧ください。

上から4つ目、指定管理料1億4,359万9,000円は前年度比2,602万9,000円の増額となっております。これは7つの児童館の指定管理者の更新があり、新たにひまわり児童館での

子育て支援センターの開設及び一時預かり事業の実施、北部児童館での中高生タイムの開始が主な要因でございます。

続きまして、同じページの3、児童福祉事務事業は前年度比2億3,693万7,000円の増額となっております。

主な要因について御説明いたします。1ページおめくりいただき、163ページの説明欄を御覧ください。

下から5つ目、児童手当費は、対象者の拡充などにより、前年度比2億4,094万円の増額となっております。

続きまして、歳入の主なものについて御説明いたします。

44ページ45ページを御覧ください。

下段の14款1項1目2 児童福祉費負担金、説明欄、一番下の児童手当負担金は前年度と比べて増額となっておりますが、これは先ほど歳出で御説明しました増額によるものと、子ども・子育て支援納付金制度の創設により国から充当される割合が増えることによるものでございます。

58ページ、59ページを御覧ください。

15款1項1目 民生費県負担金、中ほどの3、児童福祉費負担金、説明欄、児童手当県負担金は、県の負担割合が減ったことにより、前年度と比べて減額となっております。

以上で説明終わります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 続いて、小川こども保育課長。

○こども保育課長（小川正寿君） 続きまして、こども保育課所管分について御説明いたします。

初めに、歳出から説明いたしますので、予算書164、165ページをお願いします。

3款2項2目 保育園費です。34億6,044万8,000円、4億3,454万9,000円の増額となっております。

主なものについて御説明いたします。165ページ説明欄を御覧ください。

中段、保育事業、2行目、長時間保育等業務4億3,510万円は、保育士などパートタイム会計年度任用職員の報酬で、単価等の引上げに伴い増額となっております。

下から2行目、給食業務委託料8,094万3,000円は、公立5園における給食調理業務委託の契約更新に伴い、増額となったものでございます。

ページをおめくりいただき、167ページ説明欄、下から8行目、認可保育所等整備補助金2億3,429万9,000円は、私立幼稚園の認定こども園移行に伴う園舎整備に係る補助金となります。

2行下、施設型・地域型保育給付費14億2,046万円は民間保育所等の給付費でございますが、認定こども園移行に伴う定員増加、及び公定価格の改定により大きく増額となっております。

続きまして、歳入の主なものについて御説明いたします。

46、47ページを御覧ください。

上段、14款1項1目3 保育園費負担金、説明欄、子どものための教育・保育給付費国庫負担金6億2,343万5,000円は、歳出で説明しました施設型・地域型保育給付費の国負担分でございます。

56、57ページをお願いします。

中段、14款4項2目2 保育園費交付金、説明欄、就学前教育・保育施設整備交付金1億9,565万1,000円は、歳出で説明しました認定こども園移行に伴う施設整備に対する国の補助金でございます。

以上でこども保育課所管分について、説明を終わります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 説明は終わりました。

3款 民生費の質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

三浦委員。

○三浦桂司委員 予算書の145ページ、概要の45ページなんですけれども、ちょっと、この、目玉事業というか、一般質問でもあったんですけども、福祉推進事業の全世代基幹型地域包括支援センター、これ5,408万円、かなり増えて、これ、よりそいなどを統合して一元化すると聞いた、ざっくり聞いたんですけども、事業の内容とか事業金額の内訳をちょっとゆっくり説明していただきたいと思いますけれども。お願いいたします。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 簡潔に答弁願います。

小野寺地域福祉課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） 予算の内容といたしましては、このページに記載のとおりでございます。

なぜよりそいを重層支援センターに併設をさせるかというところでございますけれども、よりそいの相談だけでは解決することが難しく、やはり多くの機関が関わって支援をしなければ解決できないというケースが増えてございます。相談件数、重層の相談件数を見ても、やはり生活困窮を起因とする相談が半数を超えている。だからこそ、重層支援センターに併設をする中で様々な角度から支援に当たりたいと、こういったことから相談機能を一元化させていただこうというものでございます。

5,548万円の経費の内訳でございますけども、主には法人から派遣をいただく人件費の部分でございます。よりそい事業に係る分として、3名分の人件費を予定しております。このほか委託事業で就労相談といったものをやっておりましたけども、こちらの部分についても重層センターの相談機能として位置づけて対応させていただこうということで、増えている大きな要因としては4名分の人件費ということでございます。

説明は以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

三浦委員。

○三浦桂司委員 これ、重層的支援の位置づけ、社会福祉法、どうして福祉分野にしているのかという、いろいろあるんで、ちょっとそこんどだけお願いいたします。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） 確かに委員おっしゃるとおり、重層的支援体制整備事業というのは社会福祉法に規定された事業であるということは間違いのない事実でございます。しかしながら、制度に当てはまらない課題を抱える世帯に対して、社会資源を含めた多様な資源で支えていくという、参加支援であったりとか地域づくりといったことも重視された事業でございます。したがって、解決には全庁横断的で取り組んでいくべき事業ということで、共生社会課のほうで対応しているというところではございます。

ただ、実態としては福祉事務所という位置づけの中でやっておりますので、ここについては、共生社会課だから、地域福祉課だからということではなく、一体として取り組み、事業をしているということで御理解をいただきたいと思います。

以上であります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 まず、お聞きしたいのは、これ、重層支援センターは直営で運営しているイメージだったんですけど、これを見ますと事業費の負担金ということで、どこか団体に出しているんでしたっけ。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） これは法人から職員を派遣をいただいております。これは法人と市と協定を結ぶ中で、職員の派遣をいただいて、市の直接事業として取り組んでいる事業でございます。

以上であります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 そうすると、その各法人に出す金額として、この負担金ということで計上されている、そういう理解でいいですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） そのとおりでございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 それでは、どのような企業があるのかって教えていただけますか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） 現在派遣をいただいている法人といいますのは、社会福祉法人であったり、医療法人であったりといったことでございます。また、よりその事業についても、委託事業については社会福祉協議会にお願いをしている事業でありますことから、できれば社会福祉協議会のほうから派遣をいただきたいというふうに現時点では考えているところであります。

以上であります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 その社会福祉法人とか医療法人は、どこの団体かというのはいえな

いんですかね。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） これは昨年度の予算委員会でも御議論があったかというふうに思いますけども、市内の社会福祉法人に加えて藤田医科大学、そういったところから派遣をいただいております。

以上であります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにありませんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 145ページ、福祉推進事業の一番上で民生委員推せん会委員ってあるんですけど、これ、どういった委員になるんでしょうか。どういうことをするんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） 推せん会の委員につきましては6名の委員があります。民生委員が代わる、お辞めになられた、そういった場合については地域からの御推薦をいただいて、この推せん会の中で御審査をいただいて国のほうに進達をするというようなことでございます。

以上であります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 その2個下の民生委員と民生委員活動で、民生委員は何人ですか。あと、予定に対して足りているというか、その辺はどうなんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） これは、今回の一般質問でもお答えをさせていただいているとおり、定数99名に対して充足状況については99名という状況になっております。

以上であります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにありませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 予算書の151ページの地域包括支援体制事業、資料ありがとうございます。資料ナンバー1の②です。

この上の表の地域包括支援センター体制強化という、先ほども御説明、本会議でもあるんですけども、体制を強化するよというふうで、その下の表の3つの包括支援センターで令和6年度の人数とか体制があるわけですが、令和7年度、体制強化ということで、この3つの包括支援センターに人員強化されるというふうでいいですか。それはどこのことかというのが分かればお願いします。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

塚本課長。

○長寿課長（塚本由佳君） こちらにつきまして、令和7年度では南部の包括のほうを予定しております。1人増員する予定でございます。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今、南部ということなんですけども、ここに、今、資料は6人とい

うふうにあって、これにプラス1というふうに考えていいのか。それと、どういった方が、この保健師さんとか社会福祉士さんとか、どういった方が来るかというのは分かっていますか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

塚本課長。

○長寿課長（塚本由佳君） こちらは6人にプラス1ということでございます。職種についてはまだ決まっておりません。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

中堀委員。

○中堀りゅういち委員 予算書の151ページ、3款1項、これ何目だ、まあいいや、下のほうの包括支援体制事業なんですけど、真ん中辺りの地域包括支援センター業務委託料というのがあって、ここの体制の強化がなされるということで、その内容の中でこの人数を増やされるのかと、あと8,000万なので、そのほかにどういった体制強化の取組が行われるのか、お願いします。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

塚本課長。

○長寿課長（塚本由佳君） こちらの、今、委員がおっしゃられました地域包括支援センター業務委託料の中に、先ほどの体制強化ということで、南部のほうに支援をしていくということでございます。こちらのほうはほとんど人件費ということですので、やっていること自体を、相談件数等も多くなっていますので、支援をしていくということでございます。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 資料ナンバー1の②のところですけども、先ほど南部のところにプラス1ということなんですけど、この上の表を見ますと、地域包括支援センターの体制強化の部分で270万ほど増えております。南部地域包括のほうも230万ぐらい増えているんですけども、これは合わせて1人という形なのか、どういう形で、これ、それぞれで上がっているんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

塚本課長。

○長寿課長（塚本由佳君） 資料請求していただいた資料の上のほうの表の地域包括支援センター業務委託料の上から3つ、北部と中部、南部は、従来の方の賃金アップ等の関係でちょっと金額が上がっております。体制整備のほうにつきましては671万2,000円を予定しております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 北部・中部のほうは、そういった人件費のアップということは分かるんですけど、南部のほうはちょっとほかと比べては多い。で、先ほど南部のほうはプラス1って言っていましたので、そのことも影響があるのかどうかというところがちょっと確認をしたいんですけども。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

塚本課長。

○長寿課長（塚本由佳君） こちらのほうは影響はしておりませんで、南部のほうの今いる方の賃金アップとかは、こちらのいつもの、この3行目の南部の地域包括支援センターの増額分で、新しく1名の方の分が671万2,000円の分というふうで御理解をいただきたいと思います。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

こңどう委員。

○こңどうのぶお委員 145ページの福祉推進事業で、真ん中辺のとこなんですけど、ひきこもり対策推進事業委託料1,209万ほどなんですけど、これ、対象者はどういった方で、どういったところが対策推進していくんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） ここの委託については、現在、社会福祉協議会のほうに委託をして実施をしております。対象としては、やはり外に出られない、自宅に閉じ籠もってしまう、名前のおりひきこもり状態にある方を対象とした相談支援をしているといった事業でございます。

以上であります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） こңどう委員。

○こңどうのぶお委員 それ、対象者は何名とか、分かるんですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） 対象者何名といったところについては、なかなかちょっとお答えするところは難しいところではございますけども、令和6年1月末現在の相談件数としては延べ1,206件の相談を受けております。実際に新規の相談の実人数といたしましては15人といったところでございます。こういった相談件数・人数を対応している事業だということで、御理解を頂戴できればと思います。

以上であります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 先ほどの全世代型・基幹型の重層についてですけど、資料ナンバー4の⑦を見ますと職員8名というふうにあるんですけど、先ほど説明の中で、今回よりそい等を含めたということで、プラス4ということなんですけど、その4を含めて8名なのか、それともそれとは別で8名なのか、どういうふうなのでしょう。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） よりそいの相談部分等を含めて8名ということでございます。

以上であります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 もう一つ、先ほど就労相談で1名ということがあったんですけども、それは包括就労のまるっとでしたっけね、それが入ってということなんですしたっけ。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） 今回の予算では、委託事業であります包括的就労相談というのを減額させていただいております。こちらも含めての体制ということでございます。

以上であります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 確認です。すいません。

そのまるっとで委託を出していたんですけども、そこをやめて、そこの方が入るとい

う、そういうこと、それとはまた別なんですか。どうですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） 職員の配置については、この予算審議をいただいた後、どこの事業者から派遣をいただくかということについては、内部で議論をしていきたいというふうに思っております。

以上であります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 145ページの福祉推進事業の下のほう、5行目ぐらいです、高校卒業程度認定試験合格者支援事業補助金は昔の大検だと思うんですけど、これ、最近の実績と、あと見込み、何人ぐらいしているんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） ここの対象になりますのは、生活困窮にある方を対象とした市の単独事業でございます。これまでの実績といたしましては実績がないという実態でございますので、ちょっと見込み人数がどのぐらいかということについては読めないところでございます。

以上であります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 子育て支援課になるかと思います。予算書の161ページの事業3のところに子育て支援センターの経費がいます。で、先ほどの御説明、聞き間違えたらごめんなさい、その上の2の事業、児童館の中の事業の中にも子育て支援センターの経費がいますというふうに、たしかそういうふうに聞こえたんですけども、子育て支援センターが南部に1つ増えますというようなことで、どの程度それ、増えるのか、子育て支援センターに係る経費が。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君） 指定管理者、ごめんなさい、今、委員がおっしゃったのが、児童館等管理運営事業の中の指定管理料の中にひまわり児童館の子育て支援センター機能と一時預かり機能が入るところでございます。

こちらなんですけれども、公募型のプロポーザルをしましたときに、北部児童館も含めて、中高生タイムも含めて、5年間で約1億円ぐらいの増額を見込んで公募をいたしました。提案額として出てきたものがもう少し低かったんですけれども、ちょっと、支援センター分で幾らというのが今ちょっと申し上げられないんですが、ひまわり児童館の事業を増やした部分と、北部児童館の中高生タイムが増えた部分で、全体として年間2,000万円の増額を見込んで予算化しております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 これ、今の御説明だと、分からないというのが多分結論だと思うんですけど、指定管理料の中に子育て支援センターの経費が入っているということを考えて、ちょっと気になったのが、子育て支援センターって国とか県とかから何か、交付金か何か出てなかったかなと思うんですけど、この指定管理料のところにそこが当たっていくみたいなイメージでいいんですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君） 申請はしてまいりたいと思っております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 ということは、指定管理料としてお支払いするにしても、それは国とか県とかからのお金が充てられるということでいいですかね。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君） その認識をしております。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今の説明ですと、児童館の指定管理料のほうにひまわり児童館の子育て支援センターのお金が入ると。そうすると、こっちの下のほうの子育て支援センターのほうも増えているんですけども、それはひまわり児童館は関係なく増えているということですか。だとすると、その増額の理由をお願いします。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君） 指定管理料の中にひまわり児童館の子育て支援センターに係る費用は入っておるところでございます。

で、児童福祉事務事業の中の子育て支援業務が増額になっている理由でございますが、こちらは報酬額、手当も含めた増額の分で増えている状況でございます。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 同じページの2つ下にあります不登校総括支援員業務が新しく入っておりますけれども、この総括支援員業務の内容、人数、あと日数だとか資格だとか、詳しくお願いします。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君） 不登校総括支援員でございますが、臨床心理士資格のある心理専門員を1名、任用をしたいと考えております。内容につきましては、不登校のお子さんですとか保護者の方の悩みやニーズに対応して、丁寧な心理的なアセスメントもしながら適切な支援につなげていけるようにというところで任用を考えております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 関連です。その1名の方は常時どこにいらっしゃるのかと日数、お願いします。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君） 所属は子育て支援課となりますが、席は共生社会課、重層支援センターのほうに予定をしております。勤務日数でございますが、週5日ということで予定をしております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 当初予算の概要46ページ、寝具クリーニング事業と高齢者住宅改修費というのは、どっか別の会計からの移動でしたっけか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

塚本課長。

○長寿課長（塚本由佳君） まず寝具のほうですが、昨年度まで老人福祉事業にございました。そちらから老人扶助事業のほうに移行をしております。あとは、住宅も同じように、事業のほうを同様に移動しております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

三浦委員。

○三浦桂司委員 今の老人福祉事業で、46ページのここの一番下の介護施設等整備事業費補助金1億2,491万2,000円、ここの、去年、債務負担行為のときに3つほど事業所があるようなことを聞いたんですけど、かつてなかなか私の地域にも宿泊型の高齢者グループホームを誘致しようとしたんですけども、ちょっとうまくいかずに、これ、ある程度めどが立っているのかというのと、この金額というのは全額県費補助で、市はトンネルみたいな形になっているのかというのをお聞きいたします。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

塚本課長。

○長寿課長（塚本由佳君） サービスの種類は、今、委員おっしゃられたとおり、3種のものを今計上しているものでございます。見込みにつきましては、現在プロポーザルが終わっておりまして、一応お申込みがあった状態で動いております。

あと、こちらのほうは全額県費補助となっておりますので、委員おっしゃるとおり、市の負担はございません。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 145ページの福祉推進事業の下から5、講習会負担金があるんですけど、これ、対象者と、あと講習会の内容、どのようなものなんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） 講習会の負担金については、様々な研修の機会に職員を派遣させようというものでございます。具体的なその対象人数というところはつかんではおりません。これから職員に呼びかけをして決めていきたいというふうに思っておりますけども、そうした中で、機会ある研修費として、記載のとおり29万6,000円を計上させて

いただいたものでございます。

以上であります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員）　こんどう委員。

○こんどうのぶお委員　ちょっと具体的な内容というのは分かるんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員）　答弁願います。

小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君）　大学による研修機会へ参加をさせるというのも1つの方法だと考えております。その中で、児童発達支援に関するもの、伴走型支援基礎講座、また学校福祉といった分野がございますので、こういった場面の研修の機会に参加を、職員、させようという研修費の負担金でございます。

以上であります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員）　ほかにございませんか。

林委員。

○林　ゆきひろ委員　同じく145ページの真ん中にある重層的支援の緊急対策支援事業の委託料で50万ほど出ています。これ、昨年というか、今年度、令和6年度100万あったんですけども、この重層センターとの連携というか、兼ね合いはどういうふうになっているのかということと、あと、減っているんですけども、実際に今までどのような形で実績というか、あるんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員）　答弁願います。

小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君）　これまでの実績といたしましては、たしか令和4年度にごみ屋敷、言葉はちょっと悪いですけど、ごみ屋敷、ごみの処理というものを民間に処理をお願いをいたしました。5年度、6年度、6年度もこれまでに実績はないところではありますけども、民間の力を借りて対応しなければ解決しないと思われるごみ処理、そういったものを想定をして、昨年度と比較して50万円の減額ではありますけども、50万円の予算措置をさせていただいたというものでございます。

以上であります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員）　中堀委員。

○中堀りゅういち委員　50万、貸してもらえるんですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員）　答弁願います。

小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君）　50万お貸しするというよりは、市が民間事業者へ委託

をして解決をするといったものでございます。

以上であります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかに。

中堀委員。

○中堀りゅういち委員 そのごみ屋敷の人が喜ぶということじゃないですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） お答えが苦しいところではございますが、やはりなかなか、何度も何度も言ってもなかなか解決に至らない、やっぱり近隣に迷惑をかけているといったこともございます中で、市として対応せざるを得ないという中で処理をしているといった経費でございます。もちろんお金が回収できるのであれば、回収をさせていただきたいと思っております。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 145ページの保険料というのがあるんですが、印刷製本、その後ずっと、民生委員事務委託料の前の保険料って、これ、新しくあるんですけど、この1万8,000円、これはどんな保険料でしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） 重層的支援の相談の場面で車両1台を借り上げておりますけども、その車両に対する車の保険料ということで予算計上をさせていただいたものでございます。

以上であります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 同じく145ページの社会福祉協議会運営費補助金の6,000万なんですけど、これの内訳というのは、どっかで説明いただいたかもしれないけど、念のため教えてください。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） 予算額の計上数値としては昨年度と同じものでございます。社会福祉事業を行っていただくための事業費の一部ということで、考え方としては

人件費相当分を負担させていただこうというものでございます。

以上であります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 浅井委員。

○浅井たかお委員 では、人件費はこれのどれぐらいの割合でしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） 人件費丸々補助ができているということではございませんけども、おおよそ社会福祉協議会11名分の人件費相当分ということで御理解をいただければと思っております。

以上であります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 武谷委員。

○武谷としお委員 予算書155ページの心身障害児者の扶助事業のところです。

心身障がい者が、補装具給付費が23.7%伸びているんですけども、年々20%ずつ伸びるという考えなのでしょうか。お願いします。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） 実際には補装具の申請があって、出来上がった時点で補助をしていくという考え方でございますので、やはり年度によっては増えたり減ったりというのが実態でございます。6年度については大変大きな申請があったので増額補正をさせていただいておりますが、決算見込みを見据えた中で、この程度であろうということで予算計上させていただいたという数字でございます。

以上であります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 子育て支援課になると思います。資料ナンバー4の③です。

資料ナンバー4の③に基金繰入金の充当先一覧表というのがありますけども、先ほどの児童館の管理運営事業に対して、基金が5,000万円ぐらい充たっているんです。で、児童館の管理事業って、子育て支援センターもこのひまわり児童館に入っているということですけど、経常的に出ていく経費のところに基金が充当されて充たっているというのが、毎年充てていくのかどうかというのがちょっと気になるので、そこをお願いします。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 今、福祉基金の中で、今回から新しく充当したものの中に児童館の管理運営事業のところがあるんですけども、まず、こういった経常的な経費の中でも、扶助費、非常に増加しているものですから、以前に全員協議会で配付をしたような基金の方針の中で記しているとおりの、扶助費の増加については、経常的な増加が見込まれるものについては充当していこうというふうに考えているところでございます。ここに書かれている多くの扶助事業については、臨時的にこの1年だけ支援をするという形ではなくて、基本的に大きく伸びていますので、ここを一定程度の期間、別に終わりを決めているわけではありませんが、一定程度継続的に基金を充てて、一般財源を確保して、実施計画事業などの採択ができるようにという形の運営になっているというところでございます。

終わります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 もし切り分けができれば結構なんですけど、児童館の指定管理に対して充てているのか、子育て支援センターに対して充てているのか、もし切り分けができればお願いします。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 基本的には切り分けをした形で充当しているというわけではなくて、伸びている3款の事業の中で、一般財源が大きくなっているんで、どこを基金の趣旨に合っているものかというのを考えて充当させていただいているという形になります。

終わります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

三浦委員。

○三浦桂司委員 49ページで今児童館の指定管理のところで1億4,300万円、新たにひまわり児童館に子育て支援センターを新設するということと、北部児童館に中高生の時間の延長、これ、利用できる時間と、休日というのはどうなっておりますかね。各子育て支援センターの一時預かりであると思うんですけども、何時から何時までと、北部児童館は大体8時ぐらいまでと聞いたんですけど、ちょっと2つ、お願いいたします。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君） 北部児童館の中高生タイムにつきましては午後6時か

ら午後8時までとなっております、年間100日以上ということで、今、指定管理者が考えているのは、月曜、水曜、土曜日、月水土で一度開始してみるということで予定をしております。

あと、ひまわり児童館の一時預かりのことでよろしいですね。ひまわり児童館の一時預かりにつきましては、今のところ、午前10時から午後4時までの間を予定しております、ただ、保育園の一時預かりとは違って給食が提供できないものですから、半日ずつ、2時間程度ずつの預かりを予定させていただいております。

あと、すいません、補足でございますが、ひまわり児童館は開館日が変わりまして、今までは月曜日から土曜日までだったのが、日曜・祝日をやるということで、基本的に月曜が閉館になります。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今のひまわり児童館のところですけども、こども誰でも通園というのもやるのかどうか、どのようにやられるのか、お願いします。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君） こども誰でも通園につきましては、8年度から本格実施をするようにという国の方からはあります。10年度には遅くともやるようにという状況になっているかと思うんですけども、7年度につきましては、ひまわり児童館では一時預かり事業を実施しまして、そこでいろいろと利用状況など、あとは社会情勢とか地域の状況を見ながら、それをこども誰でも通園に移行させていくのか、そのまま一時預かりで続けていくのか、ちょっと市民の方には分かりにくい制度になるかと思いますが、それはやってみての検討をさせていただきたいと思っております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 確認で。

そうすると、今回の7年度予算のこの指定管理料の中には、こども誰でも通園の予算は入っていないというふうに理解していいんですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君） こども誰でも通園の予算は入っておりません。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

こңどう委員。

○こңどうのぶお委員 149ページの一番上で、老人ホーム入所判定審査員という報酬があるんです。これは何人見えて、資格って要るんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

塚本課長。

○長寿課長（塚本由佳君） こちらのほうは、今、医師と保健所の代表、あと老人福祉の施設長と市の職員が2人の合計で5名でございます。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 どっちで見たほうがいいかな。地域福祉課かな。

予算書の169ページの一番下じゃない、一番下から3つ目、葬祭扶助費というのが去年の予算から減っています。もう一個上の表の行旅人死亡火葬等委託料というのは、これはほぼ同じというか、少し増えているぐらいなっているんですけど、恐らく身寄りのない方の火葬というのはここで、この予算でやると思うんですけど、これで足りますか。前に人数をお聞きしたら、これで足りるかなって心配になるんですけど。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） 確かに身寄りのない方で遺体の引取りを拒否された方については、この葬祭扶助費の中で支出をしているというところでございます。

確かに、今年度、一般質問の中で、どのぐらいの支出があるのかというところで、部長のほうからも百三十数万程度という御答弁を差し上げましたけども、予算については、これまでの実績等を踏まえて予算計上をしているところではございますが、当然において足りなくなると想定される場面については、また改めて御提案をして、予算の増額をさせていただきたいというふうに考えているところでございます。

以上であります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

こңどう委員。

○こңどうのぶお委員 149ページの上から3、高齢者の報償金等とかつてあるんですけど、これはボランティアポイントのことなんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

塚本課長。

○長寿課長（塚本由佳君） 上から5番目の高齢者報償金等339万円のことでございますね。こちらのほうは敬老祝い金になっておりまして、88歳、数えですが、88歳になられた方に5,000円、99歳と100歳以上の方に1万円というものを敬老金として支給するものでございます。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 次のページにも介護支援のボランティアポイントがあるんですけど、普通の高齢者のボランティアポイントもあったと思うんです。それはどっかにあるんですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

塚本課長。

○長寿課長（塚本由佳君） 151ページの5、事業の地域介護予防活動支援事業、真ん中の段なんですけど、そちらの一番下の段の介護支援ボランティアポイント業務委託料の中にボランティアポイントのものが入っております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

一色委員。

○一色美智子委員 今の介護支援ボランティア……。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） マイクお願いします。

○一色美智子委員 ごめんなさい。

今のところで介護支援ボランティアポイント事業委託料なんですけども、これ、金額倍増しているんですけど、利用者が増ということなんですけど、どのぐらい、何人から何人というのがちょっと分かったらありがたいなと思うんですけど。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

塚本課長。

○長寿課長（塚本由佳君） こちらは高額に増えているように見えるかと思うんですけども、令和6年の予算まではボランティアポイントのお返しする分は報償費として計上しておりましたが、令和7年度から報償費とシルバーへ委託する委託料を一括にしておりますので、大分上がっているように見えているという状況でございます。令和6年度につきましては上限のポイントのほうのものを変えましたので、急激に上がっておるかと思ひます

が、それがちょっと落ち着くかというふうに令和7年は予想しております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 予算書の149ページの老人福祉費の説明欄一番上の下、2つ目のところ、高齢者・障害者虐待防止ネットワーク代表者会議委員報酬ってあるんですけど、これは内容としてはどんなことをするところでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

塚本課長。

○長寿課長（塚本由佳君） こちらは高齢者と障がい者の虐待防止ということで、こちら、対応とか促進の啓発等に関する意見の聴取等を行っております。障がい者と高齢者の担当で、合同で行っているというふうになっております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 浅井委員。

○浅井たかお委員 これは何名、委員は何名ということと、あとは、これは対象は施設も含まれているのか、自宅だけなのか、それを教えてください。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

塚本課長。

○長寿課長（塚本由佳君） こちらのほうは委員は18名となっております。施設とか住宅とか関係なく、虐待に対して行っております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 委員の方、あとどれぐらい質疑ありそうですか。

（発言する者あり）

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） まだありますね。

では、ここで10分間休憩いたします。

午後2時45分休憩

午後2時55分再開

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） では、休憩を解き、休憩前に引き続き会議を進めます。

では、質疑。

塚本課長。

○長寿課長（塚本由佳君） 先ほど私が御答弁申し上げました予算書の149ページの高齢者報償金、老人の方の敬老祝い金のほうでございますが、金額、ちょっと訂正をお願いします。88歳が5,000円、99、100歳が1万円と言いましたが、88歳と99歳が5,000円、100歳が1万円、100歳以上が1万円ということでお願いいたします。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 差額は課長が払ってくれるの。

○長寿課長（塚本由佳君） 差額、すいません。訂正をお願いいたします。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにありませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 当初予算の概要51ページ、県保育士会負担金の増額について教えてください。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

小川課長。

○こども保育課長（小川正寿君） 県の保育士会の負担金でございますが、今までは半分自己負担をしておりましたけれども、全額公費負担をさせていただくということで増えたものでございます。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 149ページ、一番上の欄で、真ん中から下の老人クラブなんですけど、これは何クラブ今あるんでしょうか。それで、1区に1つってあるんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

塚本課長。

○長寿課長（塚本由佳君） 老人クラブ数は30クラブでございます。

あともう一問。

○こんどうのぶお委員 区に1つあるんですかね。どういうふうなんですかね。

○長寿課長（塚本由佳君） 今、1区に1つはない状況でございます。ちょっとなくなっているクラブがありますので、今全部はございません。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 149ページの下の高齢者タクシーの助成金についてですけども、昨年と比べて倍増しているんですけども、まず、支給対象者が何か変わったのか、それか1

人当たりの金額が変わったのか、そのあたりはどうですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

塚本課長。

○長寿課長（塚本由佳君） こちらのほうは、御説明のほうでもさせていただきましたが、まず80歳以上の方、今までの80歳以上の方と65歳以上の要介護、要支援で非課税世帯の方、こちらのものを合わせてという形になりましたので、対象者はそういった意味では拡大しております。チケット1枚500円とか、枚数等は変わりありません。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかがございますか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 ほかに高齢者事業の外出支援の部分が今まであったんですけども、それがここに含まれていくということでいいですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

塚本課長。

○長寿課長（塚本由佳君） 委員のおっしゃるとおりでございます。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 そうすると、それは200万ぐらいだったんですけど、全然金額が違うんですけども、そういった60歳以上の非課税の方がさらに拡充されたといいますか、1人当たりのそういったチケットの金額が変わったということですかね。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

塚本課長。

○長寿課長（塚本由佳君） 今までそちらのほうも1枚500円で、タクシーチケット年間48枚で変わってはおりません。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかがございますか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 そうすると、なぜ1,200万も増えるのかなと思うんですけども、それはなぜなんですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

塚本課長。

○長寿課長（塚本由佳君） こちらのほうは、80歳タクシーのほうの利用状況の申請も、

令和6年度の最初と令和6年の最後で大分人数等も変わってきておりますので、80歳以上のほうのタクシーの利用が増えてきているということを見込んでおります。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 じゃ、今の利用状況、1,200万の予算だったと思うんですけど、そのうちどれぐらいの利用状況なんですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

塚本課長。

○長寿課長（塚本由佳君） こちらのほうは、今、80歳以上タクシーの方が6,662名ぐらいの対象者のうち、現在1,721名の御申請が2月まででございます。こちらは25.85%の方が今御申請いただいているという状況でございますが、令和6年の初めの頃につきましては800人程度でございますので倍増しております。その後も、多分こちらのほう、広報してまいりますので、利用者のほうは増えていくというふうで試算しております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかがございせんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 予算1,200万に対して、どれぐらいの執行状況なんですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

今執行状況って、現在って出ますか。

○林 ゆきひろ委員 現時点で。分かる範囲で。難しい。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 現時点ではちょっときついんじゃないかな。決算じゃないでね。分かれば結構です。

塚本課長。

○長寿課長（塚本由佳君） 今ですと1,500枚程度御利用がありますので、掛ける500円ぐらいが、今、2月末までという形にはなるかと思えます。また3月も変わってくるかと思えますが、今のところではそういった形でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかがございせんか。

堀内委員。

○堀内ちほ委員 概要の46ページ、老人扶助事業費の中の老人介護手当給付費が減っているんですけど、その理由を教えてください。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

ちょっと聞こえましたか。

もう一回、ちょっと、じゃ。もう一回いきます。もう一回質疑いきます。

○堀内ちほ委員 概要の46ページ、老人扶助事業の中の老人介護手当給付費、これが少し減っているんですけど、その理由を教えてください。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

塚本課長。

○長寿課長（塚本由佳君） こちらのほうは、在宅の寝たきりの老人の方に一月、その介護をしていただいている御家族の方に一月5,000円という支給をさせていただいておるんですが、令和5年度の決算を見ましても89万円ほどでございますので、実績に合わせて減額しているということでございます。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 149ページ、先ほどのタクシーの上なんですけど、利用サービス事業費なんですけど、これの条件と、あと何名見込みとか、教えてください。

149ページ、よろしいですか。老人扶助事業。よろしいですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

塚本課長。

○長寿課長（塚本由佳君） 理髪サービスのほうでございますが、積算は4,400円の70回を見込んでおります。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 郷右近委員。

○郷右近 修委員 当初予算の概要46ページ、今お話がいろいろあった少し上の難聴高齢者補聴器購入助成費です。増額になっているんですけど、他市町の人たちから尋ねられたりして、豊明市は定額の骨伝導タイプなんかも対象にしてきているという違いから、結構はやっているように感じていたんですが、増額の検討を考えたいので、主にどういう金額帯が利用されてきて、こういう増額になっているかとかは分かりますかね。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

塚本課長。

○長寿課長（塚本由佳君） 金額帯につきましては大分大きく差がありまして、高い補聴器から補助金、補助金以上のものがほとんどではございますが、やはり機種によって大分金額は変わるというふうに実感しております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員）　ほか。

　　こんどう委員。

○こんどうのぶお委員　　すいません、先ほどの利用サービスなんですけど、使える方の条件ってどういうふうですかね。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員）　答弁願います。

　　塚本課長。

○長寿課長（塚本由佳君）　こちらのほうは、65歳以上の要介護4、5で寝たきりの方というふうになっております。

　　以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員）　ほかございませんか。

　　清水委員。

○清水義昭委員　保育だと思います。概要の51ページの上から4段目、警備委託料ですけども、これが大きく減っているんですけど、これまでの警備と何か変える予定なんですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員）　答弁願います。

　　小川課長。

○こども保育課長（小川正寿君）　今まで長期継続契約で令和7年5月までの契約を予定しておりますが、6月以降は包括委託のほうに移管するということで、4、5月分までの予算となっておりますので、大きく減額しているものでございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員）　ほかございませんか。

　　こんどう委員。

○こんどうのぶお委員　149ページの老人扶助事業の真ん中辺の老人保護措置という、これなんですけど、これ、教えてください。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員）　答弁願います。

　　できますか。もう一回質疑しましょうか。

○こんどうのぶお委員　149ページの老人扶助事業、その真ん中辺なんですけど、老人保護措置費ってありますよね、その内容を教えてください。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員）　答弁願います。

　　塚本課長。

○長寿課長（塚本由佳君）　こちらのほうは老人福祉法のほうに規定されておりますが、養護老人ホームの入所等をする場合、どうしても普通の方ではなくて、障がいとかあったり、環境的なものがあつたりとか、そういったもので普通のところに入れない方を措置するための費用でございます。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかがございますか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 予算書153ページの上の段のところの地域生活支援体制事業委託料の1,400万ですけども、6年度と比べて200万ほど上がっています。で、2か所ほどたしか委託先があったと思うんですけども、どういったところに委託されていて、どこの委託がなぜ増加するのでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

塚本課長。

○長寿課長（塚本由佳君） こちらのほうは、まず1点目が生活支援体制整備事業委託として社協さんに委託しているものと、あとチャットがございます。伸びているのはチャットのほうが、人件費等の形で増額をしております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございますか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 予算書149ページの老人福祉費の説明欄のシルバー人材センター補助金ってあるんですね、2,800万の。これなんですけど、この内容、補助金の使い道とか内容というのは指定されているのでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

塚本課長。

○長寿課長（塚本由佳君） シルバー人材センター補助金につきましては、シルバー人材センターの事務を行う人件費が主なものでございます。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございますか。

清水委員。

○清水義昭委員 子育て支援課か財政課かどっちか分からないですけど、ちょっとどっちか。

予算書の161ページの真ん中の、先ほどの児童館等の管理運営事業の財源の内訳と、あと資料ナンバー6の⑤でいただいています、資料ナンバー6の⑤の40番です、児童館指定管理事業というのがあって、これの一財と特財のどういうふうにな内訳が上がっているのかなと思って見てたんですけども、ちょっと予算書のほうと、この頂いた資料のほうとちょっとそごが出ているので、ここの説明をお願いします。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） ちょっと申し訳ありませんが、ちょっとそこの部分、ちょっともう一度教えていただいてもよろしいでしょうか。資料6の⑤は確認をしましたので。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 清水委員。

○清水義昭委員 予算書の161ページの真ん中の事業2、児童館等管理運営事業というところがあって、そこに特財が幾つか書かれています。例えばですけど、国県支出金が207万とかって来ているんですけども、それが、右側の説明の指定管理料を全部除いても207万行かないんで、絶対指定管理料に充たっているはずなんですよ。で、にもかかわらず、資料ナンバー6の⑤のほうは、特財で国県支出金はありませんって言っていたりするのです。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君） 大変申し訳ございませんでした。資料ナンバー6の⑤が記載間違いでございます。大変失礼いたしました。

40番の児童館指定管理事業のところの総額143,599のその右、国県支出金が、すみません、予算書の161ページの2,070がそのまま充たる形となっております。大変失礼いたしました。訂正のほう、お願いいたします。申し訳ございません。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかがございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 155ページの心身障がい児者の扶助事業についてですけども、こちらに、真ん中辺りにあります訓練等給付費、あと、その下の介護給付費、それから地域生活支援費、施設入所支援費、あと、次のページの上の心身障害児通所居宅サービス事業費で、これらは結構、補正予算でかなり増額をされたりということをよく見るんですけども、この訓練給付費と心身障害のほうは、今回、昨年よりは増額はされていますけども、そのほかのところはほとんど変わらない金額で積算されているんですけども、今、増加傾向なんでしょうけども、どのように見積もって積算されて計上されているんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） 当初予算を計上するに当たっては、やはり過去の実績であったりとか、昨年度どのような予算計上をしたのかというところを中心に議論をして予算計上させていただいております。確かに委員おっしゃるとおり、訓練等給付費については、昨年度より113.48%の伸びを見させてもらって計上したというところでございます。

ただ、扶助費全体の中では、約20億に対して22億という予算計上をさせていただいておりますので、その全体事業費の中で予算の執行をしていきたいということはあるんですけど、先ほども申し上げたとおり、予算不足ということも考えられますので、それは今後の執行見込みをしっかりと見定めた中で、また場面を変えて予算編成を御提案させていただきたいというふうに思っているところでございます。

以上であります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員）　ほか。

林委員。

○林　ゆきひろ委員　なので、補正予算で結構組んでいたりするので、その増額分も加味して、これは計上ちゃんとされているのかどうかというところを確認したいんですけど。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員）　答弁願います。

小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君）　そういった部分では、訓練等給付費並びに心身障害児通所居宅サービス事業費につきましては、大変大きな請求が毎月ございますので、決算見込みを見据えて増額をさせていただいているという状況でございます。

以上であります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員）　ほかございませんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員　153ページ、一番下の基幹相談支援センター事業委託料って、支援センター、どこのことを指すんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員）　答弁願います。

小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君）　この基幹相談支援センターにつきましては、社会福祉協議会と委託契約を結んで行っております。

以上であります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員）　ほかございませんか。

浅井委員。

○浅井たかお委員　予算書の161ページの児童福祉事務事業のひとり親家庭等児童記念品というところなんですけど、これ、こういったものをどういうタイミングで、この記念品を贈るんですか。あと、何名分を、これ、予定しているんですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員）　答弁願います。

松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君）　こちらは児童扶養手当を受けていらっしゃる御家庭のお子さんが、小学校入学時、それから中学校入学時と中学校卒業時に、図書カード2,000円分を児童民生さんを通じてお渡しいただく事業となっております、予算計上は138人分となっております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員）　ほかございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員　予算書の163ページの一番下、独り親家庭等自立支援給付金が大幅な増になっておりますが、その理由と、あと、これ、周知、こういうのがあったの知らなかったんだという方の市民もいらっしゃったんですけれども、どのようにこういう制度があるよという周知をされていけますか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員）　答弁願います。

松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君）　こちらの独り親自立支援給付金でございますが、4つの給付に分かれておりまして、特にその中でも予算上大きいものが高等職業訓練促進給付金というものでございまして、これは就職に有利な資格取得と経済的自立支援を行うものでございます。6年度は当初予算で、こちら、3名分を計上していたんですけれども、今年度も9月補正で増額をお認めいただいております、7年度は6名分を予算として計上させていただいているところでございまして、増額となっております。

で、収支につきましては、愛知県のほうから『ひとり親家庭福祉制度のしおり』というものが発行されておまして、そちらを児童扶養手当の現況届のときに手配りでお渡しはしているんですけれども、まだ御存じないという方がありましたら、徹底するようにしてまいりたいと思っております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員）　ほかにごございませんか。

林委員。

○林　ゆきひろ委員　今の自立支援給付金のところなんですけれども、これ、増えているということは、今までの予算はその予算で賄うことができていたということなんですかね。そうすると、今までというのは大体四、五名ぐらいの利用実績なんですか、それで今回6名に増やしたという、そういう理解でいいんですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員）　答弁願います。

松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君） この自立支援給付金の中の先ほど申し上げた高等職業訓練促進給付金というのが、最大48か月間まで、非課税世帯の方が毎月10万円、課税世帯の方が毎月7万500円、給付いただけるものになっているんですけども、美容師さんですとか、看護師さんですとか、保育士さんですとか、そういったカリキュラムが2年で終わるとか4年で終わるとか決まっているものですから、継続的な方は予算が立てやすく、令和6年度については継続的な方が3名だということで計上したところがございまして、実際には年度途中というか、年度初めに御申請いただいたものですから、途中で予算が足りなくなり、今年度はプラス3名分ということで増額をお願いしております。ですので、7年度の当初予算として上げさせていただいているのも、人数が確定している分で計上をさせていただいている状況でございます。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 当初予算の概要48ページ、成年後見人報酬費用助成が減額になっています。重層的支援にも関わってくるような分野じゃないかなと思っているし、行政全体としても力をどんどん入れてってる分野かなと思うんですけど、これは豊明市の現状でいうと、頭打ちじゃないけど、大体充足してきたんで、こういう予算措置になったという感じなんですかね。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） この事業につきましては、成年後見人費用を生活実態に合わせて助成をするという事業でございます。この実態としては、決算状況を見比べると減額になっているということでございます。お金が出せると言った人については、個人の負担の中で成年後見を利用しているという人はいるんだろうというふうには思いますが、費用の助成という部分では実態として減っているということで、減額をさせていただいたというものでございます。

以上であります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 今の成年後見人に今何人いるのかと、あと女性はどのぐらいの割合なんですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） 決算に関わる部分なので正確な数字は持ち合わせておりませんが、費用の助成をしている実態ということで申し上げます、たしか4人とか5人とか、そういった数字だったというふうに記憶しております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

（助成、いいですかの声あり）

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） それも多分もう答えられないんじゃないの。

ほか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 159ページの一番上の福祉医療費で、こちらも先ほどの心身障がい児の福祉費と同じですけど、福祉医療助成費と自立支援医療費も結構毎年補正で増額していると思うんですけども、その補正分もちゃんと積算されて増額を見込んでいるんでしょうか。福祉医療費のほうは特にそこまで増えてないような気がするんですけど、実際もつと増えるんじゃないでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） 年間の額については、おおむね前年度実績から見込んでおりますので、基本的には補正がない形でという形で見込んでおりますが、何しろ医療動向に関わるものでございます。ここ数年におきましては、まだコロナ以降の影響を多分に受けておりましたので、補正等も高額になったりだとか、いろいろ影響が出ているものでございます。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

三浦委員。

○三浦桂司委員 概要の48ページの心身障害者児者扶助事業、障害者福祉タクシー料金の給付金502万、これ、130万8,000円増になっておりますけども、これ、利用者が増えたのか、制度が、改正があったような気がしたんですが、ちょっと内容を教えてください。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） 利用者については増えているという実態がございます。制度内容の改正という部分につきましては、令和5年度までは自動車税の減免を受けている人については対象外でありましたが、6年度からはそういった方についても対象にする

ということで、実態としては増えているというところでございます。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 159ページの下の後期高齢者健診委託料で3,900万出ているんですけども、後期高齢の関係で、普通は特会のほうなのかなと思うんですけども、特会じゃない理由と、これはどういった委託料なのか。それから、93ページに歳入があるんですけども、その金額ともちょっと違うんですけども、その関係をちょっと説明、お願いします。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） こちらの事業につきましては、保険と介護予防の一体的事業ということで、広域連合のほうから受託を受けている事業となります。受託内容といたしましては、保健事業に取り組むための人件費分とこうした健診分ということで上がっておりますので、先ほどの92ページですか、歳入との食いつきはそういった関連でございます。

こちらのほうの健診の委託料につきましては、はつらつ健診という形で、健診のほうを医療機関と、あと集団方式とで行っているものでございます。毎年、健診のそれぞれの単価に合わせて予算のほうを計上させていただいておりますが、今年度につきましては昨年度より1件当たりの額が変動がないということで、精緻に見込んだことでこうした額を上げております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 ちょっと分かりにくかったんですけど、歳入が4,500万で歳出のほうは3,900万で、まずその差分がどこに入っているのかなというのと、後期高齢の特会じゃなくて、こっちのほうに切り出されているのはなぜですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） まず、切り出されている理由でございますが、こちらのほう、令和2年度より広域連合より受託を受けてまいりましたが、昨年度、消費税のほうを受託事業に関してかかるということが分かりました。それによりまして、歳入歳出共に、関連の事業につきまして、一般会計のほうに移したことによるものでございます。

それから、あともう一点ですが、受託、歳入と歳出に関する食いつきの部分でございま

すが、一体的事業といたしまして6,626万3,000円ほど人件費もかかっております。そちらのほうにつきましては、3款のほうの人件費として上がっている部分もございますので、あと、それから一部分、消耗品等につきましては、特会のほうに繰り出す事業費のほうも含まれているものでございます。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 概要の50ページです。子育て支援課になるかと思います。上から十二、三個目のところだと思いますけど、児童遊園地設置費等補助金ということで、120万円だったものが100万円に減らされているわけですが、これ、結構増額の要望があったというふうに記憶はしていますし、遊具の安全性の関係で厳しくなって、遊具が使えないようなところで増額の要望も出てたはずですが、これ、100万円に減らすというのは、何か中で補助の要綱とかを変えろということなんですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君） 特に要綱の変更はございません。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 減額にした理由というのは。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君） 先ほど委員おっしゃったように、令和6年度は遊具のハザード点検、より厳しい、構造点検を実施したところでございまして、多くの団体、区や町内会から補助の申請をいただきました。ただ、ほとんどの区や団体のほうから御申請をいただいております、7年度につきましては、ハザード点検は毎年やるものではございませんので、普通の点検のみに戻す形を予定しております、6年度ほどは補助の申請が上がらないのではないかという見込みで、すいません、減額をさせていただいているところでございます。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 同じく163ページのところで子連れ出勤のことなんですけども、真

ん中辺りの子連れ出勤の普及啓発事業委託料、それから下から5つ目が6つ目ぐらいに、こちらの子連れ出勤の普及啓発事業費の補助金で30万あるんですけど、まずそれぞれの違い、それから、これまでもやってきたと思うんですけども、そのちょっと実績はどういうふうだったのか、お聞かせください。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君） 子連れ出勤の普及啓発事業の委託料につきましては、普及啓発をやってくださる事業所、モデル事業所のところに委託料として、1事業者当たり5万円を確保しております。なので、3事業所分ということになります。

子連れ出勤普及啓発事業費補助金でございますが、こちらはモデル事業所となっていただけるところに、環境整備、社内のルールづくりはちょっとお金は出ないんですけど、ごめんなさい、失礼しました、環境整備として消耗品ですとか備品を購入する必要があるというところで、1事業所当たり10万円、掛ける3事業所分ということで計上させていただいております。

こちらの事業は6年度、今年度から開始しておりまして、今ホームページに普及啓発として掲載させていただいているのは2事業所になりますけれども、年度途中で新たに1事業所、契約を締結することができましたので、まだホームページには載せておりませんが、実績としては3事業所というふうになっております。ただ、まだ終了はしておりませんので、予定となっております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 これ、子連れ出勤なんですけど、市役所もやっていると思うので、そちらの状況ってどうなんですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君） 市役所の中でやっている子連れ出勤につきましては、所管が秘書広報課に移っているところでございます。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほか。

武谷委員。

○武谷としお委員 概要の50ページ、先ほど清水委員のほうから児童遊園地の設置のほうのお話等補助金だったんですけど、その2段上、児童遊園地の遊具等撤去費用、これ、大

幅に減っていて、今年度9万9,000円だと1回もできないんじゃないかなという金額なんですけど、この積算の根拠をお願いします。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君） こちらの遊具等撤去工事費につきましては、遊具の撤去という、修繕ではなく撤去ということで、基本的には前年の8月31日までに御申請をいただく形になっております。

で、今年度は滑り台1台の費用ということで計上させていただいてたんですけども、来年度は2か所の児童遊園地から、それぞれ遊具の撤去の申出があったんですけど、合計金額としては減っているという状況でございます。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかがございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 予算書の155ページか、その前のページなのか分からないんですが、昨年度、精神障害者地域活動支援センター運営費負担金、あと心身障害児者福祉推進事業費補助金というのがあって、今回抜けているんですが、これ、どこかに統合されたんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） 今御案内のありました補助金については、毎年福祉だよりといったものをつくっています。福祉のしおりですかね、つくっております。これについては例年福祉団体をお願いをしているところではありますが、そこについては社会福祉協議会のほうで無償でつくっていただけるので、予算については減額をさせていただいたというものでございます。

以上であります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかがございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 167ページの保育園の認可保育所等の整備補助金で、資料ナンバー1の③のところで、これを見ますと2億3,400万、暁幼稚園の交付金なっているんですけども、暁幼稚園が認定こども園化する補助金かなと思うんですけども、これは基本的には施設改修をされるということなのかということと、あと、定員がどれぐらい変わるんですかね。何歳児のものが、どれぐらいの定員、広がるんですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

小川課長。

○こども保育課長（小川正寿君） 今、幼稚園でございまして、認定こども園に移行するという事で、小さいお子さん、未満児の保育室がないということで、そちらの新設、今の既存の改修工事を行うものでございます。

定員の増加分については、今まだ認可を目指しているところですので、確定値ではございませんけれども、保育定員では116人程度増える予定をしております。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかがございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 あと、分かればですけども、来年の4月以降の潜在的な待機児童ってどれぐらいになりそうかって分かりますか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

小川課長。

○こども保育課長（小川正寿君） 今まさに調整中でございますので、まだちょっと申し上げられません。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

こңどう委員。

○こңどうのぶお委員 167、そのページの上から4つ目か、土地等の借上料、どこの場所になるんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

小川課長。

○こども保育課長（小川正寿君） 土地等借上料でございますけれども、病後児保育室ほか、栄保育園の駐車場、館保育園の駐車場、青い鳥保育園の駐車場、中部保育園の駐車場等の借地料になります。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 資料ナンバー1の③、先ほどのところの、今度下の施設型、地域型の保育給付費ですけども、これは昨年度と比べてかなり、300万ぐらいですかね、3,000万ぐらい増えているんですけども、いや3億か、増えていますけども、これ、定員が大きく変わるということなのか、人件費だけなのか、どういうふうなんですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

小川課長。

○こども保育課長（小川正寿君） 両方でございますが、補正予算でも給付費の追加をさせていただいたところでございますけれども、人事院勧告に伴う公定価格のアップ分と、今、アイグラン保育園が改修工事をやっておりますけれども、それが終了して定員が40人増える。そして、豊明幼稚園が認定こども園に移行するというので、保育定員のほうが、給付費の数が増えてくるというところで、合計100人、給付費の人数が増えるということで、大きく増加しているものでございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今のところで、合計100人増えるというのは、それが入ってのこれは定員の人数というふうに理解していいですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

小川課長。

○こども保育課長（小川正寿君） 7年度の状況でございますけれども、認定こども園については教育部分についても給付の対象になりますので、その部分も記載してございます。以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 今のそのページのページの下から3番目、施設等利用費ってあるんですが、これ、どういう施設を利用するんですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） もう一度いいですか。

○こんどうのぶお委員 167ページの下から3つ目の施設等利用費ってあるんですけど、これ、こういった施設の利用なんですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

小川課長。

○こども保育課長（小川正寿君） こちらは、未移行の幼稚園児に対する利用料の部分になりますので、幼稚園のお子様の利用料になります。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 先ほどの保育園の関係のところの保育士の資格取得支援の補助金が

あって、こちらも90万だったのが106万ということで増えていますので、実績と、この令和7年度は何件分で、これは見込んで上げているんですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

小川課長。

○こども保育課長（小川正寿君） こちらは学び直しの助成というところでございますけれども、2年目になりますので、その後、就業の部分も含めて計上させていただいております。で、計上部分については、学び直しの支援については3名から2名に減額はしておりますけれども、就業の部分でお1人分計上しておりますので増加しております。実績のところは、今のところはございません。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

これにて……。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 実施計画の中で、19ページに子どもの権利条例の制定に向けた検討を行うってあるんですけれども、これ、予算が伴う形でどこかで出てきているのか。あと令和7年度、こういった部署で検討されていくんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

いいですか。答弁に関しては結構丁寧に御答弁いただいておりますが、回答が分かれば結構ですので、端的に回答をお願いします。

松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君） 子どもの権利条例の制定につきましては、7年度は予算を計上しておりません。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 169ページの下の方の補助事業のところ、住宅確保給付金と住宅扶助費のところ、結構増額しているんですけども、この理由と、何か要件等、見直しというのはあるのでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） 要件等、見直しはございません。生活保護世帯の数が増えていることから、増額をさせたというものでございます。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 その上の生活保護事業のポルトガル語通訳業務、これは何名分で、どこに配置というか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） 1名分であります。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） これにて、3款 民生費の質疑を終わります。

（発言する者あり）

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 遅い。遅いです。

ここで、理事者の説明の入替えのために、10分間休憩とします。

午後3時35分休憩

午後3時45分再開

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 休憩を解き、休憩前に引き続き会議を進めます。

続いて、4款 衛生費について、順次説明を願います。

川原健康推進課長。

○健康推進課長（川原静恵君） それでは、健康推進課所管分について、初めに主な歳出を御説明させていただきますので、予算書の176、177ページを御覧ください。

4款1項3目2 成人予防接種事業は前年度より7,837万2,000円の増額でございます。説明欄の一番下、予防接種委託料、次のページ一番上の予防接種等費用助成金は、新型コロナワクチン接種と定期の帯状疱疹ワクチン接種費用を計上していることによる増額でございます。

続きまして、180、181ページを御覧ください。

6目1 休日診療所運営費は、前年度より151万7,000円の増額でございます。説明欄下から2行目、医薬材料費は患者の増加を見込み増額しております。

続いて、歳入の主なものを御説明させていただきますので、予算書の38、39ページを御覧ください。

13款1項3目1 保健衛生使用料は前年度より1,105万2,000円の増額でございます。歳

出で御説明いたしました医薬材料費の増額と同様に、患者数の増加を見込んでいることによるものでございます。

以上で説明を終わります。

○予算特別委員長（鶴飼貞雄議員） 続いて、松村子育て支援課長。

○子育て支援課長（松村清子君） 子育て支援課所管分の主な歳出より御説明いたします。

予算書の174、175ページを御覧ください。

4款1項2目1 母子保健活動事業は前年度より1,011万4,000円の減額です。

主な要因について御説明いたします。説明欄を御覧ください。

下から5つ目の妊婦・乳児健康診査費補助金と下から8つ目の乳児及び妊婦健診委託料でございますが、どちらも妊産婦健診、乳児健診など、費用助成や委託料としてお支払いする事業となっておりますが、令和6年度の実績などを勘案しまして、合計で909万1,000円の減額となっております。

下から4つ目の出産・子育て応援交付金は前年度より5,300万円減額し、新たに一番下の妊婦のための支援給付金4,730万円を計上しております。これは、国の予算事業として今年度まで実施しておりました出産・子育て応援交付金に代わり、令和7年4月1日から、子ども・子育て支援法に新たな給付として制度化されます妊婦のための支援給付が開始されることによるもので、2回に分けて、妊娠届出時に5万円と、原則として出産後に子ども1人につき5万円を給付するものでございます。令和6年度の実績などを勘案し、2つの事業の合計で前年度比570万円の減額となっております。

176、177ページを御覧ください。

2子育て予防接種事業は前年度より3,016万7,000円の減額です。

説明欄を御覧ください。

上段の下から3つ目、予防接種委託料は、子宮頸がんワクチン接種の接種見込みから前年度比3,000万円の減額となっております。

続きまして、歳入について、主なものを説明いたします。

50ページ、51ページを御覧ください。

14款2項3目 最下段の1. 衛生費補助金、説明欄の下から2つ目、妊婦のための支援給付交付金は歳出で説明しました新たな給付制度に10分の10充当されるもので、その下の妊婦のための支援給付事務費補助金は給付に係る人件費や郵送料等に2分の1充当されるもので、同様に68ページ、69ページ、上段の15款2項3目 衛生費県補助金、2. 保健衛生費補助金、説明欄の下から2つ目、妊婦のための支援給付事務費補助金は県補助金として4分の1充当されるものです。

以上で説明終わります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 続いて、松本環境課長。

○環境課長（松本裕介君） 続きまして、環境課所管分の主なものについて御説明します。

予算書178、179ページを御覧ください。

4款1項4目 環境衛生費は、前年度比1億4,983万7,000円の増額です。主な増額の要因は、説明欄下から2つ目の合併処理浄化槽設置費補助金の拡充によるものです。

次に、184、185ページを御覧ください。

下段、4款2項2目 塵芥処理費は、前年度比2,731万7,000円の増額です。

次ページを御覧ください。

主な増額の要因は、説明欄下から4つ目の塵芥収集委託料の増額が主な要因です。

続きまして、歳入の主なものを御説明しますので、予算書56、57ページを御覧ください。

14款 国庫支出金、4項3目 衛生費国庫交付金は、合併処理浄化槽に係る国の交付金です。

続きまして、66、67ページを御覧ください。

15款 県支出金、2項3目衛生費県補助金は、同じく合併処理浄化槽設置費補助金に係る県の補助金になります。

以上で説明を終わります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 説明は終わりました。

4款 衛生費の質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

青木委員。

○青木けんじ委員 予算書179ページの合併処理浄化槽の補助金についてですけども、資料のほうを頂いておりまして、こちらのほうの積算根拠は分かるんですけども、この積算に当たって、実際の当該地域の現状の数とか浄化槽の状況というのは把握されているのでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 把握しております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかがございませんか。

青木委員。

○青木けんじ委員 あと、その次のページ181で合併処理浄化槽維持管理費補助金、こちら

のほうの今合併処理浄化槽になっている数のほうも把握されているんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

○環境課長（松本裕介君） 把握しております。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） まだ指名していない。まだ指名していないですよ。
松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 把握してございます。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかがございませんか。

青木委員。

○青木けんじ委員 ちょっと続くんですけども、こちらのほうですけども、5人槽、7人槽とか10人槽とかというふうに、サイズが様々ありますけれども、そのあたりの状況も確認が済んでいるということによろしかったでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 愛知県の浄化槽の台帳によって確認しております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかがございませんか。

こんどう委員。

関連。ごめんなさい。じゃ、林委員。

○林 ゆきひろ委員 合併処理浄化槽の補助金について、まず確認で、この設置の補助金については、これまでも合併処理浄化槽に既にしてしまった方とか、あと、今後新たに新築するときに合併処理浄化槽を設置すると、これは補助金では対象ではないという理解していいですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁。

松本課長。

○環境課長（松本裕介君） おっしゃるとおりです。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 そうすると、今現状で単独処理浄化槽、あるいはくみ取り等の方が対象だと思うんですけど、それはどのぐらいいらっしゃるんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 1,300基ほどいらっしゃいます。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 1,300基あって、今回見ますと、その補助金が120基ということで、1割ほど見込んでいるんですけど、これ、なぜ1割なんですか。これだけ多いと、補助金が、結構やる人も出てくるのかなと思うんですけども、まずどのように周知をして、なぜこれ、1割ほどを見込んで計上してるんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 120基につきましの周知に関しましては、議会で予算をお認めいただいて以降、すぐに各皆様に周知をさせていただきます。

で、120基の試算ですけれども、今後10年程度は実施をさせていただく予定になります。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今度、維持管理のほうで、181ページのほうでお聞きしたいんですけども、まず、今10年ほどというのは、これは維持管理のほうも10年ほど継続する、そういう考えでいいですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 維持管理についても同様に継続する予定でございます。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 これを、資料を見ますと、高齢者世帯は100基、それ以外は1,000基という、1,100基全部で見ることになってはいますが、全体では今現状、これは転換された方じゃなくて、新築とかもう既に合併処理浄化槽にされた方が全て対象ということではないですね。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

松本課長。

○環境課長（松本裕介君） おっしゃるとおりです。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 それで、今そのように合併浄化槽になっている方というのは何世帯、何基あるんですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 今現在合併浄化槽になっていらっしゃる方も同程度、1,300基ほどいらっしゃいます。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかがございますか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 今のところの3つ上、犬猫避妊等手術費の補助金、これ、犬猫の予定は何匹分ですか。あと、補助金はそれぞれ幾らになるんですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

松本課長。

○環境課長（松本裕介君） まず犬が、避妊59頭、去勢51頭、猫が、避妊90頭、去勢67頭の積算、見込みで、犬の避妊が4,500円、去勢が2,200円、猫の避妊が3,600円、去勢が1,800円になります。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございますか。

武谷委員。

○武谷としお委員 187ページの上段のほう、塵芥収集委託料が、これ、2割ぐらい去年から伸びているんですが、これって収集運搬が増えるということでしょうか。お願いします。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 塵芥収集委託につきましては、令和7年度より委託の範囲を拡大する予定でございます。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございますか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今の、委託の範囲で業務が増えるということですかね。どういった業務が増えるんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 今直営で行っていた可燃ごみの収集を委託に加えるということとです。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかがございますか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 そこから179ページの真ん中辺から下、犬猫等の死体処理の委託料なんですけど、157万なんですけど、これ、どのぐらいの処理があったのか、見込みというか、その積算。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 見込み、積算理由でいいですね。

○こんどうのぶお委員 積算理由でいいです。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 240匹、匹というか頭を予定、積算しております。

以上です。

○こんどうのぶお委員 犬猫で分かる……。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） じゃ、もう一回指名しますね。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 すいません。犬猫の区別で分かるんですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

松本課長。

○環境課長（松本裕介君） そのような積算はしておりません。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかがございますか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 予算書の187ページで、先ほどの塵芥収集委託料に戻るんですけれども、直営分を委託にする、これに移行する理由と、あと、これにすることによって、何か市民への影響というのはあるんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 直営を委託にする理由は、直営の作業員が高齢化が進んでおります。そういったところが理由の1つです。それについての市民の方への影響はござい

ません。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 直営を委託にするということなんですけども、直営でどれぐらいかかっていて、費用が、今回3,000万ほどですかね、増えているんですけども、その費用は同じぐらいなのか、増えているのか、どうなんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 直営の費用につきましては、清掃員の人件費ということが主でございますので、おおむね1,000万ぐらい程度です。で、収集によって、こちら、粗大ごみの収集の業務も併せて委託に加えますので、そういったところも踏まえますと、おおむね3,000万ほどの委託が増える予定でございます。

（発言する者あり）

○環境課長（松本裕介君） そうです。

さらに、すいません、もともとの委託についても、やはり物価の上昇等で上がっておりますので、そういうところも加味されております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 同じ187ページの塵芥収集委託料ですけれども、ちょっとよく分からなかった。今まで直営でやっていたやつを全て委託にするんでしょうかね。可燃ごみと、今粗大ごみというようなお話がありましたけれども。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 委託にするのは可燃ごみの一部になります。今直営でやっていた可燃ごみの一部と、粗大ごみの収集に関しては全てになります。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 181ページの合併処理浄化槽に戻るんですけども、まず、資料ナンバー1の5を見ると、少人数の高齢者世帯が高い補助率、維持管理についてですね、補助率になっているんですけども、それはなぜこのようにされたのかということと、あと、実際その維持管理、合併浄化槽の維持管理って幾らかかって、そのうちこれ、どれぐらいの割

合で補助する形になっているのでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

松本課長。

○環境課長（松本裕介君） まず、少人数の高齢者世帯に手厚い理由としましては、水質の改善を図るためと、国の補助がつきますのでそのためでございます。

もう一点が、どのぐらい維持管理でかかっておるかということですが、人槽にもよりますので、4万から5万円程度でございます。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにありませんか。

いとう委員。

○いとうひろし委員 179ページ、下から3行目の……。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） マイク近づけてもらっていいですか。

○いとうひろし委員 179ページの下から3行目の、先ほどの犬猫避妊等の手術費補助金、これは豊明市内での動物病院に限ったことなのか、また、全額だと思うんですが、市外でやった場合は、処置をした場合はありますか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 市内に限らずおります。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 もう一つ、先ほどの合併処理浄化槽で、これだけ維持管理に関して補助をするんですけれども、下水のほうも、今、水道料金等、検討していると思うんですが、そういった引上げ等もある中で、合併処理浄化槽のほうにこれだけ補助をする、してあげるといって、下水道の料金とのバランスで、こっちの合併処理浄化槽のほうが安くなるんじゃないかなと思うんですけれども、その辺りのバランスの検討というのはされているんですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 検討はしております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 どのような検討をされて、どういうふうに費用の比較して、どうだ

ったんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 40年程度で収支が合うような試算をしております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかがございますか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 179ページの環境衛生事業の2番目、環境監視員、これ、何人見えるんですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 2名いらっしゃいます。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかがございますか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 予算書の183ページの公害対策事業の水質等分析調査委託料、この217万8,000円、これはどういったところを調査するのか。また、どのタイミングで年何回ぐらいやるのか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 市内の河川で年2回調査いたします。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかがございますか。

堀内委員。

○堀内ちほ委員 概要の56ページの有機循環推進事業の生ごみ堆肥化促進容器等購入費用補助金が少し増えているんですけど、これって令和5年度から補助されてきていたものかなと思うんですけども、これは購入される方が多かったから増えたということですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 委員のおっしゃるとおりです。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかがございますか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 やっぱり先ほどの40年で収支が合うというところをもうちょっと説明していただきたいんですけども、下水道料金を40年で計算するということと、この合併処理浄化槽の管理補助で、維持管理で補助を出して、市民の方、世帯が支払ったこの合併処理浄化槽の維持費、それを40年をかけて比較するということですかね。そうすると、下水のほうが高くなるような気がするんですけども、どこで収支って合ってくるんですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 転換の補助を受けられて、維持管理の補助も受けられる方の収支を計算して40年としております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 下水道も新築でやると接続の費用等もかかるんですけども、それと今までの下水道の費用を40年かけると、下水道のほうが高くなるような気がするんですけども。そんなことない。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

じゃ、松本課長、分かりやすく説明してください。恐らく、下水の場合と浄化槽でやった場合のどっちがメリットというか、市民負担が大きくなるのかというところを今問われていると思いますので。

松本課長。

○環境課長（松本裕介君） やはり40年経過すると、かかる費用が同じになるということになります。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 じゃ、それなら、合併処理浄化槽の、じゃ、設置のときにかかる市民の負担の費用が幾らで、40年間でどれぐらい維持費でかかっているのか。それと下水の接続の費用と、下水で40年間払ったらどれぐらいかかるかという、この4つの金額を教えてください分かりますと思うんですけど。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

松本課長。

○環境課長（松本裕介君） あくまでも試算になりますので御了承ください。

ざっと、設置費の補助が110万円ほど補助があったと仮定して、維持管理の補助も受けた

と仮定して、下水だと229万円で浄化槽ですと219万円。すいません、全く同じではございませんので。下水だと229万円、そうです、40年。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） いわゆるランニングコストが云々も含めてということですよ。

○環境課長（松本裕介君） そうです。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） じゃ、三浦委員。

○三浦桂司委員 下水は、沓掛地区以外、市街化区域内は下水につなげないといけないと。市街化調整区域は、これ、調整区域だけの話を言っているんですね、これ。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

松本課長。

○環境課長（松本裕介君） おっしゃるとおりです。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 今のは下水道料金と合併処理浄化槽の維持費かなと思うんですけど、接続も、下水の接続の費用と合併処理の転換するときの費用等は幾らになっていますか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 全て含んで試算をしております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 清水委員。

○清水義昭委員 全て含んでというのは、市街化区域にお住まいの方がお支払いする都市計画税も含めて、全て含んでという意味でよろしいですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 松本課長。

○環境課長（松本裕介君） すいません、下水道の受益者負担金であるとか、接続の工事費であるとかと浄化槽の転換の費用を全て比較してということになります。ですので、市街化区域の方の分ということではございません。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 その接続の費用と維持管理の費用を分けて教えていただきたいんですけど。先ほど229と219を教えてくださいましたけども、それを接続と維持費とを分けてほしいんですけど。分からない。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

松本課長。

○環境課長（松本裕介君） すいません、手元にございません。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございせんか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 先ほど質問しました水質、183ページ、予算書の183ページの水質等分析調査の委託料ですけど、ここ、河川、市内河川2か所、2つとおっしゃいましたけど、どことどこの川ですか。年2回だけど、2つのところってお聞きしたんですけど、河川。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 松本課長。

○環境課長（松本裕介君） すいません、私の答弁が分かりにくくて申し訳ございません。

年2回測定で、河川は8か所で、すいません、ため池であるとか排水路もございます。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございせんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 175ページの上の保健衛生費のところですけども、まずは一番上の予防接種の健康被害の委員報酬が減っているんですけども、その被害の件数の今状況と、これ、減ってきているから減らしたということなんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

川原課長。

○健康推進課長（川原静恵君） 相談件数も含めて減っているという認識は思っております。この減額にした部分ですけども、件数ということではなく、進達の状況によって、1回に行う回数を、過去の実績を見て2回で賄えるということで計上しております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございせんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 どれぐらいの件数が今見込みで来ているのかなということと、あと、その下のところに予防接種の健康被害の給付費というのがあるんですけども、これは昨年度と同額になっているんですけど、これも今まで支給実績がどのぐらいあるんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

川原課長。

○健康推進課長（川原静恵君） 健康被害の給付費は令和5年度から同じ額で上げております。これにつきましては、令和4年の10月までの進達人数で上げております。実績につ

きまして、今までは4件の給付をしておりまして、予算の範囲内で現在のところはなっておりますが、状況によっては補正をお願いすることもあると思います。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 175ページ、そのページで、下から6ぐらいですね、子育てアプリっていうのがあるんですけど、これ、どういった情報が見れるんですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君） 様々な市のイベント情報を流しておりますのと、あとは予防接種のスケジュールが立てられるようになっていたりですとか、母子保健事業の御紹介ができております。あと、施設案内などもしているアプリとなっております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 予算書の67ページの一番下、環境衛生費補助金の下のほう、住宅用地球温暖化対策設備導入促進費補助金で2分の1と8分の1があるんですが、詳しく説明してください。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 令和7年度に、今までのV2Hに加え、蓄電池の補助を対象に加える予定でございます。蓄電池のほうが補助が手厚いということでございます。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 先ほどの予防接種の健康被害の給付費のところですけども、4件という話がありましたけども、金額の実績はどのぐらいなのでしょう。で、この378万8,000円で足りる状況なんですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

川原課長。

○健康推進課長（川原静恵君） 繰り返しますが。

（ちょっと聞こえにくいの声あり）

○健康推進課長（川原静恵君） すいません。

繰り返しとなりますが、こちらの給付のほうの計上につきましては、令和5年度と同じ金額を上げております。実績なんですけども、令和5年度と、6年度はまだ実績が出ておりませんが、見込みですとこの予算の中で、予算を超えることなく給付ができる状況になっております。ただし、国の結果の通知によっては、この金額を超えることも考えられますので、そのときにつきましては補正などで、計上で認めさせていただくことになると思います。なることを想定しております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 合併処理浄化槽のところに戻って申し訳ないんですけど、資料ナンバー6の⑤、資料ナンバー6の⑤の裏面の76番を見ると、合併処理浄化槽設置補助事業に対して、国・県のほうの支出金が50%ないぐらい充たってくるかと思うんですけど、まずこの数字に間違いがないかをお願いします。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 間違いございません。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 ということは、50%に満たないぐらいのものが国、県から支給されるというか、補助が充たるみたいな形だと思うんですけど、これが下水道の整備関係の住民説明会をやったときの2回目の資料に配付されてた資料の中に、検討審議会だったかな、名前忘れちゃったけど、から答申を受けましたという資料がついていました。本来は市のほうは9億円、合併処理浄化槽に補助するために必要なんだけど、国や県からお金を頂くことで市の負担は4億円になるというふうで、9億から4億になるという紙が配られているんですね。これはどういうことなのか説明してください。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 浄化槽の国の補助につきましては、浄化槽の促進区域ということ指定させていただきますと、従前の3分の1から2分の1に補助率が上がります。こちらについては2分の1に上がった想定でおつくりしたのになります。

で、その説明会のときの9億ということですかね、につきましては、この補助のかさ上げもございますので、下水道よりは浄化槽のほうが市費の持ち出しは少ないということになります。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 179ページの真ん中からちょっと下かな、草刈り機整備等委託料なんですけど、これ、草刈り機は何台あるんでしょうか。あと、整備は年何回するんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 草刈り機は9台ございます。整備につきましては、お貸しした都度、見させていただいています。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 177ページの上の子育て予防接種の予防接種委託料と一番下の成人予防接種の予防接種委託料ですけども、これはまた補正予算で見込みよりもかなり少なかったということで、基金を取り下げてという対応をしていると思うんですけども、来年度もこれぐらい接種する見込みなのか、どういうふうに積算をされていますか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君） 子育て予防接種事業のほうの予防接種委託料でございますけれども、こちらは7年度は福祉基金を充てていない状況になっております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 合併処理浄化槽の件ですけども、補助の対象になる……。

（発言する者あり）

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） そうなの。終わり、途中。

お願いします。成人のほうね。

○子育て支援課長（松村清子君） 成人の予防接種につきまして、回答いたします。

コロナの定期につきましては、令和6年度につきましては60%補正で30%とさせていただきますが、こちらにつきましては20%の接種率を見込んでおります。

带状疱疹ワクチンにつきましては、今年度当初で定期という形で、対象者の20%の接種率を見込んで計上しております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかがございますか。

清水委員。

○清水義昭委員 合併処理浄化槽の件で、申し訳ないです。

新設の補助と、新設というか、合併処理浄化槽の設置の補助と、それと維持に係る補助というのは、確認ですけど、市街化区域の方と農排の地域の方を除くということでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 委員のおっしゃるとおりです。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかに。

清水委員。

○清水義昭委員 勅使台団地はどうなりますか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 対象にはなりません。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 清水委員。

○清水義昭委員 市街化区域の方と農排の方が対象じゃないということではなくて、さらに勅使台団地の方も対象ではないということですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

松本課長。

○環境課長（松本裕介君） そのとおりです。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 清水委員。

○清水義昭委員 説明会のときの資料には、市街化区域と旧農排の方を除く地域というふうに、対象地域、書かれているんですよね。それはどういうことなんですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 勅使台に関しても、一度農排につないでございますので、扱いとしては農排ということになります。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 郷右近委員。

○郷右近 修委員 当初予算の概要、ページは55ページで、公害対策事業の自動車騒音常時監視等業務委託料の減額があるんですが、この減額の理由を教えてください。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 今年度計上しております騒音であるとか悪臭であるとかのスポット的な委託が計上されておられません。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかがございませんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 今のところの場所とか何か所というのはどうですか。分かりますか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 自動車等騒音の場所ということでよかったでしょうか。すいません。

○こんどうのぶお委員 監視場所というんですか、何か所か。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 3か所で、国道1号、23号の側道、瀬戸大府の3か所です。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 175ページの一番下の妊婦のための支援給付金についてですけども、まず、来年度からこういった形で支援給付金が変わるということなんですが、なぜ出産・子育て応援交付金のほうはまだこの400万、残っているのかということと、あと、妊婦のための支援給付金という内容、これは今までの出産・子育て応援交付金と同じ要件で、金額も同じというふうに理解していいですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君） 新たな妊婦のための支援給付金につきましては、4月以降に出生されたお子さんが対象になるということから、令和6年度中、この3月31日までに生まれたお子さんは新たな制度の対象外となります。そのため80人分、80人分掛ける5万円、400万円を出産・子育て応援給付金で計上をさせていただいております。

新たな制度は出産・子育て応援交付金よりも一部拡充される部分がございます、生まれた子どもの数ではなくて胎児の数で支給ができる、給付を行うということになりますので、例えば死産、流産、人工妊娠中絶も含めてなんですけれども、その場合でもその時点から給付ができるというところが違う点になっております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかがございますか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 先ほど伺った騒音常時監視の減額の理由のスポット計測の金額も、令和7年度は計上していないということの理由は、じゃ、何か。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

松本課長。

○環境課長（松本裕介君） そういった測定が必要な事態になりましたらば、補正予算をお認めいただいて測定をさせていただくということになります。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかがございますか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 179ページの環境衛生事業の真ん中から下の辺、有害鳥獣駆除委託料なんです、これは対象の動物は何になるんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 有害鳥獣ですので、ハクビシンであるとかアライグマであるとか、そういった動物になります。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 それで、ハクビシンとかそういうのを、いたら捕まえてもらえるという、駆除してもらう、それでいいんですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

松本課長。

○環境課長（松本裕介君） わなを仕掛けさせていただいて、で、捕獲する、その委託になります。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 駆除費はどうなるんですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 含んでございます。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 予算書185ページの東部知多衛生組合の負担金ですけども、これ、若干下がっています。で、補正予算でも返金といいますか、減額があったんですけども、資料ナンバーの4の10を頂いていますので、ちょっとそれに基づいて、どういう点で今回は少しだけ、300万ぐらいですかね、下がっている理由をちょっと説明していただければと思います。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

松本課長。

○環境課長（松本裕介君） まず、東部知多の予算の総額が昨年度と比べて減額されております。その要因は、昨年度、浄化センターの破砕設備の工事が2億円ほど計上されましたので、それがないということが減額の要因になります。それに基づいて市の負担金下がっておるということになります。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 それが、この資料ナンバー4の10で、どこにそういうのが分かるように書いてあるのかなというのをちょっと確認したいんですけど。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 投資的経費のし尿関係、こちらの全体の額が下がっておるということで、豊明市の負担金も下がっておるということです。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 187ページ真ん中辺の3番、有機循環推進事業、これの生ごみ堆肥化促進容器購入補助金ですね、これは何件分を積算していますか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 全部で92器ほどを試算しております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかがございませんか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 予算書179ページの環境衛生事業の説明欄の専用水道等立入検査補助等業務委託料9万円ってあるんですが、この専用水道というのは、これ、どこのことを指すのでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 3か所ございます。藤田医科大学、こころケア、豊明苑。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 3か所でいいんじゃない。

○環境課長（松本裕介君） 3か所、以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 資料ナンバー5の1で、ごみの収集量とプラスチックの収集量を出していただきましたけども、プラスチックの収集量、回収量で見ると、5年度、6年度とほぼ変わらないか、少し減しているかなというところですけども、予算書の185ページを見ますと、資源回収委託料が9,500万あるんですけど、これ、少し増えているんですけども、なぜ収集量が減って、少しずつですけど減ってきているのに、こっちの委託料のほうは増額になるんですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 人件費の増によります。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 浅井委員。

○浅井たかお委員 予算書の183ページ、公害対策事業のところですけど、環境測定局保守点検業務委託料154万円、すいません、215万4,000円ですけど、これはどこにあるんですか、

このポイントはどこですかね。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 松本課長。

○環境課長（松本裕介君） こちら、星城高校のそばで、23号の側道のあたりにございます。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 浅井委員。

○浅井たかお委員 この点検の頻度というのは年間どれぐらいですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 毎月点検をやっていただいています。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかがございませんか。

（進行の声あり）

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） これにて、4款 衛生費の質疑を終わります。

ここで、理事者側の説明者の入替えのため、暫時休憩といたします。

午後4時31分休憩

午後4時37分再開

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 休憩を解き、休憩前に引き続き会議を進めます。

続いて、5款 労働費について説明をお願いします。

塚谷産業支援課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） それでは、5款 労働費の歳出から御説明いたします。

予算書188ページ、189ページをお願いします。

上段、5款1項1目 労働諸費は、前年度比9万5,000円の増額です。主な理由は、従前の移住支援金に加え、東京圏から市内の企業に就職した場合、就職活動にかかった経費、これは交通費ですが、これの一部を助成する地方就職支援金が創設されたことによるものです。対象は卒業見込みの大学生で、往復交通費の2分の1以内の経費となります。

次に、歳入の御説明をさせていただきます。

68ページ、69ページをお願いいたします。

中段より少し下です。15款2項4目 労働費県補助金、説明欄、首都圏人材確保支援事業費補助金は、先ほどの歳出、移住支援金及び地方就職支援金に対する県からの補助金です。

以上で説明を終わります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 説明は終わりました。

5 款 労働費の質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 毎年言っていますが、先ほど説明があった移住支援金が、昨年 9 月の決算では実績ないということで、まだやるんですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） 制度がある以上は、豊明市としても引き続き計上してまいります。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 職業訓練校の事業協力金というのは、これ、職業訓練校は、これはどこか指定があるんですか。どっかの職業訓練校で、全ての職業訓練校を指しているのか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） これは職業訓練法人の愛知県建設職業訓練協議会というところに限ります。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかに。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 移住支援の実績がないということで、その辺の P R の工夫とか、そういうことをされているんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） これ、P R につきましては、東京圏からの移住でございますので、東京で行うことが重要でございます。で、あいち U I J ターン支援センターという、これ、東京事務所がございますので、そこで P R をしているということと、あと、東京の大学を訪問して P R して、ここで、ごめんなさい、東京の大学を訪問して P R もしております。

以上です。

○予算特別委員長（鶴飼貞雄議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○予算特別委員長（鶴飼貞雄議員） これにて、5款 労働費の質疑を終わります。

続いて、6款 農林水産業費について、順次説明を願います。

加藤農業政策課長。

○農業政策課長（加藤直美君） それでは、農業政策課所管分について、主なものを歳出から御説明します。

予算書188、189ページをお開きください。

中段、6款1項1目 農業委員会費は、前年度比100万6,000円の減額です。主な減額理由は、農地関連システムを令和7年度より国システムに一本化とし、今まで使用していた市単独システムのライセンス使用料等が減額したことによるものです。

予算書196、197ページをお開きください。

上段、6款1項6目 地域農政推進対策事業費は、前年度比511万4,000円の増額です。主な増額理由は、右側説明欄一番下、農業振興地域整備計画策定委託料をはじめ、予算書13ページ、第3表 債務負担行為の2段目にも記載されております本市農業振興地域整備計画策定業務を、令和7年度から9年度の3か年をかけて実施するためでございます。

続きまして、歳入を御説明しますので、予算書70、71ページをお開きください。

最上段、15款2項5目 農林水産業費県補助金の右側説明欄、農地利用最適化交付金は、農業委員会委員等報酬のうち、年額加算分報酬をはじめとした農地利用最適化活動の財源となるものです。

その下、新規就農者育成総合対策経営開始資金補助金は、新規就農者の経営開始を支援する補助金の財源になるものです。

以上で説明を終わります。

○予算特別委員長（鶴飼貞雄議員） 続いて、外山土木課長。

○土木課長（外山紀元君） 続きまして、土木課が所管するものにつきまして、歳出から御説明いたします。

予算書、194、195ページをお開きください。

6款1項5目 農地費の主なものは、土地改良事業の右側説明欄、中段やや上の排水機場管理委託料は、排水機場等監視操作事業の実施などにより819万2,000円を計上しております。

2行下、農業土木工事費は、土地改良施設の改修工事等の実施により1,082万3,000円を計上しております。

説明欄の中段のやや下、県営土地改良施設耐震対策事業等負担金は、県営事業による皿池、洞洼洞池などのため池改修工事を行うための負担金で2,178万円を計上しております。

説明欄最下段の県営たん水防除事業負担金は、大久伝排水機場の更新事業に伴う愛知県への負担金で1,260万7,000円を計上しております。

次に、歳入を御説明いたします。

予算書68、69ページを御覧ください。

15款2項5目 農林水産業費県補助金の農業費補助金、右側説明欄3行目の土地改良事業費補助金454万8,000円は、排水機場の点検管理等に係る維持管理費に対する補助となります。

5行目、農業農村多面的機能支払事業補助金457万8,000円は、農業、農村の有する多面的機能の維持発揮を図るため、地域の共同活動を実施している勅使池環境保全の会への補助金に対して、国、県から4分の3が補助されるものです。

続きまして、96ページ、97ページをお開きください。

21款1項2目 農林水産債の土地改良事業債、右側説明欄、土地改良施設耐震対策事業1,940万円は、県営事業による皿池、洞洼洞池、大原池の耐震対策等事業に伴う負担金に対する市債でございます。充当率は90％です。

最後になりますが、1ページおめくりください。

98、99ページの右側説明欄、湛水防除事業1,130万円は、県営事業による大久伝排水機場更新に伴う負担金に対する市債でございます。充当率は90％です。

以上で説明を終わります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 説明は終わりました。

6款 農林水産業費の質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 93ページの農業振興事業の中の真ん中あたりで、193ページです、予算書、真ん中あたりで、農業者育成支援補助金の50万円と新規就農者の育成総合対策の資金補助ということですが、これ、どのような補助なのかということと、あと、その対象者というのがあるのでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） まず、新規就農者育成総合対策経営開始資金補助金ですが、これは令和5年度に就農された方が対象となっております、今年で、ごめん

なさい、令和7年度で3年目の補助となっております。

あと、農業者育成支援補助金でございますけれども、こちらはJ Aさんが産直施設の隣接地で研修農園を来年度開園する予定でございますので、そちらに対する補助となります。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 まず、新規就農者のほうは、なので、これ、1件が継続してあるということなのかということと、あと、上の農業者の育成支援の補助金というのは、これはJ Aさんに対して補助する、それともそこを利用する方に補助するのか、どういうふうなんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） まず、新規就農者の補助金ですけれども、対象者はお1人でございます。

あと、農業者育成支援補助金でございますけれども、こちらの補助対象者はJ Aさんでございます。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 今のページの上から4つ目なんですけど、有害鳥獣駆除委託料がありまして、先ほども環境のところであったんですけど、それとの違いというか、場所が違うのか、何が違うんですかね。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） まず、こちらは農作物被害防止のために、豊明猟友会さんに4・5月と9月と10月の4か月にわたって、鳥獣駆除のほうを行っていただいております。こちらが環境課とやるものが違うということになります。あとは、わなの設置ということで、こちらに関しましては環境課と同じような委託となっております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 戻ります。予算書193ページの農業者育成支援補助金についてなん

ですけれども、この補助金を始めようとするその背景というか理由、要因と、これをする
ことによるどういう効果を狙って始めるのかということ、あと、これ、何年間かその計画
があるんでしょうか。お願いします。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） こちらの研修農園なんですけれども、これは農業者を育
成するための研修農園となっております。ただ、ほかに新規就農者を育てるための研修補
助、あと新規作物とか、今、地球温暖化で、今までどおりの作物をつくることができなく
なっているものですから、そういった栽培形態を実施するための試験補助だとか、親
子で体験農業をしていただくことで、農業者、農業に対する理解を皆様に広く知ってい
ただくということで、私どもがJAさんのこの施設に対して継続的に、こういった農園が続
けていけるような形で補助をするということになっております。何年かというのは、継続
的ということなんですけれども、取りあえず3年間は同じスキームで補助を続けていきたく
て、その後、検討というか、効果とか実績とか、そういったことを検討していくという
ふうに考えております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかがございますか。

三浦委員。

○三浦桂司委員 今のところ、結局はJAにお願いして、研修が目的なのか、農業者就労
が目的なのか、どちらを目的として、これ、補助金出していますか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） こちらは、どちらというよりは、両方あるというふうに
御理解いただきたいと思います。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 本件に関して、関連はありませんか。

ないですね。いきましょう。

中堀委員。

○中堀りゅういち委員 予算書の188、189、6款1項1目 農業委員会費なんですけど、
先ほど説明の中で、これ、100万6,000円が今回マイナスでしたということで、豊明市が独
自で何か活動されていたシステムが全国的に何かつながったとかというふうに聞いたん
ですが、それ、ちょっと、もうちょっとゆっくり詳しく教えていただくと、その差額にな

った部分を何か目視で、今我々のある資料の中で見れるような資料の部分があれば、そこ
も示していただければと思います。お願いします。

○予算特別委員長（鶴飼貞雄議員） 答弁願います。

加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） まず、資料で目視できるかということに関しましては、
完全に項目がなくなっているのです、今お示しできるような資料はございません。

あと、システムの関係なんですけれども、農業委員会が所掌します農地の情報、それと
農家の情報、あと併せて水田情報のほうを、システムで管理していたんですけれども、こ
れは全国統一のシステムではなくて、豊明市のほうがシステムを導入していたということ
なんですけれども、3年ぐらい前から国のシステムに移行するようにということで国のほ
うが強力に進めてきたものですから、それを踏まえて段階的に国のシステムに移行して、
令和7年度からは完全に国のシステムに一本化したということになっております。

以上です。

○予算特別委員長（鶴飼貞雄議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 同じところですか。

タブレット端末はもう既に昨年度購入でやっているんですが、それによって、今回ここ
に上がっている印刷製本費だとか通信運搬費だとか、何か効果というのはここで出てきて
いるんでしょうか。

○予算特別委員長（鶴飼貞雄議員） 答弁願います。

加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） タブレット端末と通信運搬費との関係性ですけれども、
タブレット端末を導入したことによって月々費用がかかってきますので、そういったこと
でございます。効果につきましては、農業委員会の委員さん全員に今回配置ができました
ので、日々の農地の見守り時に、現地情報、農地の情報はナビとかでは案内できないもの
ですから、そういったことをタブレットで見ていただいて、どこの地番でどういうことにな
っているかということ、情報が知ることができるということで、適正な農地管理につ
ながっているというふうに捉えております。

以上です。

○予算特別委員長（鶴飼貞雄議員） 中堀委員。

○中堀りゅういち委員 今、国に強く推されてたシステムを今使っているということで、
このシステム名だけ教えてください。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） 農業委員会サポートシステムとなります。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかがございますか。

三浦委員。

○三浦桂司委員 今、189ページ、農業委員会等報酬ということで128万5,000円増えているんですけど、農業委員会、今、農業委員と農地適正化推進委員がいますけれども、その人数と、このアップ分というのは報酬のアップ分ですかね。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） まず、農業委員会委員さんが現在10名です。農地利用最適化推進員さんは6名となっております。アップ分につきましては年額加算報酬分のアップということで、こちらは令和6年度の12月補正で計上した額の合算分、令和6年度の当初予算と12月補正でアップした分が、7年度の当初予算というふうに御理解いただければと思います。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかがございますか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 概要で、ページ数は58ページで、畜産事業の防疫と、それから環境衛生のそれぞれが大幅、大幅減額してもととの金額がそんな大きくないですけど、これはどういう状況か教えてください。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） こちらは、まず家畜防疫対策事業の補助金は、鳥インフルエンザの対策の予防接種費の補助でございます。畜産環境衛生促進事業補助金につきましては鶏舎の消毒になります。

現在、養鶏農家さんはお1人で、高齢になられているものですから、あと、鳥の数も増やすことなく現状維持というか、だんだん少なくなっていくということで、実績とか鑑みてこちらの金額になっております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 郷右近委員。

○郷右近 修委員 今のお話を聞いてなんですけど、そういう意味では、むしろ今の世の中の状況でいえば、この分野は大事かもしれないけど、このまち的にはこんな感じだという意味合いなんですかね、要は。ほとんど頭出しみたいな金額の形に見えるものですから。と思ったんですけど。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） 委員のおっしゃるとおり、こちらは実績に応じた形、現在は1名の方が養鶏農家だということの現実でございます。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

いとう委員。

○いとうひろし委員 概要の58ページの事業名が、一番上の段のほうの、これ、事業名が書いてないな、前か、農業推進事業の58ページの下から4行目、豊明産農産物重点品目支援補助金、これは重点品目は今何があるんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） こちらは、品目につきましては、毎年JAさんと協議を進めるということになりますので、令和7年度につきましてはまだ未定でございますが、今年度のことでいきますと、白菜、カリフラワー、ブロッコリーなど、8品目が重点品目で指定されております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 195ページの土地改良事業の真ん中から少し下、大府市排水機場負担金と、そこから五、六個下の境川堰管理費負担金がそれぞれ倍増しているんですが、これ、どういったふうで負担金が決まってくるんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） まず、大府市排水機場負担金ですが、大府市との協定によりまして、豊明市の負担が33.12%となっております。7年度には大府市のほうで防災機能強化の工事をするということで、負担金額が決定しております。

境川堰のほうは境川に係る刈谷市と豊明市の共同の施設でありまして、これも2分の1

の負担、これもといいますか、これは刈谷市と豊明市で2分の1ずつ負担する形になっております。大分老朽化が進んで修繕が必要になっておりますので、負担額、ちょっと増えておりますが、このような額に決定しております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかがございますか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今、大府市のほうなんですけども、先ほど防災強化でというふうな説明がありましたが、排水の機能が増えるのか、どういうふうに、どのような防災強化をされるんですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 強化事業であります、やることとしましては減速機、減速機ですね、トルクを増やすような減速機ですが、これを更新するということで、現状の機能を回復するという形の更新だと聞いております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかがございますか。

三浦委員。

○三浦桂司委員 概要で見て58ページ、土地改良事業のところの一番下のところの県営たん水防除事業負担金1,260万7,000円、これ、大久伝排水機場なんです、これ、総事業費、これ、何十億とかかっていると思うんですけども、豊明市の負担率と今までの負担金額とか、これは今年度で多分終わると思うんですけども、これ、分かりますか。手元に資料なかったら、後で聞きに行きますけど。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） まず、市の負担割合は13%でございます。8年度までの県の総事業費の予定は24億6,800万で、13%を掛けますと市の負担としましては3億2,000万程度。ちなみに、30年から令和5年までの市の負担済額は約2億円、2億566万円ほどでございます。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございますか。いいですか。

三浦委員。

○三浦桂司委員 ここで、7年度で終わりかと言ったんですけど。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 外山課長。

○土木課長（外山紀元君） すいません。7年度、若干、機械工、それから解体工、撤去工というのが入ってくるんですけど、7年度の早期には新排水機場が稼働できるように移管を受ける予定でおります。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかがございますか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 189ページの一番下の農業総務人件費で、一般職級が1人増えてると思うんですけど、これの増えた理由はどうなんですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） こちらは予算配置上の仮配置人員と確認しております。現在の農業政策課の職員は正規職員8名おりますので、こちらのほうが採用されたと想定しております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかがございますか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 195ページの真ん中よりちょっと下の県営土地改良施設耐震対策事業等負担金の2,100万と、その1つ飛ばして下の土地改良施設維持管理適正化事業負担金、この負担割合と進捗状況、どこのところの工事を進めているのか、お願いします。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） まず、県営土地改良施設耐震対策事業の負担金は、皿池と洞洼池と大原池の県営事業に対する負担金です。負担額は市が16%、大原池のみ市の11%の負担となっております。

その下の土地改良事業維持管理適正化事業ですが、負担金です。こちらは、内容としましては、阿野排水機場の遊水池、それから大脇排水機場の遊水池のしゅんせつをやるもの、実施するものですが、5年間にわたり県の土地改良連合会に賦課金というのを払って、3年目に工事を実施するという事業で、負担額というのはございませんが、3年目の工事の際には、工事費に対して補助が90%ほどつく形になっております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございますか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 資料ナンバー２の④の農業土木工事費の中の２番目にため池施設の整備というふうにあるんですけども、今、県営の土地改良のほうは皿池とか洞洼洞池、大洞池と聞いたんですけど、こっちのため池のほうはどういった工事になりますか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） こちらは経常的に上げさせていただいている、想定外で私どもが管理する土地改良施設でため池の改修が必要になったときに、単独で発注するような経常的な費用でございます。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 予算書197ページの地域農政推進対策事業の欄で、新規で、これ、ついているんですけど、農業振興地域整備計画策定委託料409万6,000円、これはどういう内容の計画なのか。それから、これはどこが、計画のこれを、委託を受けているのでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） まだ委託先は決まっておりません。

まず、この計画なんですけれども、農業振興地域の整備に関する法律に基づきまして、こちらは市町村の役割がございます。こちらは、市の役割としましては、県が指定します農業振興地域において、農業振興地域整備計画と併せて農用地区域を指定するものでございます。そうした計画の初年度に当たるということでございます。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今の農業振興地域整備計画です。今までいろいろ地域の、各地域でいろいろ意見交換をしながら聞いていると思うんですけども、どういった意見があって、どういう計画になりそうかって分かりますか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） 今、林委員がおっしゃられているのは地域計画の話ということになりますので、こちらの農業振興地域整備計画はそれと連動はするものの、違う

計画でございますので、違う法律にのっとって計画を策定していくものですから、ちょっとそちらとは違うというか、そちらのほうを全て入れるというわけではございません。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかに。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 それなら、今つくっているその地域計画と、どういうふうにこの整備計画というのは連動されていくんでしょうか。全く違う、何か関係はしているんですよね。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） こちらの農業振興地域整備計画は、地域計画だけではなくて、県の農業振興地域整備基本方針に適合して、市の上位計画であります市の総合計画、土地利用計画、あと都市計画など、自ら策定した計画と調和が保たれたものでなければならぬというふうに県の基準に明文化してあります。ですので、それと併せて、地域計画も調和を保つということでは連動しているというふうになっておりますけれども、具体的にどれがどういうふうになるかというのは、まだこれからのごとでございます。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 197ページの林務事務事業の、この林務団体の負担金の1万円なんですけど、これはどういう団体なんでしょう。いつも、前年度も1万円なんですけど、これはどういう団体で、どういうことをやっているところでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） こちらのほうは愛知県森林協会への負担金となっております。

どうしてこちらのほうの負担金が必要かと言いますと、豊明市には民有林がございますので、そちらのほうに協会のほうから民有林の団体は出さなければならないというふうになっておりますので、出しております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 民有林というのは2つあるんですけど、その民有林というのは市が管理しているというところですよ。「私」の有林と、市町村が持っているのを含めて民有林って、ちょっと私、調べたんですけど、この……。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） じゃ、そこで答弁願います。

加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） これは所有者に関わらず、県が指定します地域対象民有林というゾーニングで指定されておりますので、所有者は豊明市であるかもしれませんが、一般の方ということもあるかと思います。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかに。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 191ページの農業総務事務事業の下から2つ目、農村生活アドバイザー協会負担金で、こういったアドバイザーの協会で、豊明市に対してこういったアドバイスをするっていう、そういうこと、中身、教えてください。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） こちらの農村生活アドバイザーは県の認定制度で、女性農業者の方で、ある一定の条件によって県が認定するものでございます。そちらの方が現在豊明市は3名見えますので、その負担金でございます。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 195ページの一番上の排水機維持管理業務で、これ、会計年度さんだと思んですけど、が減っています。で、これ、委託に切り替えたということを聞いたんですけども、真ん中よりちょっと上のところの排水機場管理委託料、これも、これが400万ぐらい増えているんですけども、これ、会計年度さんをやめた分を、これ、委託料にしてこういうふうに増えたという、そういう理解でいいですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 外山課長。

○土木課長（外山紀元君） おっしゃるとおりでございます。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 そうすると、会計年度さんが130万ぐらい減していて、委託料自体

は400万増えているんですけど、これ、費用としてはすごい増えているんですけども、このあたりはどうしてですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 会計年度さんといひましても地元の太分高齢な方で、もう体的にも厳しいということで、危険でもありますので、災害時にそのような人に出ていただくのをやめる決断をしまして委託に移行しております。諸費用はかかっておりますが、しっかり面倒見てくれるということで委託に切り替えました。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございせんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 2款か、農村環境改善センター管理事業の中の改善センター機械保守ってあるんですけど、これ、どういった機械を保守しているんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） まず空調設備、あと消防設備、あと電気工作物、あと自動ドアの保守となっております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございせんか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 予算書193ページの上から9番目の米生産調整推進対策奨励費補助金ってあるんですけど、305万4,000円。これは具体的にはどういったことの補助金でしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） こちらは、米のいわゆる生産調整に対する協力の補助となっております。主食用米以外で何かつくられた場合に補助するものでございます。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございせんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 今の上のところの市民菜園管理委託料があるんですけど、市民菜園はこれから増やしていくような、そういう方向なんですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） 今のところ、そういう想定はしておりません。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 この今の説明、私の質問の米生産のところで、今、食用米以外のものをつくったらということでおっしゃいましたよね。それで、これは、要は飼料用のお米とか、そういったものなのか、それか麦とか全然違うものなのか、田んぼに限られたものなのか、どうなんでしょう、これは。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） まず、こちらは田んぼに限ったことでございます。主食用米以外というのは、主食用米はその年に作られたものをその年に販売するお米でございます。それ以外のものと加工用米だとか飼料用米、麦とか、そういったものもございます。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 令和6年のときはイベントバス運行業務委託というので15万2,000円あったんですけど、7年度はないんですが、これはイベントがなくなったという、そういうことでしょうか。前のイベントはどんなものだったか、もし分かれば今回……。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 前年の予算と当年、今年の予算案を比較するのは、これはナンセンスだというふうに、1年前にその話、委員会でしましたよね。決算ベースでもし比較するなら別ですけども。

一応、じゃ、念のために答弁願います。

加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） こちらは令和6年度にオープンしましたJAの産地直売所施設のオープン時に限定して、3日間で走らせたものでございますので、令和7年度はございません。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

(進行の声あり)

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） これにて、6款 農林水産業費の質疑を終わります。
続いて、7款 商工費について説明をお願いします。

塚谷産業支援課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） それでは、7款 商工費の主な歳出から御説明いたします。

予算書198ページ、199ページをお願いします。

上段、7款1項1目 商工総務費は前年度比75万3,000円の増額で、主な理由は商工人件費の増額です。

最下段、2目 商工振興費は前年度比5,315万7,000円の減額で、主な理由は、令和7年度、来年度の予算は市内企業が工場を新たに立地する際に交付する企業再投資促進補助金の計上がないことによるものです。

1ページおめくりいただき、200、201ページをお願いいたします。

上段の商工振興費の説明欄、一番下のとよあけ事業者応援選べる補助金につきましては、市内の小規模、失礼いたしました、市小規模企業振興基本条例に基づく事業者支援のための新規の補助制度として200万円を計上しております。なお、資料ナンバー2の⑤にて資料請求もされております。

続きまして、中段3目 観光費につきましては、前年度ほぼ同額となっております。

最下段、4目 消費者行政推進費は前年度比22万6,000円の減額で、主な理由は啓発用品等の事業費を精査したことによるものです。

次は歳入でございます。80ページ、81ページをお願いいたします。

中段、17款 寄附金、1項 寄附金、1目 一般寄附金のうち、ふるさと豊明応援寄附金は、三崎水辺公園整備費100万円のクラウドファンディングを合わせ、2,100万円を見込みます。

以上で7款 商工費の説明を終わります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 説明は終わりました。

7款 商工費の質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 予算書201ページの真ん中よりちょっと上、とよあけ事業者応援選べる補助金の200万についてで、資料ナンバー2の⑤を、ありがとうございます。これ、見ますと、1ページめくると、区分で4区分あります。雇用確保と人材育成、販路拡大と経

営革新ですね。これ、なぜこういった4種類を選んで、メニューとして選んで出されたんでしょう。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） こちらは、ちょっとお待ちください。

こちらにつきましては、4つの項目をなぜということだと思うんですけど、令和5年度に商工会に対して行った事業者アンケートの結果であるとか、あと、事業者アンケートの結果から、市が重視すべき施策として回答の多かった項目や、さらに、あと他市町の補助制度等を参考に、この4項目に決定いたしました。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 201ページ、その上から2番目ですか、地域経済活性化事業費補助金、これはどのような事業でしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） こちらは商工会への委託事業になるんですが、軽トラ市であるとか、あとは年末の謝恩事業、あとは雇用対策事業ということで、職業紹介を行っていただいております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 軽トラ市だけの予算って分かりますか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

○産業支援課長（塚谷友昭君） 軽トラ市だけの予算ですか。ちょっとお待ちください。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） しばらくお待ちください。

お願いします。

○産業支援課長（塚谷友昭君） 軽トラ市はうち40万円ということになっております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

岡島委員。

○岡島ゆみこ委員 201ページの応援、とよあけ事業者応援選べる補助金なんですが、どのような手段で広報される予定ですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） 広報につきましては、毎年事業者支援ガイドというものを作成しまして、商工会を通じて市内事業者の方にお配りしておりますので、そこに掲載をすることを考えております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 同じく201ページのとよあけ事業者応援選べる補助金ですけども、これは対象になるのは個人事業主さんも対象になるんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） 個人事業主も対象でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 清水委員。

○清水義昭委員 そこに対する周知というのはどういうふうにされますか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） 基本的に商工会員の方には事業者支援ガイドというのを、商工会を通じて商工会員にお送りするんですが、それ以外につきましては、当然のことながら、市のホームページ等で周知いたします。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今回の応援選べる補助金ですけども、確認で、商工会の会員じゃなくても、入ってなくても対象なのかということと、あと、業種とかも何にも問わずに、飲食店とか何でもできるのかということ。それから、あと市内にどのぐらいその対象の事業者っているかって分かりますか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） 業種については問いません。で、商工会に入ってなくても大丈夫です。で、どのぐらいの業種かと言われますと、ごめんなさい、正確な資料を持ち合わせておりませんが、豊明市の企業の方はたしか8割とか9割近い方が、85%ぐらい

が小規模事業者というふうにたしか認識しておりますので、以上です。ですので、ごめんなさい、数字としては持ち合わせておりませんので、あります、ごめんなさい、豊明市の事業所数が、令和3年の経済センサスだと2,100社ぐらいございますので、そのうちの、ちょっと計算機ございませんですが、85%、1,700、1,800ぐらいというふうに御理解ください。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかがございせんか。

いとう委員。

○いとうひろし委員 今の豊明事業選べる補助金ですけど、これ、200万だと200社までですね。20万円。

（20社ですねの声あり）

○いとうひろし委員 20社あるの。これ、全然超えちゃうと思う。全然少ないと思うんですけど、これ、超えた分はどうなるんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） 何分にも初年度ということもございますので、一旦20社分で計上いただき、申請状況にもよりますが、必要に応じて補正予算の計上も検討したいというふうに考えております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございせんか。

一色委員。

○一色美智子委員 この事業は継続でやられるのか、今年度限りなのかという。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） 要綱上は実は3年間の時限立法といいますか、なっておりますが、運用を行っていく中でしっかりと効果を見極め、事業者さんの声も聞きながら、有効であれば4年目以降も継続するかというような検討をしたいというふうに今のところ考えております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございせんか。

青木委員、関連ですか。

青木委員。

○青木けんじ委員 今のとよあけ事業者応援選べる補助金ですけど、これは補助の対象と

なっている区分が4つあるんですけど、これは1項目ずつ申請なのか、それとも同時に4つとも可能なのかはどうでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） 上限が1社当たり10万円まででございますので、様々な4つあるメニューから組合せいただいて、組み合わせていただいて10万円までであれば、どれを選んでいただいても構いません。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） いう委員。

○いとうひろし委員 じゃ、続いていくということで、1回申し込みして、2回、3回と継続して行うことはできるのでしょうか。同じ業者が。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） 現時点では3年間ですので、1回限りの申請ということと考えております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかがございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 当初予算の概要59ページです。

商工業振興補助事業で2つ、小規模企業振興資金信用保証助成、それから経営改善資金利子補給、若干減っていますが、決算ベースで直近の実績に合わせて何か若干の減額したとか、そういうことなのでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） こちらは、今、委員言われました助成金につきましては、決算見込み、あと前年の決算も見込みまして、一律5%カットということで計上したものでございます。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかに。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 さらにその次の商工業振興預託事業のほうはそのままというのも、関わりは何か、考え方があったら教えてください。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） 預託に関しては、いわゆる振小と言われる小規模振興資金の預託ですので、こちらについては前年同額ということになっております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかに。

堀内委員。

（声が聞こえないの声あり）

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 聞こえないんだわ。

○堀内ちほ委員 聞こえん。

（違う違う、こちらの話の声あり）

○堀内ちほ委員 はい。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） じゃないです。そこで私語やっていると聞こえないの。いい加減にしてくれ。

お願いします。

○堀内ちほ委員 概要の59ページの真ん中辺のとよあけ花マルシェプロジェクトの委託金です。

これ、ちょっと金額のことではないんですけど、年々来場者も多くなって物すごく盛況だと思うんです。で、ここに来場された方からも物すごい好評で、盛況なので、今年度も工夫などをされてPRできるようなことがあったら教えていただきたいなど。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） もったいないお言葉、ありがとうございます。

これ、プロジェクトリーダーである花き市場の永田理事長と、あとボランティア、ボランティアではないですけど、実行委員の方の尽力によるものなんですけど、年々、基本的な内容は変更はしないんですけど、内容を常にお客様志向で喜んでいただけたことを常に考えております。決算ではないんですけど、例えば今年、6年度の毎年11月にやっているとよあけ花マルシェは2時間、時間を拡大して来場者を分散する方策であるとか、お花のお楽しみ福袋の販売、あと子ども向けの体験講座とかも新たに企画したりしておりますので、そういった趣向を凝らしながら、令和7年度についても新たなことに取り組んでまいりたいと、そのように考えております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 予算書の201ページの商工業振興預託事業のこの小規模企業等振興資金預託金7,000万円なんですけど、これまで何件ぐらい応募があつて審査があつたのか。それから、この規模、起業する企業の規模ですね、要は小さい、大きいって、どのぐらいの限度というのがあるのかどうか、教えてください。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

（何件を予定していますかって言わないかんの声あり）

○浅井たかお委員 そうですね、すいません。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） 件数はちょっと置いておきまして、こちらは小規模企業等振興資金でございますので、従業員20人以下の中小起業が、いわゆる振小と呼ばれる小口の資金ですね、で、従業員50人以下の中小企業が通常資金ということで、運転資金と、それから設備資金に対する貸付けのための預託になりますので、そういった説明でよろしいでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 大丈夫です。

○産業支援課長（塚谷友昭君） 以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 その先ほどのところ、上の社宅整備支援事業補助金で30万上がっているんですけども、これって利用、今のところ実績ってどれぐらいあるのかということと、これ、何件分で、これ、今回予算は組んでいますか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） 限度額10万円で3社分ということになっております。ただ、今年度につきましては既に5件の申請がございますが、前年、今年は、たまたまと言ったらあれなんですけど、平均しまして今年度も同額30万円ということで、3社分計上してございます。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 歳出が199ページの下から2番目の表で、歳入が81ページの一般寄附金のふるさと豊明応援寄附金になるかと思いますが、ふるさと納税の関係ですけども、先日国会でも豊明市は一番ふるさと納税が少ないというようなことでボードが出ましたけども、この近隣の中で、この令和7年度というのはどういう感じでこれを増やしていくつもりでやるのでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） 今、委員の御質問に対する回答としましては、昨年、地場産品基準という、返礼品に該当するかどうかという基準が厳しくなったということがございまして、なかなかこちらのほうから積極的に動くことが、なかなかちょっと難しい部分もあったんですが、とはいえ、今年度、実は、私、企業支援と、それから、ふるさと納税、別々の係ですが、企業訪問を復活させますので、その中で積極的に企業様のほうにお困り事を聞きながら、さらにふるさと納税についてのPR等もしていきたいというふうに考えております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） これにて、7款 商工費の質疑を終わります。

ここで、理事者側の説明者の入替えのために、10分間休憩いたします。

午後5時30分休憩

午後5時40分再開

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 休憩を解き、休憩前に引き続き会議を進めます。

続いて、8款 土木費について、順次説明を願います。

外山土木課長。

○土木課長（外山紀元君） それでは、8款 土木費のうち、土木課が所管する主な内容について、歳出から説明いたします。

予算書206、207ページをお開きください。

2項1目 道路維持費の主なものは、道路維持事業の、右側説明欄6行目になりますが、道路等維持作業委託料は草刈り作業、街路樹の維持管理、側溝清掃、土砂回収など、道路の維持に係る委託料で、1億4,229万8,000円を計上しています。

その2行下、道路等維持修繕工事費は1億4,290万1,000円を計上しておりますが、側溝

舗装などの経常的な修繕工事に加え、道路舗装修繕事業、アンダーパス排水施設更新事業を実施いたします。

その２行下、諸負担金は、橋梁等長寿命化事業を刈谷市と共同で実施するための負担金などを3,978万円計上しています。

１つ下の段の道路管理事業、右側説明欄２行目、道路用地購入費は、県河川皆瀬川の改修に伴い、市道用地を買収するために469万7,000円を計上しています。

中段の２目 道路新設改良費のうち道路新設改良事業、右側説明欄３行目の道路新設改良舗装工事費は、区長要望及び管理者施工に係る工事費として１億7,000万円を計上しています。

最下段の３目 交通安全施設整備事業は、工事費として、区画線、防護柵、カーブミラー等の設置及び通学路の安全対策施設を整備するための費用であります。

ページを１枚おめくりいただき、208、209ページを御覧ください。

中段の３項１目 河川新設改良費の河川改修事業、説明欄２行目、河川改修工事５億5,000万円は、防災調整池治水対策事業を実施いたします。

説明欄その下、田んぼダム治水対策事業補助金は265万7,000円を計上しています。

続きまして、歳入について御説明いたします。

予算書52、53ページをお開きください。

14款２項５目 土木費国庫補助金の３節 河川費、特定都市河川浸水被害対策推進事業費補助金１億8,700万円は、防災調整池治水対策事業に充てる国庫補助事業として計上しております。

続いて、56ページ、57ページをお開きください。

14款４項、最下段の４目 土木費国庫交付金、１節の道路橋梁費交付金は、道路新設改良舗装、交通安全施設整備などに対して、社会資本整備総合交付金として6,659万5,000円を計上しております。

続いて、70ページ、71ページをお開きください。

15款２項７目 土木費県補助金の３節 河川費補助金は、防災調整池治水対策事業に充てる県補助金として計上しております。

次に、92ページ、93ページをお開きください。

20款５項 雑入の下から４行目、県公共補償金583万3,000円は、県河川皆瀬川改修に伴う市道用地購入対する県からの補償金として計上しております。

続いて、98ページ、99ページをお開きください。

21款１項３目 土木債、排水路設置事業債1,050万円は道路排水施設更新事業に、その下

の河川改修事業債 2 億 4,250 万円は防災調整池設置事業にそれぞれ充当する市債で、充当率は90%でございます。

続いて、予算書の13ページを御覧ください。

最上段の第 2 表 繰越明許費です。

8 款 3 項 河川費の河川改修事業 5 億 5,153 万 6,000 円は、防災調整池治水対策事業につきまして、調整池の設置場所であるグラウンドの使用状況なども勘案し、令和 8 年度までの繰越事業としております。

以上で、土木課所管分の説明を終わります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 続いてお願いします。

中田都市計画課長。

○都市計画課長（中田勝次君） 続きまして、都市計画課所管分の説明に入ります。

予算書にて説明をさせていただきます。

では、まず歳出より、主な項目のみ説明させていただきます。

予算書は、まず、210 ページ、211 ページをお開きください。

下段の 4 項 1 目 都市計画総務費 1 億 4,110 万 6,000 円は、1,069 万 5,000 円の増額となります。

右のページの一番下の段、都市計画事務事業は、右の説明欄下から 2 行目、木造住宅耐震診断委託料 259 万 6,000 円は、木造住宅耐震診断委託に要する費用で 55 戸分となります。

一番下の行、都市計画マスタープラン策定委託料 1,465 万 2,000 円は、都市計画マスタープラン策定委託に要する費用のうち、令和 7 年度分の計上でございます。

続きまして、212 ページ、213 ページをお開きください。

右の説明欄 4 行目、住宅建築物安全ストック形成事業補助金 1,880 万円は、木造住宅 10 戸分の耐震改修工事費、1 戸分のシェルター設置費、及び耐震性のない戸建て住宅 10 戸分の除去費用に対する補助費用です。

続きまして、中段の 2 目 市街地開発費 17 億 7,775 万 8,000 円は、10 億 607 万 7,000 円の増額となります。

右のページ中段、市街地開発事業、右の説明欄下から 2 行目、柿ノ木開発事業負担金 389 万 9,000 円は、愛知県企業庁にて施行される県道名古屋岡崎線との交差点改良に係る費用について負担するものでございます。

一番下の行、間米南部地区区画整理事業補助金 17 億 7,350 万円は、豊明市土地区画整理事業、失礼しました、豊明市土地区画整理事業補助金交付要綱に基づき、公共施設の築造や移転補償に係る費用に対し補助するためのものでございます。

最下段の3目 街路事業費2,410万4,000円は69万8,000円の増額となります。

右のページ最下段、街路樹務事業は、右の説明欄下から4行目、調査測量設計等委託料1,937万8,000円は、都市計画道路桜ヶ丘沓掛線延伸に係る土地及び建物の不動産鑑定などの業務委託や登記事務業務の委託に係る費用でございます。

続きまして、その下の段、4目 公園事業費2億8,426万9,000円は2,152万4,000円の減額となります。

右のページ5段目、公園施設改修事業1億5,122万8,000円は、右の説明欄2行目、公園施設改修費1億5,120万5,000円は、今年度からの継続事業でございます三崎水辺公園施設改修工事、並びに善波公園のリノベーション工事、その他遊具などの更新や改修工事に要する費用でございます。

その下の段、公園施設維持管理事業1億2,830万6,000円は、右の説明欄下から2行目、指定管理料1億1,540万円は、都市公園に係る維持管理保全及び修繕に要する指定管理料であり、5年間の指定管理期間のうち4年目となります。

引き続きまして、歳入について、主な説明や項目のみ御説明いたします。

予算書52ページ、53ページをお開きください。

国庫支出金になります。上から2段目、5目 土木費国庫補助金9億2,513万円のうち、右のページ上から3段目、都市計画費補助金7億3,809万7,000円は、歳出で御説明いたしましたものの次の補助金に充当するものでございます。

右の説明欄1行目、住宅建築物安全ストック形成事業補助金969万7,000円は、先ほど申しました木造住宅の耐震改修、耐震診断、除却、及び耐震シェルターに対する補助金で、国費はそれぞれ2分の1の額、また、県費につきましても、70ページ、71ページに掲載しておりますが、県の補助金にて584万4,000円を計上しております。こちらは4分の1補助となっております。

3行目、集約都市形成支援事業費補助金220万円は、豊明市都市計画マスタープラン策定のうち、立地適正化計画の部分に対する補助金で、2分の1補助となっております。

一番下の行です。都市構造再編集集中支援事業費補助金7億2,470万円のうち、都市計画課所管分7億1,210万円は、間米南部土地区画整理事業や三崎水辺公園及び善波公園改修工事に対する補助金でございます。

次に、20款 諸収入について御説明いたしますので、予算書92、93ページをお開きください。

雑入のうち、右の説明欄の一番下の行です、行政代執行費用徴収金213万7,000円は、昨年7月の空き家の行政代執行に要した解体や関連工事、土地の賃借料などの費用について、

所有者に対し徴収を求めていくため、収入として計上したものでございます。

最後に地方債でございます。予算書の13ページをお開きください。

最下段の第4表 地方債、下から3行目、市街地開発事業債9億7,950万円は、間米南部土地区画整理事業に充当し、充当率は90%、またその下の行、都市計画事業債9,720万円は、三崎水辺公園及び善波公園の改修工事事業に充当し、充当率は90%でございます。

以上で都市計画課所管分の説明を終わります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 続いてお願いします。

青山下水道課長。

○下水道課長（青山康徳君） 続きまして、下水道課所管分について御説明いたします。

予算書の216、217ページをお開きください。

上段の5目 都市下水路費、下水道事業会計繰出事業につきましては4億7,871万円で、前年度比1億863万1,000円の減です。その内訳は、説明欄、他会計負担金1億4,140万4,000円が基準内繰り出しで下水道事業会計の4条予算と3条予算へ繰り出します。他会計補助金2億8,730万6,000円は3条予算へ、他会計出資金5,000万円は4条予算へそれぞれ繰り出すものです。

以上で説明を終わります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 説明は終わりました。

8款 土木費の質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 ちょっとまず委員長にお聞きしたいんですけど、何時までですかね。結構遅くなっているんですけど。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 委員会に関しては特段諮ることなく進めますので。

○林 ゆきひろ委員 何時までというのは特にはない。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 本会議であれば、そこで延長の動議とか諮りますけども、委員会は特段諮る必要がありませんので。

○林 ゆきひろ委員 3日間もあるので、途中でも区切ったほうがいいんじゃないかなと思いますけど。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 5時までに終わらないといけないという決まりはございませんので。

○林 ゆきひろ委員 ないですよ。ないですけど、3日間あるのでいいのかなと。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） じゃ、一応、じゃ、今日の体力のためということで

すね。であれば、一応 9 款の消防費まで終わらせます。

じゃ、お願いします。

質疑のある方、挙手願います。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 結局、じゃ、遅くまでやるということで。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） すいません、ちょっと別に笑う話じゃないと思いますけど。

○林 ゆきひろ委員 こんな遅くまでやるのはちょっとおかしいかなと思いますけど。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 遅くやるって、僕、1 期生のときは 7 時とか 8 時でもやってましたけど。別に 5 時までで終わらないといけないという決まりも何もありませんので。そういったところで無駄な話をするほうが、僕は無駄だと思いますけど。

どうぞ。質疑、どうぞ。

○林 ゆきひろ委員 3 日間、無理矢理、3 日間あるのに、無理矢理こんな遅くまでやる必要はないのかなと思うんですけど。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 今、それ、関係ない話はやめてください。早く質疑を始めてください。

○林 ゆきひろ委員 関係あります。委員会の運営についてなので、関係あります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 委員会は、委員会の運営について、あなたが口出しすることはありません。

○林 ゆきひろ委員 何ですか。委員の一人なのに。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 違います。だから、委員会に関しては、ここで、じゃ、延長しますというのを諮ることの必要はそもそもないんですよ。だから今進めているだけです。だから始めてください。時間がもったいないです。

○林 ゆきひろ委員 じゃ、質問していきます。

まず、予算書の 207 ページの 2 項 1 目の道路管理事業ですけども、ここに測量設計委託料と道路用地の購入費があるんですけども、それぞれどこを測量して購入する予定なんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） まず、下段の道路用地購入費からですが、こちらは栄町の山ノ田地内、皆瀬川の拡幅に伴う市道の買収を 2 筆予定しております。その上の調査測量設計等委託料は経常的なもので、道路新設改良工事、舗装工事などをやるときに境界立ち会

い、それから、現地測量等が必要なときに実施する委託料の費用でございます。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 道路用地の購入の、今、栄町のと言いましたけれども、その目的って何ですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 県河川、皆瀬川でございますが、坂畑公園の下、坂畑橋からやや南下したところで、河道、川の幅が狭くなっているところがございまして、水害のおそれがありますので、県事業により拡幅を予定していただいております。それに伴いまして、市道も付け替えが必要ですので、買収を行う予定をしております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 205ページの道路台帳管理事業、道路台帳の修正業務委託料、これ、毎年やるんですかね。で、どういった修正をどんな形で計画してやっていくんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） ちょっと細かい数字はあれですけども、道路台帳、紙ベースでの道路台帳、それから、電子システム上での台帳図補正、あと路線網図の修正ですね、そういったものに係る費用でございます。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 そこの下の維持管理総務事務事業の真ん中辺、A E Dの借り上げ、これ、どこになるんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） すいません、ちょっと記憶の限り、駅ですね、前後駅と豊明駅と記憶しております。前後と豊明でございます。駅の通路でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 そこから下がって2番目、尾三地区の土木研究協議会、これ、新規なんですかね、どういったことをやるような協議会になるんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

もう一度お願いします。

○こんどうのぶお委員 その下のところの下から2番目の尾三地区土木研究協議会負担金ってあるんですけど、これ、新規だと思うんです。何を、どういった協議会になるんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 尾三地区ですので、みよしを含めた近隣の土木関係の職員で集まって、協議会、研究する会がありますので、そちらに使用する費用でございます。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 予算書207ページの、先ほどのところの下の道路新設改良工事の、この調査測量も、これもまだ決まってないんですかね。ということと、あとその下の道路新設改良舗装、これ、区長要望の関係かなと思うんですけれども、これはある程度区長の要望で受けれるのか、それ、どういうふうな状況でしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 調査測量設計等委託料につきましては、境界等ではなくて、工事する際に必要になった場合、設計が必要になった場合の委託料でございます。道路新設改良舗装の、資料にもございますが、区長要望と管理者施工がございまして、昨年度に採択した工事が主ですが、そういったものの区長要望、採択したものを工事していく費用でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 207ページの2番、道路管理事業ですね、その2つ目の道路用地購入費、先ほど皆瀬川の買収ですか、その場所は分かったんですが、面積はどのぐらいなんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） まだ測量等しておりまして、ちょっと私が数字を把握しておりません。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかがございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 先ほどの道路の新設改良舗装の工事費のところの下工事立会い費等負担金の527万9,000円というのが新規で出ているんですけども、これはどういった費用になるんですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 通常ですと、例えば名鉄とか、そういった立会いが必要などの負担金ですが、すいません、ちょっと後ほどこれは中身をお答えさせていただきます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） では、こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 その一番下から2番目の交通安全施設整備事業です。交通安全施設整備工事費3,000万ですか、これはどういった工事費になるのでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） まず、主要な事業としましては、交通安全プログラム等に基づきまして、小学校の通学路等の安全施設を整備する事業がございまして、それ以外はカーブミラーとか区画線を設置する、区長要望に対して設置する事業費の工事費計上分でございます。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 予算書の209ページの田んぼダムの治水対策事業補助金のところです。補助金は同額なんですけど、これ、今までのいろんな本会議場でのいろんなやり取りの中で、令和7年度、目標は50件というふうでメモがあるんですけども、これ、補助の265万円余割る50で1か所5万円ほどという補助額になるのかということと、これ、あとは全体で、確認になるんですけど、これも何年計画のうちの令和7年度の50件目標なんですよ。

か。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 田んぼダムを設置していただく農業従事者の方に出す補助金なんですけれども、これは畦補強、畦畔の補強はメーター当たり182円とか、ますも大きさによって、1町、2町、3町で1万8,000円強から2万2,000円強ぐらいまで、価格が、価格といたしますか、補助額が決まっております、設置するます、それから畦畔の補強のメーター数によって補助する額が違ってまいりますので、令和6年度でいいますと、安いものであればます1個1万8,000円だったんですけど、畦補強ですと、ごめんなさい。

そういった費用でございますので、7年度、50件やれるほどの費用として予算を計上させていただきます。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかがございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今の田んぼダムのところなんですけども、これ、前年度、6年度と同額で上がっていますけども、これ、本会議でいろいろ質疑していたときに、目標50件のところ、25件ぐらいしか進んでないということで、いろいろ二毛作の関係でなかなか進んでないという話があるんですけど。で、100件が目標で、今回それも繰り越ししているので75件が目標になっているんですけども、そういった二毛作の問題ってまだ今後もあると思うんですけど、どうやって解決して取り組んでいくんですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） おっしゃるとおり、二毛作の問題があるんですが、多くは米と麦なんですけど、麦は1年置きということで1年休ませるそうなので、来年は予定どおりやれる予定はしております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかに。

関連ですか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 そうすると、今年度分も含めて75件を今年度でそういった形で進めれると、そういうふうに理解していいですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君）　そうです。7年度に75件以上やれる予定をしております。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員）　ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近　修委員　決算書210、失礼しました、予算書213ページ、8款4項1目　空き家対策推進事業。

令和7年度の目標というか、どれぐらいの数を解決する見込みというのはあるでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員）　答弁願います。

中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君）　予算に上がっているものを、これは予算に上がっているものということでよろしいでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員）　お願いします。

○都市計画課長（中田勝次君）　空き家対策で、少しお待ちください。

失礼しました。失礼しました。よろしいでしょうか。

来年度、7年度はあくまで上限は50万は変わりませんが、一応予算としては6件を考えております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員）　ほかにございませんか。

じゃ、答弁ですね。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君）　すいません、先ほどの予算書207ページ、工事立会い費等負担金とは何ですかという質問ですが、527万9,000円でございます。主要な事業にも上がっておりますけども、名古屋岡崎線関連の市道整備事業という名前ですが、名古屋岡崎線に係しまして、交差点部の排水路の改築に伴う市の負担金でございます。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員）　じゃ、質疑、ほかございませんか。

では、浅井委員。

○浅井たかお委員　予算書の209ページの河川新設改良事務事業の一番下、雨水貯留施設設置補助金12万円なんですけど、前年度は22万4,000円になるんですけど、これは内容はどんなものですか、貯留施設というのは。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員）　答弁願います。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 一般の方の住宅造るときとか、個人で貯留タンク等を造っていただいた方に補助を出すものでございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 浅井委員。

○浅井たかお委員 それじゃ、その容量ですね、雨水をためる容量というのは決まっているのか、地下式のものなのか、こういったタイプでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 今持ち合わせておりませんが、資料がカウンターにございますので、お願いいたします。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかがございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 実施計画書になるんですが、先ほどの田んぼダム関係になるんですが、実施計画の29ページ一番下、田んぼダムを活用した治水対策を行うので、毎年700万、800万の委託料が発生しているんですが、説明あったらごめんなさい、もう一度お願いします。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） では、答弁できますか。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 委託料は700、どちらの。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） もう一度お願いします。

○ふじえ真理子委員 ごめんなさい。

令和7年度774万1,000円というふうで委託料等が上がっているんですが、これをもうちょっと詳しくお願いします。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 少しお時間ください。後ほどお答えします。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 三浦委員。

○三浦桂司委員 63ページ、概要の63ページです。住宅建築物の安全ストック形成事業1,880万、金額は、金額じゃない、件数は教えていただきましたけども、無料耐震改修はこれは無料だけど、改修は幾らでシェルターは幾らで除去は上限の幾らか、ちょっとそれぞれ教えてください。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） 耐震改修なんです、今年度までは上限100万なんです、来年度は工事だけでは上限115万、加えて、精密診断法という診断を用いてやっていただけると上限20万加算をします、そこまでしていただければ上限135万円となります。で、シェルター及び、シェルターは上限30万、除却費は上限50万、こちらは据置きでございます。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

じゃ、どうぞ、答弁ですね。

○土木課長（外山紀元君） すいません、先ほどふじえ委員の御質問で、田んぼダム治水対策事業774万1,000円の内訳でよろしかったか、先ほど補助金265万7,000円、田んぼダムの設置事業者に対する補助金と、あと委託費で508万4,000円計上しております。国費の補助の対象となり得ないところの対応ですとか、あと、ダムに設置する石板を作ったり、委託したりとか、そういった費用に使っております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） では、清水委員。

○清水義昭委員 同じ田んぼダムです。ページでいくと、予算書だと209なんですけど、そうじゃなくて、第10次実施計画書の29ページです。

第5次総合計画の第10次実施計画書の29ページの一番下になりますけれども、先ほどふじえ委員が質疑されていたのと同じ観点で聞くんですけれども、来年度774万円、その次の年が870万円、その次の年がまた774万円ということで、さっきの話で石板作るとかというふうだと、ここがだんだん低くなっていかなきゃいけないと思うんですけれども、これはどういうことなんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） すいません、8年だけ高い理由、ちょっと後ほどお答えさせていただきます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） では、林委員。

○林 ゆきひろ委員 先ほど、213ページの住宅建築物安全ストック形成で、耐震化の改修ですけれども、この補助、令和7年度のこういった補助を出して、どれぐらい耐震化率が進むのか、その見込みと、あと、1ページ戻って211ページの木造住宅耐震診断委託料についてもですけれども、昨年度より増額していますけれども、これで木造の住宅の耐震診断、必要な物件というのがどのぐらいになるんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） 今数字を持ち合わせておりませんので、後ほど回答をさせていただきますと思っております。よろしくお願いします。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ございませんか。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 先ほどの清水委員ですね、8年度、96万円ほど高い額が計上しておりますが、国からの補助、補助金を頂くに当たって、整備効果を3年で報告しなきゃいけないものですから、整備効果業務委託料ということで計上させていただいております。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ここ、積み残し、またそれ、何かあれですか、答弁できるんですか、それ。早めにやってください。

もう一個いいですか。積み残しのもう一つありますけど、それはまだですか、答弁は。

（空き家の声あり）

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） まだですね。

じゃ、ほか質疑お願いします。

清水委員。

○清水義昭委員 ということは、田んぼダムのことを今御答弁いただいたんですけども、これは田んぼダムをお願いしている間は、ずっとその委託料が700万強かかっていく、毎年かかってくるというようなことで理解していいですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 30年ぐらいかけて、市内全域という計画はありますけれども、実施状況を勘案して計画を立てていきたいと考えております。同じようなペースでやっていくと、同じ費用がかかってまいります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 清水委員。

○清水義昭委員 たしか先ほどの答弁で、令和7年度中に75件まで増やしたいというようなことがあったかと思えますけども、75件の状況で770万円近くの委託料補助金がかかるということで、さらにもっと増やしていこうという計画、全土ということは豊明市全部ということはそういうことになろうかと思うんですけれども、そうすると、だんだん委託料とか補助金みたいなものが毎年どんどん増えていくということになるんですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 6年度から50件ずつ予定、50件、50件、50件で予定してはいたんですけど、50件は25件程度で、半分ぐらいできないものですから繰り越させていただいて、7年に、50件はもともとの当初予算の費用でございます。で、繰り越した分が25件ありますので75件ということですけども、また1年では50件というのを予定しております。

（毎年同じ費用がかかるんですかの声あり）

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） お願いします。

○土木課長（外山紀元君） 委託料につきましてはずっと同じように、白地といいますか、青地、補助がつかない土地に対しても、市が委託する部分で田んぼダムをつけたり、あと、それに係る費用、委託を出すときの費用として計上してまいりたい。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 何か補足説明とかできますか。

星子部長。

○経済建設部長（星子恭士君） 田んぼダムに関しましては、1年で、その田んぼダムを設置した、それで終わりです。で、その都度増やしていったって、委託料で年々増やしていく、田んぼダムを対策した件数を増やしていくというふうに。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） だから、積み上がっていくということですね。

清水委員。

○清水義昭委員 ということは、ごめんなさい、ちょっと委託料補助金というのは、インシヤルでかかるだけで、ランニングコストはゼロって考えていいですか。

なので、ごめんなさい、この実施計画で毎年700万とか800万とか上がっているやつというのは、毎年そんだけ分ずつ新しい田んぼダムを造っていくという理解でいいですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） そのとおりでございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 207ページの上の道路維持事業の中の諸負担金でかなり増額していますけれども、4,000万近くになっていますけれども、先ほど刈谷市との合同で、橋梁の関係でという話だったんですけど、これはどこの、どれぐらいの橋なのかということと、増額しているこの3,900万というのは、全てそのお金というふうに考えていいですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） これは橋梁の点検に伴う工事でございます。境橋といいまして、刈谷市と豊明市を結ぶ境川にかかる橋でございますが、こちらの工事費の負担金でございます。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 その負担割合というのは、刈谷市とだと思っんですけど、どれぐらいになるんですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 刈谷市と、基本的に2分の1です。国費を除いた分の2分の1を負担するということです。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかがございませんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 211ページ、一番下の都市計画事務事業です。その下から2番目の項目で木造住宅耐震診断委託料。これはあとどのぐらいの耐震の、残っているんですかね。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） 先ほどの林委員からの御質問と関連いたしますので、数字、もう少しお待ちいただければと思っております。よろしくお願いします。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 213ページの空き家対策の上の親との同居・近居の補助ですけども、これは半減しております。その理由と、これ、寺池、今後開発してできると思うんですけど、そこでも活用できると思うんですけども、できるのかどうかも含めてお願いします。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

○林 ゆきひろ委員 これ、親との同居・近居購入費、これ、半減しているまず理由。それから、寺池地区で開発が進んでいるんですけど、そこでも活用できるのかっていう質問です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） では、2つ御質問いただきましたので、まず1点目です。

1点目、半減しているというのは、ホームページでも既に掲載しておりますが、令和6

年の1月2日以降に購入された方からは、この制度、廃止ということで、その分の半減ということ。その関連で、先ほどのもう一つの御質問、寺池に関しまして、これからの御購入、建築ということになりますので対象外となっております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 関連で。

その廃止、8月1日の廃止を決めた理由は何ですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） こちらの親との同居・近居なんですけど、令和、ごめんなさい、平成28年度から事業を開始しまして、ある程度、10年弱で目的、一定の目的は効果があったと認識はしております。令和2年度に一番、292件という件数があったんですが、それから大分減少をしております。令和2年度は292件ありまして、その中でも転入者の割合も42%と高かった。ただし、昨年度におきましては214件で、転入者の割合も15%ということで下がってきました。この辺りの傾向を鑑みた上で、一般質問でも多分清水議員の事業の縮小の関係で話があったと、そのとき答弁させていただきましたが、そのことと絡めた上での全体的な方針決定ということでございます。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかがございませんか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 予算書の205ページの道路台帳管理事業、道路台帳修正業務委託料960万3,000円なんですけど、これは修正はどれぐらい見込んでいるというものでしょう。あとは、どういったときにこれは修正をするんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） これは毎年でございます。台帳整備は道路法上の義務でございますので、工事を行って幅が変わったりとか、道路の形態が変わったりとか、あと寄附頂いたりとか、開発行為があったりとか、そういったものを反映させるために台帳は毎年更新しております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 浅井委員。

○浅井たかお委員 今の件なんですけど、例えば全く新しい道路ができなかった場合もつ

くるのか、どういうふうでしょうか、それは。その場合は。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 全くないという仮定はしておりませんので、道路工事、私どもしておりますし、占用の工事等もございます。住宅も並んできて、道路地図の形態も変わってくる等の修正もございますので、そういったものの費用でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 今現在、積み残しの答弁ってできますか。

中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） 先ほど、林委員及びこんどう委員、同じく耐震診断のことで、要はまだどれだけ残っていますかということだと思います。

で、あくまで推計なんですけど、3,000件、住宅ですね、住宅では3,000件弱がまだ残っているのではないかなと。耐震化率、推定の耐震化率からすると、そのぐらいの数値だということをご想定しております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかがございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 概要のページは62です。

交通安全施設整備事業で、増額はしているんですけど、これは増額した分でこれまでよりもこの工事分量を多くできるというよりは、物価の高騰などを考えて、令和6年度までと同等の内容というか、分量をできるように増額したような考え方のほうが正しいというか、そう考えたほうがいいんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 同等な安全施設の整備ができるように、ある程度やる箇所によって概算をつかんでおりまして、その実の額を予算に上げさせていただいております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかがございませんか。

じゃ、こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 217ページ、真ん中辺の緑化対策事業です。そこの真ん中辺、地域花いっぱい運動補助金、今、団体、何団体あるんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） 今10団体ございます。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかございませんか。

堀内委員。

○堀内ちほ委員 今の217ページの真ん中辺の花壇維持管理委託料の花壇の場所とか、あともう一件、緑化推進委託料の内訳を教えてください。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） すいません。失礼しました。

まず、花壇維持管理委託料、花壇維持管理委託料45万1,000円の内容ですね。こちらは花壇の土起こしでございまして、前後駅と、あとは前後駅以外で文化会館等の周りで6か所、土の起こしをお願いをしております。

もう一つの緑化推進委託料297万8,000円は、グリーンフェスタの企画運営等業務、及び花と緑のフェスタ会場運営等業務でございます。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかございませんか。

三浦委員。

○三浦桂司委員 概要の63ページで、間米南部の土地区画整理事業の17億3,500万ですけども、昨年度は、ちょっと勘違いかもしれませんが、満額交付じゃなかったような気がするんですけども、7億5,000万。このところ、勘違いですかね。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） 今、三浦委員から7億5,000万というお話があったんですが、現場の進捗の状況で実は4億6,000万だけ執行できます。で、2億9,000万減になっております。この2億9,000万を乗せた形が、先ほどおっしゃられた17億7,350万ということになっております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 資料ナンバー1の⑦で、今の間米南部の事業の図があるんですけども、ちょっと確認をしたいのが、ここに書いてある水路の付け替えだったりとか、調整池、黒部川の橋梁とか、あと桜ヶ丘沓掛線に関して、この指し示しているところが来年度にや

る、全てそういう部分だというふうに理解していいですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） 林委員のおっしゃるとおりでございます。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかに。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 そうすると、この桜ヶ丘沓掛線のこの部分というのが工事が入るとなると、通行はできなくなる、それ、どういうふうな状況ですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） 両方通行止めというか、両方向通行止めということは通常やりません。俗に言われるカタハイということで、片側通行ということをして工事としては想定をしております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかに。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 どれぐらいの期間がそういうふうな片側になる状況ですか。結構ここ、混雑すると思うんですけど。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） まだ仕事の、現場のスケジュールが出ておりませんので、年度末では、年度末のほうになるのではないかと考えていますが、期間等はまだ不明でございます。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 予算書の209ページの河川改修事業、河川改修工事費5億円、5億5,000万円のやつです。これ、防災調整池、勅使グラウンドでいいのかな。資料、ごめんなさい、資料ナンバー2の⑧を見ているんですが、5,500立方メートル。で、この面積でいうと約103メートル掛ける約66メートルの600平米強ということで、グラウンド全面は使わないということが分かるんですが、掘って、で、池にして、また蓋をするわけですか。もう一度、すみません。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

中田課長。

失礼しました。外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 貯留池、プラスチック製のを積み上げるような部材で貯留池を造ってまいりまして、その空隙を使いますので、面積掛ける、約1メートルぐらいの深さなんですけど、それで5,500立米を確保するような池で、その上に埋め戻して、通常のグラウンドのように使えるような形に最終的にはなります。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） 訂正がございます。

先ほど、地域花いっぱい運動補助金、団体数ということでしたが、大変失礼いたしました、1つ減りまして9団体となりました。失礼しました。申し訳ございません。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 先ほどの勅使グラウンドの調整池の件ですけれども、これ、グラウンドを全面にせず、半分にして1メートルの深さにした理由、仮に深さの、2メートルとか3メートルとか分からないですけども、この貯留量を5,500立方メートルにしたわけと、工事によるグラウンドが使えない時期がどのぐらいになるのか。お願いします。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） まず、5,500立米は総合治水の対策上、貯留目標、この地区で5,500立米貯留したいというところで計画した貯留量でございます。

使えない時期としましては、契約は早期に発注するんですけど、令和8年1月ぐらいから使えなくなりまして、令和8年の10月ぐらいまで工期を取りたいと考えております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 予算書215ページの真ん中の公園施設改修工事費で、資料ナンバー2の11があるんですけども、まずお聞きしたいのが、一番上の三崎水辺公園ですけども、来年度はどこをどういうふうな工事をするのでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） 来年度は、春の桜フェスタが終わりましたら、全体的な園路改修だとか、インクルーシブ遊具の更新だとか、樹木の伐採だとか、路面の整備とかということに7年度は入っていきます。引き続き、今の駐車場も引き続き作業はやっております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 園路改修なんですけども、利用というのは通常どおりできるんですかね。何か区間を区切って進めていくのか、どういうふうですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） 取りあえず現時点の計画では、区間を区切りながら、させていただく予定でございます。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 もう一つ、善波公園のほうなんですけども、これはどういった改修工事をされるのでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） ワークショップ等を地元とさせていただきまして、その結果を反映して、遊具の改修だとか、ベンチの設置とか、そういうこと、まだ設計、今からですので、確定はしておりませんが、そういうことを予定しております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 今のと同じ関連の善波公園、これ、毎年1個ずつリノベーションしていくやつだと思うんですが、地元の方のワークショップでどういった方法で進めていくのでしょうか。いわゆる毎年やっているようなリノベーションなのか、新たな、令和7年度、この善波公園で手法が違う部分があればお願いします。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） まず、ワークショップの手法については変更がございません。現時点で御要望を聞いていますのは、鉄棒やジャングルジムのような遊具はどうしても設置をしてほしいという要望はいただいております。こちらの遊具は設置をしたいと思っております。我々市からも、公園灯のLED化とか遊具の点検による劣化状況を踏まえた更新や遊具の選定なども提案をさせていただいております。やり方としては例年と同様でございます。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 215ページ、二村台緑地整備事業です。

一番下の公園施設維持管理工事費ってあるんですけど、こういった工事の予定があるのでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） 例年の維持管理工事ですので、例えば二村山の中の中の通路、通路と言っではいけませんけど、散策路のようなところの、通路とほかを区別するための、例えば簡単な木ぐいだとかロープ、劣化しているものを更新するために、毎年何かしら計上させていただいておるものでございます。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 先ほどの公園の施設改修の、資料ナンバー2の11ですけども、三崎公園と善波の下に幾つか公園があります。で、大きいのだと桜ヶ丘公園の整備工事だったりとか、一番下の勅使台の東公園で施設改修工事、あったりするんですけど、これはどういう基準でこの公園というのは決められているんですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） 区長要望工事の制度は我々ありませんが、区長からいろいろ過去から要望されていたものや、我々と指定管理者も含めた管理者側からしなければいけないだろうというもので選定をしながら、この下に掲載しているものを進めていく予定でございます。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 資料ナンバー2の⑨の道路ですけども、これは213ページの下のところの調査測量設計の1,937万8,000円かなと思うんですけど、それ、まずその確認、それ、全額これの設計なのかということと、あと、これは新たにこれ、名古屋岡崎線、県道になげる道路で設計すると思うんですけど、ここまでの道の用地の買取りとかというのはどれぐらい進んでいるんですか。それともこれから進めていく形ですかね。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） 左下、今のこの資料の左下というか、A4の横書きの下に、左下に3点業務が書いてあります。不動産鑑定業務、これが土地20筆、建物が1棟分、で、公嘱委託というものが調査対象32筆でございます。

それと、もう一点、ごめんなさい、桜ヶ丘沓掛に……。

○林 ゆきひろ委員 用地の買取りのほうは。

○都市計画課長（中田勝次君） まだ、今、本格的な用地交渉前のお話をさせていただいたり、今まだ測量でございますので、用地の取得はまだしておりません。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） これにて、8款 土木費の質疑を終わります。

続いて、9款 消防費について、説明を願います。

川島防災防犯対策課長。

○防災防犯対策課長（川島康孝君） それでは、予算書の219ページをお願いいたします。

中段の常備消防活動事業の説明欄の一番下、尾三消防組合負担金は、前年度と比較し約2,400万円の増加となっております。主な要因としましては、給与改定に伴う人件費の増加によるものです。

続きまして、その下の非常備消防活動事業の説明欄の一番上、消防団長等報酬は消防団員への報酬で、年額報酬に加え、災害出動や訓練出動の報酬です。

続きまして、221ページをお願いいたします。

一番下の災害対策事業の説明欄の一番上、消耗品費約879万9,000円は、非常用備蓄品のローリングストックの入替え分になります。

続きまして、223ページをお願いいたします。

災害対策事務事業の説明欄の下から2つ目、災害用資機材購入費287万2,000円は、移動系の無線機の代替として、災害に強いスマートフォンを80台購入いたします。

続きまして、225ページをお願いいたします。

最上段の説明欄の防災行政無線運営協議会負担金1,232万3,000円は、前年度と比較し約1,000万円の増額となっております。主な理由としましては、県の防災行政無線網である高度情報通信ネットワークの改修に伴うものです。

以上で説明を終わります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 説明は終わりました。

9款 消防費について、質疑に入ります。

質疑のある方は挙手願います。

浅井委員。

○浅井たかお委員 予算書の221ページのバス等借上料というのは、これはどんなバスを指していますか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

川島課長。

○防災防犯対策課長（川島康孝君） こちらは大型バス2台で、県の操法大会に使うための費用です。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかに。

浅井委員。

○浅井たかお委員 じゃ、この操法大会、同じく221ページ、操法大会会場使用料のこの5万円は、これはどこの会場ですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

川島課長。

○防災防犯対策課長（川島康孝君） こちらも来年度の県の操法大会の会場使用料で、豊田市の予定になっております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかに。

関連ですか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 同じく消防団の訓練交付金88万円、これはいつの交付金、何に対して

の交付金ですか、この訓練は。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

川島課長。

○防災防犯対策課長（川島康孝君） こちらも県の操法大会の訓練に対する費用になっております。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 浅井委員。

○浅井たかお委員 来年度は、来年度じゃない、令和7年は県大会に行かないっていうふうに決まっているんですけど、これを計上しているのはどうしてですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

川島課長。

○防災防犯対策課長（川島康孝君） まだ正式には決まっておりませんでして、もしも県の操法大会に出たいという方がいらっしゃれば、この予算を使ってぜひ出ていただきたいなと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかに。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 221ページで真ん中辺の消防施設設置事業です。この中の2番目のAEDの借上料で、何か所で、あと野外、屋内、何台ずつあるんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

川島課長。

○防災防犯対策課長（川島康孝君） こちらのほうは市の借上料になりますので、全部屋内で、主にコンビニ、コンビニエンスストアに設置しておりまして、コンビニが28器設置しております。全体としては39器を持っております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかに。

浅井委員。

○浅井たかお委員 予算書221ページの消防施設維持管理事業の分団詰所の用地借上料ですが、この76万円は、これは何か所の詰所ですか。それから、あとはどこの分団の詰所でしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

川島課長。

○防災防犯対策課長（川島康孝君） 第1分団と第5分団の詰所の借上料です。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかに。

武谷委員。

○武谷としお委員 同じページ、221ページの立ち上がり消火栓の件なんですけど、確認なんですけども、こちら、立ち上がり消火栓設置等なんですけど、廃止はやっぱり含まれていないということでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

川島課長。

○防災防犯対策課長（川島康孝君） 委員のおっしゃるとおりです。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかに。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今の立ち上がり消火栓の設置補助ですけど、これ、どの辺りの設置とかってというのは把握はされているんですか。話はあるんですかね。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

川島課長。

○防災防犯対策課長（川島康孝君） 市内全域に散らばっておりまして、総数でいうと現時点で市内560基ございます、立ち上がり消火栓は。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 設置補助で出す予定のある部分はあるかと聞いているんです。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 現時点で決まっていなければ決まっていなくていいです。
答弁願います。

川島課長。

○防災防犯対策課長（川島康孝君） 新設は予定しておりませんし、最近では新設はございません。ほとんどが移設になっております。移設では2基を予定しております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかに。

浅井委員。

○浅井たかお委員 予算書の223ページの一番上、訓練会場整備委託料30万3,000円、これはどこの会場の整備の委託料ですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 川島課長。

○防災防犯対策課長（川島康孝君） こちらは市の防災訓練の委託料になっておりまして、来年度は沓掛小学校で行う予定になっております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 浅井委員、いいですか。

（はいの声あり）

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） もういいですか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 223ページの災害対策事務事業の2番目で防災専門員報酬ってあるんですけど、防災専門員、これ、防災理事のことを言っているんですかね。違うものですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

川島課長。

○防災防犯対策課長（川島康孝君） こちらは会計年度職員で、退職自衛官の方を1名任用しております。その方の報酬です。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかに。

清水委員。

○清水義昭委員 同じく予算書だと223ページの災害対策事務事業の中に含まれると思います。予算の概要からいくと、19ページの20番、災害時情報伝達基盤整備事業というようなことでスマートフォンを購入するというようなことですが、この概要のほうの予算が430万で、予算書のほうがそれに当てはまるのがないんですけど、どういうふうに散っているのか、説明をお願いします。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

川島課長。

○防災防犯対策課長（川島康孝君） それでは、予算書で御説明させていただきます。

223ページのまず説明欄の一番下から1つ上の災害時用資機材購入費287万2,000円、これがスマートフォン80台の機器の購入費になります。

続きまして、そこから五、六段上に手数料というのがございます。手数料はスマートフォンを購入するときの購入の手数料になりまして、こちらのほうが80台で26万4,000円分になります。29万1,000円分のうちの26万4,000円が、スマートフォン80台購入の手続の手数料になるということです。

その1個上の通信運搬費187万4,000円がございます。この中のうちのスマートフォン80台の通信費が116万5,000円になっております。月額で1,210円程度、1台、という形で80台の積算になっておりまして、この通信運搬費の116万5,000円と手数料の26万4,000円と資

機材の287万2,000円を足すと、概要のほうの403万1,000円の金額となります。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

じゃ、清水委員。

○清水義昭委員 同じく災害用のスマホですけども、購入が80台というようなことですけども、これはどこに置くような想定してますか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

川島課長。

○防災防犯対策課長（川島康孝君） 現在、移動系のMC A無線を置いております市内の指定避難所とか、それから、各区に1台ずつ置いておりますので、その入替えです。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。じゃない、質疑。

清水委員。

○清水義昭委員 ということは、確認ですけども、平時で使うようなスマートフォンにはならないということですね。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

川島課長。

○防災防犯対策課長（川島康孝君） 現時点ではMC A無線の代替という形での活用を考えております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかに。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今225ページの一番最後にある防災行政無線運営協議会負担金で1,232万3,000円って結構大きな金額になっているんですけども、これが何かということと、スマホにするというのに関連って何かあるんですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

川島課長。

○防災防犯対策課長（川島康孝君） こちらはスマートフォンとは全然関係なくて、県と各市町村を防災無線でつなぐシステムになっておりまして、一番分かりやすくいくと、本館の上にすごい大きなアンテナが立っていると思います。あれが地上系の無線、県との無線のやり取りというものになっております。あれが20年たつものですから、ちょっともう使えなくなるということで、県と市のやり取りはIP無線といってインターネット系の無

線に切り替えるという手続で、あのアンテナを取ったりだとか、I P無線のための機器整備というようなことをやるのと、併せてもう一つ、衛星系での無線のやり取りというものも県と市のほうでやっております、そちらも第2世代から第3世代に変えるというような形の更新を行うものになっております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 じゃ、今の説明ですと、県のほうに負担金を払うのかなと思うんですけども、負担割合ってどれぐらいになるんですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

川島課長。

○防災防犯対策課長（川島康孝君） 負担割合というよりは、市の工事費のそのものが来るという形でお考えください。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかに。

では、清水委員。

○清水義昭委員 スマホですね、223ページ、概要だと19ページですね、のところなんですけど、今、県とのやり取りをする無線のところはアンテナ撤去だとかのものが負担金で入っているということなんですけど、たしかM C A無線もアンテナを多分各集会所に立ててたりすると思うんですけど、その辺の撤去っていうのは今回はやらないんですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

川島課長。

○防災防犯対策課長（川島康孝君） まだ今年度はやる予定はしておりません。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかに。

清水委員。

○清水義昭委員 ちょっと予算上分からないんですけど、M C A無線はいつまで使う予定でいるんですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

川島課長。

○防災防犯対策課長（川島康孝君） 同報系と移動系がありまして、移動系につきましては今年度は半年分を予算計上しております。ただ、早めにスマートフォンのほうが導入されれば、早めにそちらのほうに切り替えたいと思っております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかに。

では、郷右近委員。

○郷右近 修委員 当初予算の概要の65ページ、上のほうの防災ヘリコプターで、今、県のホームページ見て、令和4年、5年というところなので少し前なんですけど、活用度合いは上がっているみたいなんですけど、増額していくわけじゃないんですね、これ。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

川島課長。

○防災防犯対策課長（川島康孝君） 増額はしておりませんので、そのままということと、実際いろんなところで活用されておりまして、ちょっと余談になるんですけど、市のほうには2回ほど飛来しておりまして、主に藤田医科大への臓器搬送という形になっております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかに。

では、こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 221ページの一番上から2番目の消防団活性化事業委託料、これはどんな活性というのと、事業をやっていくんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

川島課長。

○防災防犯対策課長（川島康孝君） こちらのほうは毎年消防団の方と、それから、その家族の方の慰労も含めて、長島リゾートのほうに行っていていただいております。同じ費用で毎年行っておりますのでお願いします。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかに。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 先ほどの無線の関係で、ちょっともしかしたら先ほど説明しているかもしれないですが、223ページの真ん中より下のほうの市防災行政無線保守委託というのがあるんですけど、これとさっきの県の関係とMCA無線の関係と、どういう保守委託になっていますか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

川島課長。

○防災防犯対策課長（川島康孝君） こちらはMCA無線の保守委託で、MCA無線とい

うのは市で、移動系と同報系って河川のところに立ちっ放しのものがありますので、そちらの保守委託で、同報系はそのまま使えますので1年分の保守委託、それから、移動系のほうはスマホに切り替えるので、先ほどお話ししたように、半年分の保守委託という費用を計上しております。県の無線とは全く関係ございません。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかに。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 ということは、市のこういった同報無線は継続してそっちのほうは続いていくと。なので、委託料も継続して出てくるという認識でいいですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

川島課長。

○防災防犯対策課長（川島康孝君） その予定でして、ただMCAが2029年で終了しますので、そこまではMCA無線という形で使います。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかに。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 先ほどの活性化事業なんですけど、何名ぐらい参加されるんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

川島課長。

○防災防犯対策課長（川島康孝君） 令和6年度で100名ほどの実績がございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかに。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 予算書の219ページの真ん中の尾三消防組合負担金で、資料でいうと資料ナンバー5の⑥なんですけども、ちょっとしっかりまだ見えてないんですけども、負担金が増えている、それから負担率も増えているんですけど、豊明市は、その理由は何ですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

川島課長。

○防災防犯対策課長（川島康孝君） 負担金が増えてるのは、最初の説明で人件費、主に給与改定、我々の人件費も上がっていますが、そこが主なものになります。

で、負担率の上昇は、救急件数が変動項目で入っておりまして、救急件数の伸びによっ

て市の負担率は上がっております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 その救急件数が伸びているということは、他市に比べて豊明市は救急件数が多くなっているというので、その何か理由とかが分かりますか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

川島課長。

○防災防犯対策課長（川島康孝君） 他市もすごく増えているんですけど、その伸び率が若干豊明市のほうが多いというようなことで、御理解いただきたいと思います。

で、コロナのときは減っていたんですけど、そこから令和4年度、5年度と6年度と結構増えております。その理由を月別で見えていくと、7月が非常に一番多くなっておりますので、やはり猛暑の影響が大きいんじゃないかなというような推測をしております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかに。

（進行の声あり）

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） これにて、9款 消防費の質疑を終わります。

本日の予算特別委員会はこちらまでといたしたいが、御異議ありませんか。

（異議なしの声あり）

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 本当にいいですか。

御異議なしと認めます。よって、本日の委員会はここまでといたします。

次回は3月17日午前10時より委員会を再開し、本日の続きから審査を行いますので、よろしく願いいたします。

長時間御苦勞さまでした。

午後6時55分閉議

豊明市議会委員会条例第29条の規定によりここに署名する。

予算特別委員会

委員長